

モ遺憾トスル點ハ其使用セル原料ノ本質ハ原來他ニ多ク比儔スヘキモノナキモ其仕舞
置ノ誤リタルカ故カ腐蝕ヲ生シタルハ惜シムヘキコトナリ

廣島縣 當業者ノ多數ナルニ拘ラス出品ノ尠少ナルハ遺憾ナリ而シテ其原料ノ品質岡山香
川ノ兩縣ニ讓ラス製作亦佳良ニシテ前途多望ノ生産地タリ且ツ本縣ニハ良好ノ經木ヲ產
出スルニ其眞田ノ出品ナキハ蓋シ未タ之ヲ製造スルニ至ラサルカ

山口縣 割稈眞田ノ製作見ルニ足ルアリ其出品ヲ裝束スルニ絹絲ヲ用ヒタルカ如キ無用ノ
消費タリ自今改廢ス可シ米藁眞田ノ産額未タ多キニ上ラス又價格高キニ失スルモ將來有
望ノ商品ナルヘシ當業者ノ奮勵ヲ望ム

大分縣 麥稈及經木共ニ其品質可ナラスシテ製作モ亦熟達セス

熊本縣 本邦小麥稈ニシテ眞田ノ編製ニ適スルモノ獨リ本縣産アルノミ原料細程ニシテ強

靱且ツ光澤アリ又製作稱ス可キモノアルモ量目重キハ缺點ナリ

長崎縣 原料不良ニシテ製作熟練ヲ缺ク

沖繩縣 當縣ノ出品ハ阿且葉ヲ以テ編製シタルモノナリ技藝不練ニシテ價モ亦不廉ナルノ
ミナラス量目重クシテ帽子ノ製造ニ適セス宜シク本原料ヲ用ヒテ携帶具ノ如キ品類ヲ製
造スルヲ以テ利トスヘシ

要スルニ眞田編製ノ技術ハ之ヲ前回ノ當時ニ比スレハ一般ニ進歩ノ形跡アリ練熟ノ効ヲ見
ルヘシ然レトモ原料ノ採收ト撰擇ニ至テハ各府縣共ニ全然其統一ヲ缺ケリ思フニ昨明治三

十五年麥稈刈入ノ時季ニ際シ降雨頻繁ナリシニ起因スルモノアル可シト雖モ平素ノ注意周
到ナラスシテ麥作ノ改良ニ意ヲ致サ、ル者多キニ因ルナル可ク現ニ前回審査官ノ勸誘シタ
ルゴルデンノ種ノ如キ以來未タ其試作ノ消息ヲ耳ニセサル所ニシテ常ニ我當業者ハ口
ニ改良ノ必要ヲ唱フルモ之ヲ實行スル者無ク所謂名實相副ハサルノ現況ナリトス浩歎大息
セサルヘケンヤ

麥稈及經木眞田ハ決シテ本邦特得ノ產出物ニ非スシテ夙ニ伊太利及瑞西等ニ於テ精巧品ヲ
產出シ支那ニ於テ廉價ノ品類ヲ製産シ我眞田ハ麥稈ノ色澤佳良ナルト輕量ナルト特長ニ因
リ歐米ノ市場ニ歡迎サル、ニ至リシモノニシテ經木眞田ハ歐洲産ニ比シテ其價ノ低廉ナル
ヲ特色トス明治二十七八年戰役ノ後及北清事件ノ當年頗ニ其輸出額ヲ増進シタルハ素ヨリ
我製品ノ海外ニ於テ嗜好ニ投シ需用ヲ喚起シタルニ因ルアリト雖モ一ニ戰役ノ爲メ清國産
ノ輸出杜絶又ハ減退シタルト戰勝ノ餘威ヲ享ケテ發生シタル僥倖的現象ニシテ一躍我技藝
ノ進歩シテ歐洲産ヲ壓倒シ又ハ商取引ノ發達シテ翼成シタルカ如キ確固ナル發暢ニ非ス然
ルニ我當業者ハ思ヲ茲ニ致サスシテ直ニ自負自慢シ又海外ニ於ケル我眞田ノ需用ハ定限ナ
キモノ、如ク思料シテ漫然多額ヲ製産シ或ハ自家ノ資力ヲ顧ミス又歐米ニ於ケル本品商取
引ノ實況ヲ知ラスシテ猥リニ直輸出ヲ試ミテ失敗シタルアリ又從來經驗ナキ地方ニ於テ斯
業ヲ開始シ地方廳ノ保護獎勵ヲ加ヘタルアリ斯ク好況ニ乘シテ無謀ノ行動ヲ敢テシタルノ
結果我供給ハ需要ニ超過シ一方清國ノ秩序回復スルニ從フテ漸次我輸出額ハ減退スルニ至

レリ素ヨリ之ヲ戰役以前ニ比スレハ倍數以上ノ金額ニシテ毎年凡ソ三百万圓ヲ輸出シ我重要輸出品中屈指ノ多額ヲ占メテ尙ホ盛況ニアリト雖モ之ヲ永遠ニ保持セント欲セハ我當業上施設ヲ要スルモノ極メテ多シ之ヲ今回出品ノ成績ニ鑑ミ世界ニ於ケル本業ノ現狀ニ對照シテ最急ヲ要スル施設ノ二三ヲ語ランカ

製産地域ノ縮少 地方ノ風土良好ナル原料ヲ産出スルニ適スルカ又ハ特別ノ歴史ヲ有スルニ非レハ斯業ノ創始又ハ開發ノ念ヲ斷ツ可シ蓋シ地方ノ大産物トシテ興隆ノ望ナキノミナラス他ヲ誤リ己レ亦利スル所無キニ至ルヘケレハナリ而シテ今回二等賞又ハ其以上ノ褒賞ヲ受領シタル東京神奈川愛知高知香川兵庫岡山廣島山口等ノ府縣及ヒ東北ノ地ハ經木真田ノ前途ニ望ヲ囑ス可キモノアルヲ以テ此等地方ノ當業者ハ益々奮勉ヲ加ヘ地方應亦之ニ十分ノ保護獎勵ヲ與ヘ以テ今回ニ於テ一躍名譽銀牌ヲ拜受シタル光榮ヲ更ニ發揚スルコトヲ勉ムヘシ

販賣組合 一町村又ハ一部落ノ同業者協會シテ産業組合法ニヨリ販賣組合ヲ組織シ製造販賣共ニ一致ノ行動ニ出ツ可シ如斯ニシテ團結ノ利ヲ自覺シ訓練熟スルニ至ラハ初メテ海外ニ商權ヲ擴張シ得ヘシ

同業組合聯合會 同業組合ナギ地方ハ速ニ之ヲ設立シ尋テ各府縣同業組合聯合會ヲ組織シ内ハ製品ノ検査ヲ厲行シ又麥作改良及經木ノ撰擇ハ削製方法並ニ原料漂白法ノ改善且ハ編成技術ノ進歩ト新意匠ノ考案ヲ獎勵シ外ニ對シテハ流行ノ變遷商況ノ移動競争國ノ當業等

ニ就テ常ニ精査ス可シ海外ニ出張所ヲ常設シ當業者ヲ統合シテ直輸出ト金融機關ノ基礎ヲ定メ又染色試験所職工養成所ヲ設立スルカ如キ頗ル必要ナル事業ナルモ今日ニ於テ之ヲ望ムハ多キニ過ク可シ而シテ聯合會ニ要スル經費ハ検査ノ際一反ニ付キ五厘乃至一錢ヲ徵收スヘシ我眞田ノ海外ニ出ルモノ毎年凡ソ一千萬反ナルヲ以テ一反五厘ヲ課スルモ五方圓ヲ得ヘシ我開港地ニ於ル眞田價格ノ變動ハ五錢ノ増減ヲ普通トシ忽チニシテ加リ忽チニシテ減スルノ現況ニ願レハ每反一錢ヲ徵スルモ敢テ難事ニ非サルナリ況ンヤ聯合會ニシテ成立シ如上ノ設備ヲ開始遂行シ得ルニ至ラハ當業者ノ幸福ハ圖リ知ル可カラスシテ本邦斯業ノ基礎茲ニ確立シ得ル所ハ費ス所ニ幾十百倍スヘシ

官府ノ保護 獨リ眞田業者ニ限ラスト雖モ由來我當業者ハ因習ヲ排シテ改進スルノ勇斷ナク感情ニ激シテ商利ヲ忘却シ忍ビ得ヘキニ忍ハスシテ相雜執シ以テ大局ノ公益ヲ思ハサルコトアリ夫ノ生産地域ヲ縮少シテ地方ノ特長ヲ發揮シ兼テ需用供給ノ均衡ヲ保チ販賣組合ヲ組織シテ相互ノ福利ヲ保持増進シ同業組合聯合會ヲ成立シテ本邦斯業ノ木鐸ヲシムルカ如キ同業者一番ノ奮勵ニ因リテ構成セラル、モノナルモ之ヲ彼等ノ爲ス所ニ放任セハ容易ニ成立ス可キコトニ非ス又幸ニシテ其組織ヲ見ルニ至ルモ活動當ヲ得テ豫期ノ事業ヲ完成シ得ルヤ否ヤ頗ル疑問ノ存スルモノアリ故ニ此秋ニ當リ我政府及地方廳ハ彼等ヲ督勵スルコト最モ急要ナリ而シテ若シ能フ可クンハ麥稈及ヒ經木ノ改良ニ關シテハ農事試験所及山林當局者ニ於テ之ヲ試ミ製品検査ノ如キハ中央政府ニ於テ検査所ヲ新設シ又領事館ニ於

テ常ニ海外斯業ノ實狀ヲ精査シテ速カニ公知セシムル等施設ノ端緒ヲ開キ事漸ク進ムニ至テ之ヲ組合又ハ聯合會ノ經營ニ委セシムルコトヲ望ム

密査囑託小野麟吉批評 麥稈真田ハ前回ニ比スレハ出品點數頓ニ増加シ原料ノ撰擇及組方等亦大ニ面目ヲ更メ殊ニ前回ニ於テ殆ント皆無ナリシ意匠品多キヲ占ムルカ如キハ以テ斯業進歩ノ顯著ナルヲ證スルニ足レリ然レトモ主産數縣ヲ除クノ外發達年尙ホ淺キヲ以テ改良ノ餘地尠ナカラス假令ハ原料ニ就テハ往々新入期節ヲ誤リ或ハ早キニ失シ或ハ遲キニ過クルモノアリ漂白法モ舊來ノ亞硫酸瓦斯ヲ使用シタルモノ稀レナリ組方概シテ普通品ニシテ意匠ニ乏シ要スルニ將來一層麥種ヲ撰擇シ栽培新入ノ期節ニ注意シ以テ原料ヲ精良ナラシメ日進ノ染色法及漂白法ヲ講究シ以テ製品ノ増加ヲ致シ進テ意匠ヲ凝ラシ以テ需用地ノ流行ニ副ハンコト最モ肝要ナリ

前回皆無ナリシ經木真田モ近年長足ノ進歩ヲ爲シ原料組方共ニ良好ニシテ意匠亦見ルヘキモノアリ然レトモ染色法漂白法ニ於テ尙ホ不完全ノ嫌ヒアリ之レカ講究改良ヲ要ス

今ヤ麥稈帽子ハ世界ニ彌リテ行ハレ從テ其材料タルヘキ麥稈真田ノ需用ハ實ニ多大ニシテ亦世界ノ一大商品タリ歐洲諸國及北米合衆國等ニ於テハ廣ク之ヲ製産スト雖モ近年本邦ニ其編組ヲ仰クコト巨大ノ數ニシテ本邦ノ麥稈ハ其質良好光澤亦美ナリトノ稱アリ加フルニ編組亦拙カラス故ニ歐米ノ市場ニ上ルモノ多キヲ致シ我邦民ノ一大産業

トハナレリ然リ而シテ我邦ノ麥稈ハ純白ニシテ量目輕ク巾廣ク光澤ニ富ム等ノ特質アリ故ニ將來需用者ノ嗜好ヲ察シ新奇ノ意匠ヲ案出シテ流行ノ先ヲ制シ技術ノ精巧ヲ期スルトキハ前途有望況ンヤ職工ノ賃銀極メテ低廉ナルノミナラス職工ハ概シテ手工ニ長シ優美ノ思想ニ富ムニ於テヲヤ是レ即チ斯業ノ前途ハ有望ニシテ益々擴張ノ必要ヲ感スル所以ナリ

密査補助川田廣太郎意見抄 今回ノ出品ヲ目撃シテ感スル所少ナカラス左ニ其大要ヲ掲ケン

一、出品麥稈真田ニ就キテ國家的眼孔ヲ以テ評セハ其原料(麥稈)ノ統一ヲ缺クル斯業改良ノ最急務ト言フヘシ

夫レ麥稈ノ統一ヲ缺ケルコト現今ノ如クナレハ稈質硬柔ノ差甚シキカ故ニ組方一樣ナラス色澤亦數等ニ分カレ其結果ハ即チ漂白方染色方ニ同一處方ヲ取ルコト不可ナル場合アリ麥種ハ到底一致セサルヘカヲササルナリ

二、組方粗雜ナルモノアリ

組方粗雜ナレハ染色若クハ漂白(浸水漂白ヲ行フ場合)ヲ行フ際原形崩壞シテ製帽ニ堪ヘサルモノアリ故ニ經木真田ノ如キモ海外ヨリ組方ノ緻密ナランコトヲ要求シ來レリ

三、漂白過度ナルモノアリ

漂白過度ナルモノハ月ヲ經ルニ從ヒテ耐久性ヲ失フ經木真田モ亦此弊アリ故ニ海外ニ

於ケル斯業黑人筋ハ原質佳良ナレハ漂白セスシテ可ナリト注意シ來レリ

四、意匠陳腐ニ屬スルモノアリ又巧緻ニ失スルモノアリ
意匠陳腐ニ屬スルモノハ在荷拂底ヲ告ケタル場合或ハ時ニ價格昂騰ヲ現スノ例ナキニ
アラサルモ之レハ例外ノ例ニシテ普通時ハ利得概シテ僅少ナルモノナリ故ニ經木真田
(參稈真田モ亦上等品)ノ如キ意匠専用ヲ以テ市場ニ立タンニハ常ニ新陳代謝ノ原則ニ依
リテ新見本ノ造出ニ務メ以テ眞價ヲ保持セサル可カラス又巧緻ニ失スルモノトハ所謂
工夫ニ凝リ過キテ實用ニ適セサルモノヲ云フ而レトモ巧緻ノ其當ヲ得タルモノハ大ニ
歡迎セラルル所ナルモ其需用ノ範圍ハ比較的狭小ナリトス勿論巧緻ナル品種ハ斯業ノ
先驅ヲ務ムル花役者トモ稱スヘク其動作如何ニ依リテハ普通品ニ利害ノ影響ヲ及スコ
ト多大ナレハ營業者タルモノ常ニ此意ヲ體シテ兩者ノ調和ヲ破ラサル様生産者ニ務ム
ヘキナリ

又經木真田ノ色交物ニ就テ一言セン夫レ色物ノ流行ノ盛衰ハ組方模様ノ變遷ヨリ以上
ノ速度ヲ以テ行ハレツ、アル以上ハ本邦トシテ米國ノ如キ最モ取引上便利ナル國柄ヲ
選ンテ商路ヲ開カントスルモ常ニ流行ニ先ツテ流行ヲ制スル底ノ敏捷ナルコトハ難事
ナリト言ハサルヘカラス若シ強テ之ヲ爲サハ注文納期ノ遲延色合ノ一致ヲ缺ク等種々
ナル故障ヲ生シ爲メニ意外ナル損失ヲ負フコトアルヘシ余ハ國產トシテ弘ク獎勵セン
ニハ斯ル危險ヲ含メル著色物ヨリハ白素地ノ品種ノ製作ニ從ハシムルコソ穩健ナル工

業擁護策ナリト信スルナリ

五、海外ニ於ケル重ナル製造地ノ良習慣

伊太利タスカン地方ニ於テハ毎年製造上ノ間隙期(本邦ナレハ毎年三、四、五、六)ニ入レハ其
重ナル製造者ハ休業シ所謂見込品ノ製作ヲ避クルコトナリ本邦ノ如キモ此期間ニハ所
謂(ツナギ)仕事ト稱シ非常ナル安價ヲ以テ供給ニ應シタルコトアリ又資力アルモノハ前
途有望ナルモノヲ此期ニ乘シテ製作シ以テ海外市場ニ委託販賣ニ附シタルコトアリ然
レトモ其結果ハ皆非ナリキ要スルニ經木真田ノ如キ嬌奢部類ニ屬セル商品ハ彼ノ日用
品ノ如ク價格ノ低廉ヲ俟テ盛行セラルモノト其品ヲ異ニシ斯品ニ限り意匠最新ナルモ
ノハ敢テ價格ノ貴キヲ厭ハサルノ性質ヲ有セリ故ニ余ハ同業者諸君ニ勸告ス營ヘ此間
隙期間ハ製造原價安價ナリトモ好ンテ多額ノ製作ヲナスコトナカレ余等ノ經驗ニヨレ
ハ此窮地ニ入りテ爲シタル行爲ハヨシ僅少ナルカ如シト雖モ本邦ノ事情ニ通セサル海
外顧客ハ其價格ノ差異ノ甚シキニ一驚ヲ喫シ爲メニ市場ノ人氣ハ沈衰シ將ニ來ラント
スル需用期ノ障害タルコト少ナカラサルナリ余ハ斯業自衛ノ爲メニ本邦經木真田製造
者モ亦實力ヲ養成シテ此好例ニ倣ハントラ切望ス

六、佛國最新流行品ヲ紹介ス

即今佛國巴里ノ位地タル全世界流行品ノ宗家トシテ洋ノ東西ニ仰向セラルコトハ余カ
説クヲ俟タサル所ナリ茲ニ近着巴里人ノ手ニ成レル最新經木真田標本ハ犬丸鐵太郎氏

ノ好意ニヨリテ示サレタリ余之ヲ熟視シタルニ其全部ハ殆ント經木ヲ以テ構成セラレ只僅カニ備用トシテ人造絹絲ヲ浮形ニ顯ハシタルト他ハシヤコト稱スル極ク細キ三本打真田ヲ(ノ)字繼キニ編込ミタモノニシテ其意匠ノ貴フ所ハ淡白瀟灑タル風趣アルト一般工手者カ最モ摸倣シ易キハコノ二點ニアリ斯意匠ノ上乘工夫ノ秘訣タリ余ハ平素標本考案ニ苦勞スル者ノ爲メニ一言シテ徹ヲ開クコト斯ノ如シ

七、出品陳列方ノ不備及ヒ所感

方今府縣聯合共進會ト云ヒ又内國勸業博覽會ト云ヒ何レモ其出陳區分ヲ府縣別ニ取レルハ會場整理上正ニ然ルヘキコトニ屬スト雖モ勸業競技ノ本旨ヨリ觀スルトキハ出陳不備ノ評ヲ下スニ躊躇セサルモノナリ今回ノ會場へ出陳シタル真田組ノ如キモ其出品ノ府縣コソ二十四個所ノ多キヲ稱スルモ其總點ニ至リテハ僅カニ二千八百四十餘點ニ過キス而シテ一縣下ニシテ百點以上出品シタルハ岡山縣外三縣ニ止リ他ハ二十點乃至四十點臺ノモノ多數ヲ占メ甚シキハ一縣二三點ニ過キサルモノアリ斯ノ如ク出品點數僅少ニシテ只寂莫ノ觀ナキニ非サルモノヲ更ニ各所ニ分置セラレタル爲メニ尙ホ一層看者ノ注視ヲ率クコト稀ナリ又神奈川縣(他ニモアリ)ノ出品ノ如キハ普通飾棚ノ上邊七尺以上ノ高所ニ排列シタルハ誰カ言ニ徵スルモ只々拙策ト評セサルハナシ元來塗金彩粉艶ヲ競フ漆器ヤ精巧美麗珍ヲ爭フ織物類ノ品評ニ忙殺セラレツ、アル數萬ノ看者何爲ソ斯カル配置ノ本旨ヲ失セル個所マテ視線ヲ放ツノ餘裕アランヤ又岡山縣出品中ニ

ハ間々微菌ノ發生シタルモノアリ其原質ノ良ナルニモ拘ラス止ナク審査部外ニ附セリ其發因ハ飾棚内部ヲ紙裝セル貼糊ノ未タ全ク乾涸セサルニ配列シタル爲メナラントモ云ヒ又一説ニハ會場内撒水過度ノ爲メニ麥稈通有性トシテ容易ニ水分ヲ吸收シタルノ結果ナリトモ云ヘリ其何レカ事實ナルヤ否ヤヲ識ラサルモ一日千秋ノ思ヒヲ爲シテ審査ノ結果ヲ俟ツ、アリシ出品當事者ノ不幸之ニ過キス余ハ此不測ノ出來事ニ鑑ミ今後此種ノ會ニ關係スル諸士ニ慎重ナル注意ヲ請ハント欲ス

余ハ今回ノ出陳方法ニ就テ大ニ感スル所アリ左ニ卑見ノ要領ヲ摘記スヘシ即チ今後幾多開設セラルベキ共進會也博覽會也益々盛カンニ出品シテ弘ク觀者ノ注意ヲ喚起シ以テ勸業獎勵ノ盛旨ニ副ハシメンニハ斯品ニ限レル特別館ヲ設置シ茲ニ各府縣ノ產品ヲ陳列スルニアリスノ如クナレハ未タ本業ニ知覺ナキモノト雖モ順次歩ヲ移シテ比見スル間ニ斯業ノ大体ヲ解得シ且其効用ノ偉大ナルニ感シテ自家躬行ヲ試ミント欲スルモノ輩出スヘシ若シ夫レ利害ノ關係ヲ有スル同業者ニシテ足一タヒ場内ニ踏入ラハ他者ノ長所ヲ取リテ自家ノ短所ヲ補スル等所謂他山ノ石ヲ以テ玉ヲ攻ルノ結果亦少ナラサルヘシ

審査囑托原田伊之助意見抄 抑モ殖産工業ハ總テ土質氣候其原料ノ作出ニ適當スルヤ否ヤニ付多大ノ關係ヲ要スルハ論ヲマタサル義ニシテ殊ニ麥稈真田紐ノ如キハ主トシテ農家ノ副産工業トシテ最モ適當ノ事業トス故ニ其原料タル麥稈ニ適スル土質氣候ヲ

撰ハサルヲ得ス麥稈原料適當ノ土質ハ概ネ花崗山脈ニ連リタル砂質壤土ニシテ氣候温
暖風通シ善キ東南向ノ傾斜地最モ適當ナリトス故ニ右ニ適スル地方ハ充分獎勵且ツ勸
誘スルノ必要アルモ又是ニ反スル地方ニ於テハ原料粗惡ノ爲メ自然製品ハ粗製ニ流レ
價格低廉ヲ來シ粗品ノ増加ハ必ス不況ヲ來ス一大原因タルヤ瞭然タリ

今回ノ出品ニ付キ特ニ遺憾トセシハ染色真田出品僅少ナル是ナリ抑當業者ニ於ケル染
色真田ノ有利ナル事ハ何人モ認ムル處タリト雖トモ染色法未ダ幼稚ニシテ外國染色法
ニ及ハサルニアリ已ニ染色真田ハ婦人及ヒ小兒等ノ帽子用トシテ常ニ需用ノ多キハ白
色真田ニ比肩スルヤニ聞キ及フ果シテ然ルトキハ一日モ忽諸ニ附スヘキ事業ニアラス
然レトモ是カ研究ハ農家ノ副業タル個人ノ及サル所タリ次ハ漂白法ノ不完全ナルコト
是ナリ爲メニ製品ヲ翌年ヘ持越ストキハ色澤ヲ損スルヲ以テ必ス其年々ニ相場ノ下
ニ拘ハラス賣却スルコト殆ント習慣トナリ居レリ是レカ爲メニハ價格ノ亂調ヲ來スノ
ミナラス粗製濫造ノ一因タルナリ何トナレハ麥稈真田業ハ殖産工業ナルヲ以テ氣候ノ
變遷如何ニヨリ原料豊凶ヲ免レス原料不作トアレハ忽チ非常暴騰ヲ來スヲ以テナリ年
々内國當業者ノ持越品之無キヲ以テ常ニ相場ノ亂高下ヲ調和スルヲ得サルニアリ故ニ
左ノ方法ヲ設置セハ必ス利スル所少シトセス

- 一 重要物産同業組合ノ設置ナキ府縣ハ直ニ其組合設置ヲ求ムル事
- 一 府縣同業組合ニ於テ摸範染色場并ニ漂白場ヲ設置スル事

- 一 同業組合聯合會ヲ組織スル事
- 一 輸出港ニ於ケル製造品ノ検査場ヲ設ケ嚴格ナル検査ノ上其合格品ニ限り輸出ヲ許
ス事ノ規定ヲ設クル事
- 一 漂白法染色法ノ傳習所ヲ設置スル事
- 一 同業組合聯合會ノ事業トシテ歐米兩市場ヘ商況觀察員ヲ派遣スル事
- 一 直輸出業者ニ對シ保護獎勵スル事

麥稈及經木真田出品並授賞統計表

府縣別	出品點數	出品人員	名譽金牌	名譽銀牌	一等賞牌	二等賞牌	三等賞牌	褒	狀	計
東京	三五	九	三						三	七
大阪	九	三								一〇
京都	二	三								五
奈良	九〇	一								一〇
兵庫	七	三								一〇
長崎	一〇	三								一三
埼玉	七	三								一〇
栃木	九	三								一三
三重	九	三								一三
愛知	二五	一〇								三五
静岡	二五	一〇								三五
計	三三〇	一〇							三三	四〇二

モノアラン偏ニ當事者ノ誘發ヲ望マサルヘカラス審査ノ結果授賞シタルモノ三等一人褒狀
九人

臺灣出品中其名稱内地ト異リ一見識別シ難キモノ往々ニシテ之レアリ今左ニ之ヲ摘載シテ
註釋ヲ加ヘ聊以テ他日ノ參考ニ資セントスルノミ

莖菜布 鳳梨纖維ノ織物ナリ一ニ鳳梨布ト云フ

オンライ布 臺南特産ノ纖維オンライヲ以テ織リタルモノ

澁烏布 黒色綿布ナリ但シ紺染ノ後大皮迫ト稱スル一種ノ澁ヲ以テ上染セシモノナリ

笑淺布 淺黃木綿

烏大田糊 黒色麻布

上烏糊仔 上等黒色麻布

下烏糊仔 下等黒色麻布

天藍色大田糊 紺色麻布

笑淺大田糊 淺黃麻布

烏漂洋布 黒色金巾

天色漂洋布 紺色金巾

第十章 染織物類製造ノ器具方法形紙圖案

本類ノ出品ハ其點數一千〇八十人員二百八十四ニシテ染織工業ニ關スル器具方法ヨリ標本

圖案ニ至ルマテ比較的難駁錯綜ヲ極メ篋杆形紙圖案等稍々多數ヲ占ムル處ノ品種タリ而シ
テ概勢上多少進歩ノ形跡ナキニアラサルモ所謂漸進的ニシテ發明的ニアラサルヲ遺憾トス
ルノミ

第一節 器具方法

報告員審査官 竹下直次郎

此種ノ出品ハ篋及杆ヲ主トシ一々類ヲ別チテ批評スルマテモナケレハ直チニ府縣ヲ追フテ
評論セントス

東京府 杆ハ木綿用及ヒモスリン用トアリ製作普通特ニ評スヘキコトナシ

綜小間ハ齋藤恒吉ノ出品ニシテ大小各種アリ器械ヲ以テ輕便ニ製作シ價格低廉ニシテ堅
牢實用ニ適シ近年販路擴張セリト云フ

コール天切刀ハ大小數個ノ出品アリ輕便實用ニ適ス

京都府 篋ハ出品點數四十六人員十五アリ博多男女帶地用大小巾縮緬用縞珍廣幅用ハンカ
チーフ用襟地用高配用等絹篋ヲ主トス又鉞及綾取鉞少數アリ何レモ技術精巧ニシテ篋羽
ノ整調頗ル舊觀ヲ俊メ材料ノ撰擇編綴ノ方法各部ノ膠著何レモ注意セリ然レトモ編成後
篋羽ニ狂ヒノ來リタルモノ編綴ニ不揃ノモノ多少アリキ杆ノ出品ハ僅々數點ニシテ機構
ニ改良ヲ加ヘタルモノ一二アレトモ其他ハ評スルニ足ラス

綜統ノ出品十數點アリ就中紋羽二重用綜統首卷模様織出シ綴リ付綜統及ヒ縞子織用綜統

二番口ノ轉換六回用ニテシタルモノハ考案稱揚スヘシ
刺繡縫取器シユツイヘル氏ルーム)一點アリ製作普通ナリ
染色標本帖三點無地染縮緬各色ヲ集輯セルモノ其他捺染形板三點銅製絹練釜及ヒ染釜各
一個色付刷毛六點絹張篋三點何レモ普通ノ出來ナリ
萬産氏式及シヤカード式紋揚器數點ノ出品アリ近年此種ノ製作大ニ興リ製作技術改進シ
需要ノ開ケタルハ喜フヘシ

大阪府 篋ハ出品點數四十九人員五アリ綿ネル木綿段通縮緬小倉用等各種アリ、ネル用金篋
ノ代用トシテ巾三十八「インチ」カイツル「ノ」間隔二「インチ」七分篋羽一「インチ」三十四ノモノア
リ大阪ハ特殊ノ織物ナキヲ以テ從テ篋ニ特長ナク各種ノ注文ニ應シテ製出スルモノニシ
テ荒物多ク有皮ノ儘ノモノモアリ就中「ネル」用及ヒ羽二重用ノモノハ稍々精巧ト謂フヘシ
篋羽ハ普通白燒ニシテ間々油燒ノモノヲ見受ク羽狂等多少ノ缺點ヲ免カレス製作用竹材
ハ近ク京都ノ嵯峨ニ仰クト云フ

杆ハ出品點數十三人員三アリ地機杆羽二重杆力機杆普通木綿杆等各種アリ又山多加織用
トシテ大形ノモノ一個アリ製作何レモ普通ニシテ特ニ記スヘキモノナシ地機杆ハ需要漸
次減少ノ傾アリ

綜統器械應用ニス引綜統彩工舎ノ出品七點アリ掛絲ハ外國ノ輸入品ニシテ製作後ニス引
キヲ施シタルモノニシテ堅牢ナリ用途亦廣シ

張仲子ノ出品點數十五人員一アリ金巾天竺縮緬タヲル小倉其他絹用ノモノ各種アリ製作
ニ注意セリ

早繰及絲粹ノ出品アリ製作普通ナリ

紵染器械ハ出品點數二人員一アリ叩キ摺付染ニシテ方法迂遠實用ニ適セサルノ感アリ

神奈川縣 横濱市ヨリ輸出絹織物ノ染色標本二點ノ出品アリ染色及ヒ整理ノ技術可ナレト

モ各種色合標本ノ類集トシテハ格別新規トスルニ足ラス

兵庫縣 篋ハ木綿用小倉用襟地用羽二重用綿子ル用縮緬用博多用等六十點ノ出品アリ一般
ニ子ル篋其他荒篋ヲ特長トシ密篋ハ拙ナリ羽狂ヒノモノ片羽押シノモノ及ヒ色付者等ノ
缺點アリ

杼ハ木綿及ヒ地機用ノモノ二十七點アリ普通品ニシテ價格廉ナリ滑車ノ低キモノアリ少
時使用ノ後磨滅シテ直チニ杼車交換ノ必要起ラン

綜統ハ出品八點アリ普通ナリ

新潟縣 篋ハ出品點數二十三人員六アリ而シテ斜子八ツ橋内外向羽二重絹絲織節織紬タフ
タ織用等各種絹篋ノ出品ニシテ木綿用ノモノハ近々一二ニ過キス一般ニ綴班狂ヒ「シビシ」
脱ケ傷羽モノアリ技術ハ餘リ精巧ナラス只縮緬後研出シモノナキハ喜フヘシ
無双綜統一點アリ十算ノ「カタン」掛絲ニシテ普通品ナリ

埼玉縣 篋ハ出品點數二十四人員七アリ何レモ絹篋ニシテ技術進步セリアセリ「カイツル」ノ

間隔稍ヤ狭シ

綜統二點及羽二重用杼一點ノ出品アリ見ルニ足ラス
板ノ縫染器一點ノ出品アリ普通ナリ染班ヲ生スル患アリ

群馬縣 箒ハ出品點數十七人員七アリ絹縞子琥珀力機用子ル箒等各種アリ竹材ハ本縣碓氷
ニ取ル橋本茂市ノ出品ハ機械編ニシテ編方整一箒羽亦タ整ヘリ其餘多少ノ編班及ヒ羽狂
ヒ等アルモ概シテ製作技術良巧ナリ

杼ハ桐生町新橋兼吉ヨリ各種ノ出品アリ羅紗縞子用其他弦付佛國式等アリ製作頗ル佳ニ
シテ用材亦タ各種アリ只價格高キニ尖スルノ感アリ

絲線杼ノ出品アリ普通ナリ

千葉縣 箒ハ出品點數四人員一アリ絹及ヒ木綿著尺巾十五十八二十等ニシテ普通ノ製作
ナリ別ニ技術ノ見ルヘキモノナシ

栃木縣 箒ハ出品點數十二人員四アリ羽二重海氣絹等絹箒ヲ主トス絹織用ノモノハ箒羽ノ
間隔不揃ニシテ其他一般ニ竹材ノ撰擇宜シカラス又綴班アリ

二挺杼バツタン框ノ出品アリ製作可ナレトモ其機構ノ作用ヲ示スニ附屬品ヲ具備セサリ
シハ遺憾ナリ

奈良縣 絹箒三點一人ノ出品アリ製作拙劣綴班及ヒ羽狂ヒアリ竹材ノ撰擇亦宜シカラス
綜統一點ノ出品アリ普通品ナリ

箒四十三ノ出品アリ尖端削付ケノモノアリ針植ノモノアリ亦タ塗漆ヲ施シタルモノアリ
製作稍々巧ナリ

三重縣 箒十九點四人ノ出品アリ何レモ木綿ニシテ著尺巾及ヒ小倉帶地用トシテ製作稍々
可ナリ絹箒ノ稠密ナルモノハ編綴後砥出シヲナシタルタメ角羽トナリ使用ニ適セス又小
倉箒ハ脆弱ニシテ耐久ノ性ヲ缺ク其ノ他箒休スメノ剝脫セルモノ等缺點ノ著シキモノナ
リ

綜統二十五點四人ノ出品アリ木綿用ニシテ十一十五二十算等ナリ製作可ナレトモ逸品ヲ
認メス用絲ハ「カタン」ニシテ糊付ノモノアリ
杼駒篋筒袋ノ出品アリ普通ナリ

愛知縣 箒八點一名ノ出品アリ綿織及ヒ交織用ニシテ白燒キアリ何レモ普通ニシテ密箒ニ
至テハ技術未タ至ラス

杼羽二重用ノモノ一品アリ福井ト同式ニシテ及ハス
「バツタン」三挺普通品ナリ内松崎榮吉出品ノ分ハ中折レニシテ又框ノ重量ヲ變換スル裝置
ヲ附シタリ

綜統三點綜統合資會社ノ出品ニ係ル縞子用綿布用羽二重用トアリ掛絲ハ「カタン」ト普通擦
絲トアリ何レモ器械ニテ編成セリト云フノ外別ニ評ナシ

静岡縣 箒七點二人ノ出品アリ博多羽二重用及ヒ箒羽ナリ編班アルヲ缺點トス

特許第四八五七號杼ノ出品アリ横管ノ釣止及ヒ取外シニ考案アレトモ實用上餘リ便利ト認メラレス又管ノ尖端仰向キニナリテ絲ノホグレニ缺點アリ

綾取機二個ノ出品アリ經絲ヲ通スル鉄針四十ヲ一列トナシ其隔番半數宛ヲ分テ二條ノ發條ヲ具ヘタル把手ニ取付ケ其把手ノ互押壓ニ依テ輕便ニ一ト算ノ綾取ヲナス裝置ニシテ考案新規ナリ

山梨縣 篋四點一人ノ出品アリ絹織用ト木綿織用トナリ製作稍々可ナレトモ少數ニシテ兎角ノ評ヲ下シ難シ

滋賀縣 工夫紵器一點ノ出品アリ染色方法ノ原理ハ普通板ノ紵器ト同一ナルモ之ヲ横紵ノ連續セル横絲ニ一模様ヲ割當テタル考案嘉スヘシ只木材ノ選定宜シカラス狂損シ易キ缺點アリ又本器ノ效用ヲ知ラシムルタメ該器ヲ以テ染色セル紵絲及ヒ製織ノ見本ヲ添出シタランニハ更ニ妙ナリシナラン

「スピンドル」杼管用スピンドル大小八點アリ製作念入ニシテ堅牢ナリ

岐阜縣 篋四十三點八人ノ出品アリ博多縮緬地其他絹物用ナリ又絹織交織用ノモノアリ新式器械編ノモノアリ手編ニ比シテ成績佳良編絲ノ結目ナシ只編絲稍々太キニ失スルノ感アリ其他ニ至リテハ緩班羽狂ヒ羽割レ篋羽ノ厚薄及ヒ研ギ出シノモノアリ油燒ノモノアリ又白燒ノモノアリ概シテ普通ナリ

杼ハ四點一人ノ出品普通品ニシテ杼ノ滑車不良ナリ

宮城縣 絹篋二點ノ出品アリ製作稍々可ナリ

福島縣 篋十點四人ノ出品アリ羽二重篋ヲ主トセリ又平絹用ノモノ一點アリ同縣二重用ノモノハ鯨一寸ニ付キ百〇五枚ヲ普通トス近年同縣ニ於ケル羽二重業ノ發達ニ伴ハレテ篋ノ製造起リ爾來著シク進歩セリ竹材ハ京都ニ仰クモノアリ油燒ハ福井ノ如クナラス佐藤万吉出品ノ編方念入リニシテ其他一般ニ篋羽ノ狂ヒアレトモ概シテ精巧ナリ

岩手縣 更紗小紋染標本三點アリ技術幼稚ナリ

青森縣 掛衣碓四點二人ノ出品アリ小形ニシテ製作普通價格廉ナリ

山形縣 篋四點二人ノ出品アリ着尺絹及ヒ羽二重用ニシテ後者ハ福井風ニ則レリ製作可ナリ

綜統三點一人ノ出品アリ絹絲無双及ヒ綜小間入綜統何レモ製作普通ナリ

木綿用杼ノ出品アリタレトモ評スルニ足ラス

福井縣 篋五十點二十四人ノ出品アリ羽二重及ヒ絹織用等絹篋ヲ主トセリ又蚊帳用及ヒ木綿用篋少數アリ油燒ノ篋羽ヲ用ヒタル羽二重篋尤モ多ク製作ニ付テ別ニ新工夫ヲ施シタルモノナシト雖モ技術漸ク精巧ニ向ヘリ京都其他ニ比シテ油燒ノ度ニ過キタルハ篋羽ニ狂ヒノ生スルヲ豫防スルカ爲メニシテ即チ羽二重ハ製織ノ際濕緯ヲ織込ムヲ以テ幾分力篋ニ狂反ヲ生スルヲ以テ同地製造家ハ之ヲ豫防スルカタメ油燒キノ篋羽ヲ用ユルコトヲ工夫セリ然レトモ又一方ニ於テ油燒キノ過キタル篋羽ハ其質脆弱トナリ破損シ易キ傾キ

ヲ生スルヲ以テ京都西陣地方ノ如キ密箆ニ三ツ入乃至八ツ入ヲ行所ニ在テハ箆羽ノ狂ヒヨリモ破損ノ患アルヲ以テ旁々羽二重ノ如ク沾緯ヲ織込ムノ必要ナキヲ以テ油燒キハ輕クスル異リトス

今回ノ出品中福井縣ノ箆ハ前記ノ如ク油燒キヲナシタルモノ多キヲ以テ製作後今日ニ至ル迄狂ヒノ來ルモノ少ナシ只羽二重ノ如キ輸出向キノモノニシテ殊ニ箆班ヲ忌ム織物用ノ箆トシテハ未タ編班及ヒ箆羽ニ厚薄アルモノヲ用ヒアルヲ缺點トス其他「シビシ」ノ膠着不良ニシテ剝脱セルモノアリ又一般ニ仕上後箆面ヲ研キ出シタルカタメ箆羽ノ縁邊角稜ヲナシ使用ニ當テ經擦レヲ受クルノ缺點アリ是等ハ將來本縣當業者ニ向テ切ニ改良ヲ希望スル所ナリ本縣箆ノ材料ハ京都ノ嵯峨ニ取リ竹材ノ目通り六寸以上ノ竹幹ヨリ箆羽ノ原料ヲ採取ス箆ノ密度ハ普通鯨一寸百〇五羽ニシテ其密ナルモノハ百二十位ノモノアリ本縣ハ我邦ニ於ケル羽二重ノ主產地ニシテ之ヲ製織ニ要スル機具ノ如キモ漸次巧妙ニ達シ近年他府縣ニ於テモ羽二重製織ヲ獎勵セル結果之ニ要スル技術家ノ招聘ハ素ヨリ箆綜統ノ如キ器具ニ至ルマテ之ヲ供給ヲ福井市ニ仰クニ至リ箆ノ縣外輸出漸ク盛大トナルニ至レリ現今一ヶ年ノ産額十五萬圓製造家五十五人アリニ達シ景氣上進ノ時ハ此倍額ニ達スルコトアリト云フ

杆四十二點十三名ノ出品アリテ何レモ黃揚製ノ羽二重用ナリ製作技術頗ル進歩シ杆車ノ工合全体ニ可ナリ車軸ハ鐵製ナレトモ砲金トセハ更ニ可ナラン本縣羽二重用杆ハ羽二重業ノ隆盛ニ伴レテ需要中々ニ廣シ綜統四點三名ノ出品アリ何レモ羽二重用ニシテ製作可ナリ眞鍮製緯管ノ出品アリ現今福井地方ニ於テ羽二重用トシテ最モ廣ク需用アルモノニシテ片鶴及ヒ兩鶴ノ二様アリ前者ハ後者ニ比シテ七分ニ緯絲ヲ卷付クルコト能ハサルモ又殘リ絲ヲ去脱スルニ便ナリ後者ハ兩縁ノ支障ニ因リ段絲ヲ去脱スル時不便アレトモ緯絲ヲ十分ニ卷付得ルノ利益アリトス

「シケ取鉄伸子箆用心竹精練用暢子等ハ何レモ一人宛ノ出品ニシテ別ニ評スヘキ程ノモノアラス

石川縣 羽二重箆一點ノ出品アリ

富山縣 羽二重箆二點箆一點ノ出品アリ

右兩縣ノ出品トモ何レモ普通品ナリ

鳥取縣 箆五點二人ノ出品アリ小倉服地羽二重ネル用ノ如キ廣巾物及ヒ木綿箆ナリ羽二重

箆ハ箆羽柔軟ニ過キ其他ハ粗雜ニシテ見ルニ足ラス

器械製三輪無双綜統一點ノ出品アリ紅白絲ヲ以テ編成シ製作新規ナリ

島根縣 箆三點二名ノ出品アリ縮及ヒ絹用ナリ技術稍々可ナレトモ薄羽ニシテ縁稜ノ削リ

過キタルモノアリ又木綿紵用織絲一點アリ製作可ナリ

岡山縣 「ネル箆」一點伸子一點地機杆點ノ出品アリ

德島縣 紵紵二點ノ出品アリ

右兩縣ノ出品トモ何レモ技術ノ見ルヘキモノナシ

福岡縣 久留米木綿用綜統十五點一人ノ出品アリ普通品ナリ又不染織込紵絲三點ノ出品ハ

稍々佳ナリ

大分縣 紵紵三點ノ出品アリ紵絲羽ニ着色ヲ施シタリ製作可ナリ

出品ニ關スル批評以上ノ如シ尙ホ本類ノ最多數ヲ占メタル筈ニ付テ參考ノ爲メ福井地方

ニ於ケル該製造方法ノ一般ヲ左ニ掲ク

原料ハ京都府山城國葛野郡嵯峨地方産ノ眞竹ニシテ嵯峨地方ノ眞竹ハ質優良ニシテ柔軟ナラス脆弱ナラス頗ル筈羽ノ製作ニ適ス其生産後凡ソ五年ヲ經過シ太サ尺許ニシテ眞直ナルモノヲ擇ミ其根元一分末先四分ヲ除キ中央部五分ヲ採リ根元ハ曲ミ多ク末先ハ細クシテ柔軟ナルガ故ニ若シ之ヲ混製スレハ後日齒際ニ異狀ヲ呈シ製織物ニ害ヲ與フ之ヲ一節宛ニ切り鯨四分巾ニ割リ一度削キ其肉部ヲ去リ皮部ヲ大釜ニ投シ十分ニ煮(竹質ヲ強堅ナラシメンカ爲メナリ)然ル後釜ヨリ取上ケ日光ニ曝スコト五十日許能ク其干上ルヲ待テ筈羽ニ製ス之ヲ筈竹ト云フ

筈羽ニ製センニハ先ツ筈竹ヲ一度小刀ニテ削キ其皮部ヲ筈羽扱器ニテ漸次薄ク扱キ上ケ鯨二分ノ切込ニ鯨一寸ニ百十枚立用ハ四十枚百五枚立用ハ三十八枚百枚立用ハ三十六枚ヲ嵌入シ得ヘキ厚サニ扱キ上ケ而シテ之ヲ筈羽ノ丈ケ(即チ鯨二寸二分位)ニ切斷シ

之ヲ製羽框ニ詰メ込ミ双方ヨリ銚子ヲ以テヨリ締メ鍍鋳鑿及ヒ薄及ヲ用ヒテ其兩側面ヲ能ク削リ上ケ炭火ニ掛ケ橄欖油又ハ桐油ヲ塗リ徐々樺色ノ度ニ焼キ上ケ樺色ノ度ニ焼上クルトキハ竹ノ水質ヲ去リ羽質ヲシテ強堅ナラシメ羽二重織製ノ際横絲管ノ水氣ヲ彈カシメ水氣ノ爲メ箠目ノ狂フコトヲ防カンカ爲メナリ其儘放置スルコト數十日筈羽ノ收縮復舊スルノ後再ヒ薄及ヲ以テ削リ小口等ヲ仕上ケテ後面取框ニ順次斜ニ詰メ込ミ薄及ヲ用テ筈羽表兩角面ヲ削リ掠葉及ヒ角粉ヲ以テヨク磨キ上ケ筈羽トナス是ニ於テ心竹親羽竹等眞直ナルモノヲ擇ミ器械製ノ類節ナキ生絲ノ撚リ絲ヲ以テ百十枚ハ鯨二分ニ二十枚百五枚立ハ二十一枚百枚立ハ二十枚宛編ミ編絲ニ膠ヲ塗リ緣地ニ烏ノ子紙ヲ貼リ能ク齒條ヲ整理シ心竹ノ内側ニシベシ(細キ薄キ竹)ヲ貼付シ以テ製成スルモノアリ

器具方法出品並授賞統計表

府縣別	出品點數	出品人員	名譽金牌	名譽銀牌	一等賞牌	二等賞牌	三等賞牌	獲	狀	計
東京	一六	八								一六
京都	八	三								八
大阪	一一三	一一								一一三
神奈川	二	一								二
兵庫	一〇三	三三								一〇三
新潟	二	七								二
計	一三六	一三六								一三六

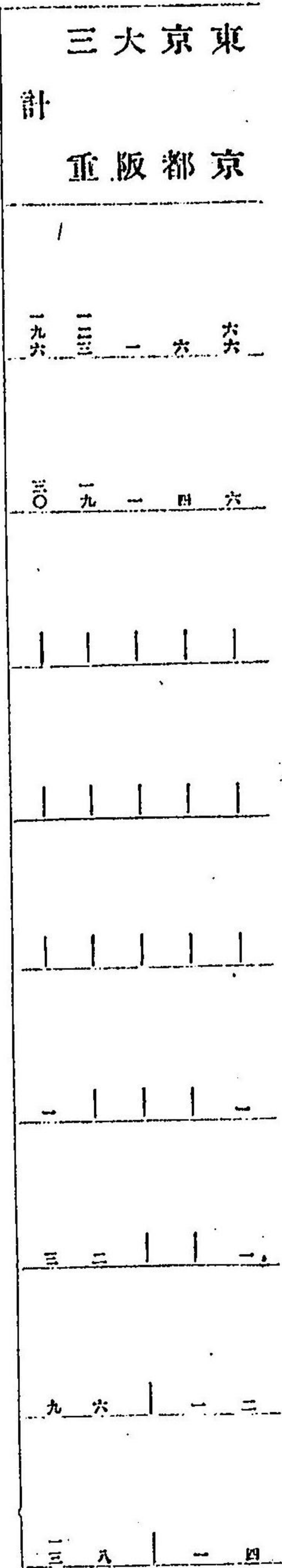
第十章 染織物類製造ノ器具方法形紙圖案

併せて出品シ審査上並ニ一般縦覽者ノ便宜ヲ計ランコトヲ望ム次ニ出品ニ就テ評セン
 東京府 北村林之助ノ出品ハ技術秀逸ニシテ意匠亦タ佳長谷川庄兵衛及ヒ神崎八兵衛ノ
 出品ハ釣絲頗ル妙ナリ三重縣ノ南部定助六谷芳藏寺尾齊兵衛ノ出品ハ製作精巧寺村重右
 衛門出品ハ澁合セ絲入レノ技術嘉スヘシ又大阪府ヨリモスリン友禪形紙一點ノ出品アリ
 タレトモ意匠細工普通ニシテ技術活氣ニ乏シ

審査補助萩原國三批評 形紙ハ往昔ヨリ勢州白子製作トシテ知ラレシモノナルカ現今
 ハ東京ニ中形京都ニ友禪大阪ニモスリン友禪等各地トモ彫形工ノ妙手輩出セシカハ白
 子ハ復昔日ノ觀ナシト雖モ小紋形ノ道具彫ト云フ細微ノ物ニ至リテハ未タ決シテ他方
 ノ企及スヘカラサルナリ然ルニ今後此種ノ精技他ノ衰潮ニ伴ハレテ漸ク枯凋シツ、ア
 ルトカ惜ムヘキノ限リナリ又中形ノ如キ小刀彫ト云ヘル模様の形ハ東京最モ長所ニシ
 テ其形ノ間ニ絲ヲ綾ツレルモノ等ノ精緻ナルハ稱賛スヘキモノアリキ京都ハ友禪形ノ
 出品アルヘキ筈ナレトモ更ニ其片影タモ見ル能ハサルハ想フニ其土ノ形工都テ製作家
 ノ配下ニアルカ故ナラン遺憾ナリ獨リ意匠ノ働キアルト認メシハ京都伊澤信三郎ノ紋
 織見本トシタル一松小紋ヲ濃淡二色ニヨリテ模様ノ陰翳ヲ明カニセシ出品ナリ是ハ一
 機軸ナリトシテ可ナラン

形紙出品並授賞統計表

府縣別	出品點數	出品人員	名譽金牌	名譽銀牌	一等賞牌	二等賞牌	三等賞牌	褒	狀	計
東京	六六	一六	一	一	一	一	一	一	一	六六
京都	一三	一三	一	一	一	一	一	一	一	一三
大阪	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
計	八〇	三〇	三	三	三	三	三	三	三	八〇



第三節 圖案

報告員審査官 井手馬太郎

圖案ノ概況ヲ報告スルニ先チ内國勸業博覽會ニ於ケル圖案ナル一項カ今回ニ在リテ始メテ
 設ケラレタルコトヲ永ク紀念セラレンコトヲ世ニ望ムト同時ニ之ヲ他ノ出品ニ比較シテ其
 數ノ甚タ僅少ナリシヲ告ケ以テ次回ニ於ケル出品ノ益々振ハンコトヲ切望ス
 今ヤ生産界ニ於ケル時局ノ趨勢ハ圖案ノ甚タ急務ナルニモ拘ハラス何故ニ斯ル現象ヲ呈シ
 タルヤヲ考フルニ其原因蓋シニアリ一ハ圖案技術者ノ未タ多カラサルコト他ハ當局者ノ獎
 勵全タカラサルコト是レナリ特ニ今回ニ於テ第十部ヲ除クノ外ハ圖案出品項目ヲ世ニ紹介
 スルノ條理徹底セス出品者ヲシテ幾分其出品ノ範圍ヲ不明瞭ナラシメタル傾キアリシモ亦
 儘カニ出品ノ寥々タリシ一原因ナルヘシ
 而シテ出品數ノ最モ多キハ京都府ニシテ之ヲ他府縣ニ比スレハ優ニ頭角ヲ露ハスニ足ル蓋
 シ此地ハ圖案技術者及ヒ各種ノ工藝家比較的多數ナルヲ以テ一般ニ需用ノ度他府縣ニ比シ
 多キヨリ圖案ノ必要ヲ感シ獎勵ノ途モ亦タ能ク發達セルニ歸因スルナラン出品ハ概シテ崑

明治三十七年四月廿七日印刷
明治三十七年五月四日發行

第五回內國勸業博覽會事務局編纂

定價全一部金貳拾五圓

本卷定價金八拾五錢

發行者 長谷川 正直
東京市日本橋區兜町二番地

印刷者 齋 藤 章 達
東京市日本橋區兜町二番地

印刷所 東京印刷株式會社
東京市日本橋區兜町二番地

317
21

第五回内國
勸業博覽會

審查報告

第六部 卷之四



第五回内國勸業博覽會審查報告

第六篇 特別報告

第六部

卷之四

明治
37 5 16
内交

第五回內國勸業博覽會第六部審查報告

目次

第六篇 特別報告

第一章 圖案改良意見

第二章 第六部出品ノ意匠圖案

第三章 參考館及官廳出品調查報告

附寫真挿畫

第五回内閣勸業博覽會第六部審査報告

第六篇 特別報告

第一章 圖案改良意見

審査官 井手馬太郎

惟フ曰第五回内閣勸業博覽會ハ未タ以テ海外先進國ノ雄大ナル規畫ニ及ハサルコト遠シト
於テ擴張シタルノミナラス其出陳點數ノ如キモ亦前回ヨリハ迥カニ豊阜ナリ而シテ吾人カ
今回ノ博覽會ニ對シテ多トスル一事ハ其開設ニ方リ當局大臣竝ニ審査總長カ外國出品ヲ獎
勵セラレタルト同時ニ或ハ訓令ニ或ハ諭告ニ於テ出品物ノ圖案改善ヲ勸誘セラレタルニ在
リ前回マテハ未タ出品項目中ニ所謂圖案ノ文字ヲ認ムルコトナカリシカ今回ニ至リテ新ニ
圖案ノ獨立項目ヲ設ケラレタルハ當局者カ如何ニ重キヲ圖案改善ニ置カレタルカヲ識ルヘ
ク又今回ノ博覽會カ如何ニ此點ノ鼓吹ニ意アリシカヲ認ムルニ難カラサルヘシ此コトタル
實ニ今回ノ博覽會ノ顯著ナル特質ニシテ一般ノ進歩ト共ニ此特質コソ永遠ニ没却スヘカラ
サル美譽タルヲ疑ハサルナリ

試ニ我國二三重要輸出品ト其圖案トノ關係ニ就テ一言センニ我國織物ニ於ケル技術ハ近年
大ニ進歩シタルハ蔽フヘカラサル事實ナリ而シテ又其産額ハ内地向タルト將タ輸出向タル

トヲ問ハス多キヲ加フルニ至レルハ今圖ノ出品ニ於テ第六部ノ點數ノ他ノ各部ニ比シ最モ多キニ徴シテ知ルニ足ラン然レトモ斯業ノ前途ハ如何ニ獎勵ヲ加フヘキカ蓋シ研究スヘキ問題ナラン餘ノ見ル所ニテハ内地向織物ハ需要限リアレハ無限ニ産出スヘキニアラス必スヤ主力ヲ輸出向織物ニ注カサルヘカラスト信スルナリ目下ノ輸出織物ハ概子羽二重甲斐絹手巾ノ類ニ過キス其額モ僅少ニシテ而モ主ニ歐米各國ノ需要ヲ充スニ過キス又其意匠圖案配色ノ如キモ歐米人ノ嗜好ニ投合センコトヲ努メツ、アル如キモ此等ハ目下我國織物業ノ狀態ニ於テハ到底外國ノ機業家ト競争スル能ハサルコトナレハ歐米輸出品ハ寧ロ羽二重甲斐絹等特殊ノモノニ止メ方向ヲ變更シテ清韓印度及南洋ニ向ヒ輸出ヲ企畫スルヲ得策ナリトスヘシ今回ノ出品ニ於テ輸出織物トシテハ洋服地羽二重甲斐絹其他二三ノ製織品ヲ見タルモ此等ハ概子歐米諸國人ノ嗜好ニ投センコトヲ目的トシタルモノニシテ清韓印度及南洋向ノモノヲ見ル能ハサリシハ頗ル遺憾トスル所ナリ元來貿易上及技術上後進國タル本邦製品ヲ以テ先進國ニ輸送シ其市場ニ於テ輸贏ヲ争フハ頗ル難事ニシテ且利益少ケレハ寧ロ清韓印度及南洋等ノ半開國ニ向ヒ輸出スルノ容易ニシテ且利益多キニ若カサルナリ例ヘハ我國開港ノ當時歐米各國人カ來リテ貿易ヲ開始シ非常ノ利益ヲ占メ今日尙ホ利益ヲ收メツ、アルハ我國物質的ノ進歩カ彼レニ及ハサルニ依レリ故ニ我國ニ於テモ此際清韓印度及南洋等ノ意匠圖案ヲ調査シテ該國人ノ嗜好ニ投合スヘク製織シ以テ輸出ヲ圖ラハ一大販路ヲ開キ且多大ノ利益ヲ收メ得ヘキハ蓋シ疑フヘクモアラス股鑑遠カラス近ク我國開港當時ノ如

キモノアラン然レトモ目下我國圖案家中ニハ歐米ノ意匠圖案ニ關シテハ知識ヲ有スルモノ多少之アリト雖モ清韓印度南洋等ニ於ケル意匠圖案ヲ調査セシモノハ極メテ寥々タリ故ニ今此等諸國ニ圖案家ヲ派遣シ二年若クハ三年間研究セシメ以テ此等諸國人ノ嗜好ニ投合スヘキ織物ヲ製出シ之カ輸出ヲ圖ルハ洵ニ刻下ノ急務ナリトス

陶磁器 ハ其輸出總額年々二百五十萬圓以上ヲ占メ近時稍々盛況ヲ呈スルカ如シト雖モ動モスレハ著シキ順挫ヲ見ルモノ、如シ之レ一ハ磁陶器其モノ、技術ノ巧拙若クニ素地ノ堅脆ニ因ルナルヘシト雖モ一ハ其應用圖案ノ毫モ進歩改善セサルニ基クヤ、セリ左レハ我當業者ハ今後力ヲ盡シテ此等ノ缺點ヲ補フヘキハ勿論ナレトモ元來製作技術若ハ素地ノ改善ノ如キハ其歩武ヲ進ムルコト比較的遅々タルモノナレハ此點ニ於ケル成功ハ實ニ幾多ノ歲月ヲ要スルモノナリトス圖案改善モ亦固ヨリ容易ノ業ニアラス然レトモ多クノ場合ニ於テハ前者ヨリモ比較的速カナラシムルヲ得ルハ餘ノ斷言スル所ナリ故ニ陶磁器業者ハ此際寧ロ前者ヲ後ニシ後者ノ研究ニ從事センコトヲ望ム現時陶磁器カ兎モ角モ年額二百五十萬圓以上ノ輸出ヲ見ルヲ得ルハ幸ニ未タ本邦品ノ海外ニ普及セサルニ由ル換言スレハ本邦ノ陶磁器カ未タ全般ノ海外諸國人ノ手ニ普及セシテ尙ホ幾分ノ餘地アルカ爲メナルト輸出時代ノ所謂第一期中ニ屬スルヲ以テ幸ニシテ新顧客ヲ迎ヘ得ルニ過キス是レ決シテ永久ノ顧客ニアラサルナリ歐洲方面ハ業ニ既ニ本邦品ニ厭キタリ獨リ南北亞米利加ノ新開地ト清韓及南洋ヲ殘セルノミ當業者ノ奮發興起スヘキハ即チ今ノ時ニアリ目下二百五十萬圓以上ノ

輸出アレハトテ今後何時迄モ斯クアルヘシトノ安心ヲ懷クハ謬見ノ甚シキモノナリ意匠圖案ノ新面目ヲ開キテ有ユル新舊需要ヲ充タサンコトヲ踴ムヘシ又輸出漆器ノ命脈ニ就キテ考フルモ亦陶磁器ト同シク意匠圖案ノ改善ヲ目下ノ急務トナスモノナリ漆器ハ古來本邦ノ特産トシテ西人ノ大ニ愛翫シタルモノナリ現時尙ホ百萬圓以上ノ巨額ヲ輸出シツ、アリト雖モ近來原料缺乏ノ爲メ支那漆ヲ輸入セシヨリ素地ノ粗製益々甚タシク遂ニ内外ニ於ケル弊價ヲ失墜スルニ至レリ内地産ノ原料ノミニテハ到底多數ノ輸出品ヲ低廉ニ製造シ難カルヘケレハ支那漆ノ輸入素ヨリ不可ナシト雖モ之ニ伴フ弊害タル粗製濫造ヲ警戒センコトハ吾人ノ深ク希望スル所ナリ然レトモ此事タル陶磁器ノ素地改良ト同シク恐ラクハ早急ニハ望ミ難キコトナラン故ニ吾人ハ目下ノ急ニ應シ輸出漆器ノ面目ヲ保ツノ策ハ其應用圖案ノ改善ニ存スルヲ疑ハサルナリ何トナレハ假リニ我輸出漆器ノ多數カ粗製濫造ナルニモセヨ其意匠圖案ニ於テ大ニ進歩改善セシナラハ決シテ今日ノ如ク華客ノ嫌厭ヲ惹起セサリシナラン此他染織工藝品ニ於テモ其他ノ手工的製品ニ於テモ製作技術ノ改善ヨリハ意匠圖案ノ改善ヲ先キニセシナラハ國家及個人ニ莫大ナル利益ヲ與ヘシヤ必然ナラン是レ即チ現時生産界一般ノ情態ナリトス當局者今回ノ博覽會ヲ機トシテ頻リニ此急務ノ遂行ニ努メラレタルハ洵ニ賀スヘキノ至リナリ然リト雖モ總シテ生産界ニ於ケル進歩活動ハ其步調極メテ遅々タルヲ如何セン當局者ハ斯クノ如ク銳意熱心ニ意匠圖案ノ忽諸ニ付スヘカラサルコト及改善ヲ加ヘサルヘカラサルコト

トヲ諭示シ今回博覽會ニ於テ此重要特質ヲ發揮セント期シタルニ拘ハラス遂ニ結果ナキ計畫トナリテ終レルハ是レ或ハ這般命令告知カ遅カリシ爲メ充分當業者ノ腦底ニ浸透スルニ遑ナカリシニ由ルナランモ吾人ハ一大恨事トナスナリ上述ノ如ク今回ノ博覽會ハ之ヲ前回以往ニ比シ總テノ點ニ於テ稍々完全ノ體ヲ具フルヲ見ルト同時ニ出品數モ案外多數ニ上リ殊ニ東京大阪愛知ノ二府一縣ニ於テハ獨力別館ヲ建設セルカ如キ出品者ノ意氣ハ興奮シ生産界ノ機運ハ展開スルニ至レルヲ見ル然レトモ焉ゾ知ラン此意氣及此展開ハ單ニ外形上ノミニ止マラントハ其精神ハ依然尙ホ眠リツ、アルモノナリ大多數ノ製品ハ殆ント曩日ノ圖案其儘ヲ應用シタルニ適キス即チ十年前ノ製品其儘ヲ燒キ直シタルニ外ナラサルカ故ニ今回ノ工業館内ヲ瞥見スルトキハ宛モ大規模ノ第三回若クハ第四回博覽會ヲ再現シタルヤノ感アルハ素ヨリ怪ムニ足ラス當局者ノ失望モ亦察スルニ餘リアリト云フヘシ今回ノ圖案出品數ハ總テ百二十餘點教育館ヲ除クニシテ内美術館内ニ出陳セルモノ五十三點第六部ニ出陳セルモノ七十三點ニシテ實ニ寥々クテ少數ナリキ圖案出品ノ景況既ニ然リ務ニ關係アルモノ、出陳ニ係リ當業者ノ出陳ハ極メテ少數ナリキ圖案出品ノ景況既ニ然リ況ンヤ其外製品ノ意匠圖案ニ於テオヤ吾人カ場内ヲ點檢シテ得タル結果ハ極メテ單調ノモノニテアリキ今其二三ヲ述ヘンニ銅器若クハ陶磁器類ニ於テハ東京大阪京都府富山縣ヲ除クノ外ハ毫モ外形模様ノ進歩變遷ヲ示シタルモノナク漆器類ニ於テハ東京神奈川靜岡ノ一府二縣ヲ除クノ外ハ意匠圖案ノ改善ニ力ヲ用ヒタル形跡ヲ認ムル能ハス染織物モ亦然リ木

工編物ニ於テモ亦然リ但製作技術ニ於テハ幾分ノ新工夫ヲ施セルヲ見ルモ獨リ意匠圖案ハ依然トシテ昔日ノ態ヲ脱スルナキハ事實ナリ管ニ進歩改善ノ形跡ヲ認メ得サルノミナラス或ルモノハ却テ漸次退却シツ、アルヤヲ疑ハサル能ハサルナリ銅器漆器ノ類ハ家什トシテ比較的長日月ヲ支フルモノナレハ前回ト今回トニ於テ格段ナル意匠ノ相違ナカルヘキハ勿論ナリト雖モ染織物特ニ衣服地ノ如キモノニ至テハ配色模様等時々刻々推移シツ、アルハ歐米先進國ノ證明スル所ナリ我ト彼レトハ國土民情素ヨリ相同シカラサルモ彼レカ新流行ヲ喜フ傾向ハ亦移シテ我ノ新流行ヲ好ム基トナルモノナリ我國民モ近來大ニ此傾向ノ顯著ナルヲ覺ユ此時ニ際シ此出品ヲ見ル恰モ六日ノ菖蒲十日ノ菊ヲ觀ルノ感ナクンハアラサルナリ

惟フニ我當業者必スシモ意匠圖案ノ改善ニ意ナキニ非サルモ歐米各國人ニ比シテ稍々冷淡ニ付シ去ルカ如キ傾向ナキ能ハサルナリ今其理由ヲ案スルニ大要左ノ三原因ニ基クモノト信ス曰ク(一)普通教育カ一般國民ニ美的嗜好ヲ開發スル淺キコト曰ク(二)當業者ノ多クハ教育的素養缺乏セルコト曰ク(三)當業者ニ進取的氣象ニ缺乏セルコト即チ是ナリ

(一)普通教育上ニ於ケル缺陷 普通教育ハ言フマテモナク國民トシテノ常識ヲ涵養スルヲ以テ主眼トナスモノナリ然ルニ普通教育ニ於ケル美的觀念ノ養成法ヲ顧レハ他ノ普通學科目ハ比較的過重ナルニ拘ハラス美的觀念ト直接ノ關係ヲ有スル繪畫音樂ノ如キハ殆ント無用ノ長物トシテ輕視セラル、ノ傾向ナキカ管ニ教授者ハ人ノ教導力冷淡ナルノミナラス教授

時間モ亦一週僅々一二時間ニ止マレリ故ニ此等學生カ其校門ヲ退クヤ美的嗜好ノ低度ナル素ヨリ其所ニシテ遂ニ悉ク皆新流行新嗜好ニ冷淡ナル購買者トナルナリ需用者已ニ然リ供給者タル工藝家ノ之カ改善ニ意ナキ怪ムニ足ラサルナリ是レ意匠圖案ノ改善ヲ阻礙スル原因ノ一ナリ

(二)實業家ニ教育的素養ノ缺乏セルコト 我國現時實業界ニ於テ頭角ヲ露ハスモノ多クハ明治維新前ノ階級的制度ノ下ニ成長シタルモノナレハ當時所謂寺小屋教育ヲサヘ受ケタルハ稀ナルノ實況ナリトス而シテ現地位ヲ得ルニ至レルハ丁稚徒弟ノ辛酸ヲ嘗メタル効果ナリトス左スレハ此種當業者ノ多クハ到底科學的思想ノ注入シ得ヘキニアラス故ニ彼等ノ執ル方針ハ徹頭徹尾尙古主義ナリ万篇一律只舊來ノ遺法ヲ墨守シ經驗ヲ反覆スルニ止マルノミ是レ意匠圖案ノ改善ヲ阻礙スル原因ノ二ナリ

(三)當業者ニ進取的氣象ニ缺乏セルコト 我邦ノ實業者ハ之ヲ海外諸國ノ實業者ニ比シテ進取活動ノ勇ニ乏シキハ明瞭ナリトス是レ素ヨリ幾多ノ原因ノ存スルナランモ就中其主因トモ稱スヘキハ資本ノ缺乏ニ歸セサルヲ得ス我實業界ハ未タ家内の工業ノ時代ナリ實業者ノ多數ハ悉ク小資本ヲ運轉シテ日々自活ノ道ヲ講スルニ齟齬シツ、アルナリ是故ニ過剩ノ時間ト餘裕ノ貨財トハ到底彼等ノ具備シ能ハサル所ナリ偶々新考案ヲ立テ又ハ改善ヲ企テント欲スルモ之カ實驗ニ要スル時間ト資本トヲ抛ツ能ハサルカ故ニ知ラス識ラスノ間ニ舊來ノ方法ノミヲ墨守スルノ一方ニ傾クヲ免レス新圖案ノ振ハサル亦宜ナラスヤ是レ意匠圖案

ノ改善ヲ阻礙スル原因ノ三ナリ

以上三大原因ハ俱ニ與ニ圖案改善ヲ妨クルモノナレハ此妨害物ノ除去セラレサル間ハ如何ナル方法手段ヲ講スルモ容易ニ吾人ノ目的ヲ達スル能ハサルナリ是故ニ吾人ハ當局者ニ對シテ此際一方ニ於テハ消極的ニ此等妨害物ヲ解除セラレンコトヲ希フト同時ニ一方ニ於テハ更ニ積極的ニ新方策ノ實行ニ力ヲ盡サンコトヲ切望ス巴里大博覽會開設以來具眼者ノ發企シテ幾多ノ圖案研究會ハ起リ又大日本圖案協會日本圖案會彩霞會京都圖案會等ハ其巨擘ニシテ尙ホ將來ト雖モ此種民間ノ事業ハ踵ヲ接シテ起ルナラン左レハ此際官業トシテ此目的の新施設アラハ何ゾ必スシモ圖案改善ノ遲キヲ嘆スルノ要アラシヤ吾人ハ圖案改善ノ透行ヲ希フノ餘リ聊カ平素ノ卑見ヲ陳シ以テ當局ノ參考ニ資セント欲セントス吾人カ目下幾多ノ希望ヲ有スル中ニ就キ特ニ早急ニ施設セラレタキモノハ(イ)圖案調製所ノ設置(ロ)圖案技師ノ新設(ハ)圖案家海外派遣ノ三件ナリトス今項ヲ分テ其要ヲ摘録スルコト左ノ如シ

(イ)圖案調製所ノ設置 工業上民間ノ試驗ニ應スル官設試驗所ハ既ニ數年以前ニ開カレタリ此試驗所ノ民業ヲ裨益スルコト蓋シ莫大ナルモノアラシ然ルニ圖案ニ關スル調査若クハ調成ニ關シテハ未タ何等ノ官設ヲ見サルハ甚ダ遺憾トスル所ナリ大阪府及京都府ニテハ先年圖案調製所ヲ其市ニ設置シ今ヤ其效果ヲ收メツ、アルニアラスヤ聞ク富山縣愛知縣其他ニ於テモ近日新設ノ議定マレリト此趨勢ヲ以テ察スレハ各縣相尋テ此美舉ニ出ツルモ蓋シ數年ヲ出テサルヘシ地方ニシテ既ニ然リ中央政府ニ於テ施設スル所ナクシテ可ナランヤ宜シ

ク速カニ案ヲ具シテ圖案調製所ヲ新設シ以テ地方トノ聯絡ヲ保ツヘキハ當然ノコトナリト信ス

(ロ)圖案技師ノ新設 工業ニ衛生ニ土木ニ將タ水産ニ有ユル生産業ニ對スル技術官ハ中央及地方ノ政廳ニ設ケラレタリ然ルニ獨リ圖案ニ關スル技術官ノ特設ヲ見サルハ大ニ其當ヲ得サルモノトス上述ノ如ク意匠圖案ノ忽ニスヘカラサルハ毫モ製作技術ト軒輊ナキニ拘ハラス製作技術ニノミ技術官ヲ置キテ斯業ノ獎勵指導ニ勉メシムルハ偏倚ノ施設タルヲ免カレス今ヤ當局者ノ意向ハ重キヲ圖案ノ改善ニ置カレタリ須ラク中央政廳ハ勿論各地方廳ニ於テモ速カニ此種ノ技術官ヲ置キ以テ當業者ノ指導ニ任セシムルハ刻下ノ急務ナリトス

(ハ)圖案家ノ海外派遣 從來政治文學經濟生産業ノ各方面ニ於テ海外視察又ハ學術研究ノ途ニ上リタルモノ殆ント數フヘカラサルニモ拘ハラス最モ生産業ニ關係ヲ有スル圖案嗜好ノ視察トシテ斯導專門ノ技術家ヲ海外諸國ニ派遣シタルハ僅カニ一二回ニ止マレリ斯ノ如クシテ焉リ能ク我カ輸出額ノ膨脹ヲ望ムヘケンヤ左レハ今後ハ他ノ派遣者ト共ニ盛ニ此種技術者ノ派遣セラレンコトヲ切望ス特ニ各國ニ駐在スル我領事館内ニ書記トシテ圖案專門家ヲ兼任セシムル如キハ四季折々ノ流行ヲ内地ニ通スルノ便アルカ故ニ極メテ妙策ナリト信ス

上記三件ハ共ニ積極的方策トシテ速カニ施行セラレンコトヲ切望シテ措カサルナリ惟フニ政府ニ於テハ管ニ經濟上ニ於テノミナラス他ノ政策ニ對シテモ種々考慮スヘキノ要アルハ

素ヨリ當然ノコトナレハ或ハ三者ヲ擧テ同時ニ實施スル能ハサルノ事情アルヘシト雖モ中ニ就テ(イ)ノ新設事業ノ如キハ既ニ他ノ方面ニ於テ着々實行シツ、アル政策ニシテ唯其内容ヲ擴メテ圖案ノ開發指導ニ任セシムヘキ技術官ヲ加フルニ過キサレハ必シモ至難ノ事業ニハアラサルヘシト信ス政府ニシテ此意アリ民間其ノ旨ヲ體シ官民協力シテ之カ改善ニ任セハ工業界ノ前途祝スヘキノミ第五回内國勸業博覽會ニ於ケル意匠圖案ノ結果カ當局者ノ意ニ副ハサルヲ見取テ平素ノ卑見ヲ開陳シ以テ當局者ノ參考ニ資スルコト此クノ如シト云爾

第二章 第六部出品ノ意匠圖案

審査官 井手馬太郎

東京府 東京府出品ノ更紗ハ配色餘リニ古代色ニ過キタルノ嫌アリト雖モ意匠ノ稍々見ルニ足ルモノアルハ嘉スヘシ其配色ノ種類ヲ統計上ヨリ云フトキハ茶、黃、黑色最モ多シテ悉ク黒濁ニ失セルカ如キ傾キアリ

リボン業者ハ我國ニ於テ未タ多カラサルニ拘ハラス岩橋謹次郎出品ハ大ニ見ルニ足ルモノアリ但シ多數ノ配色ヲ織出シ以テ支那向ニ適セシムルノ乏シカリシハ惜ムヘシ

中形ハ着想意匠共ニ全國ニ秀テ優物洵ニ多シ尙ホ將來業者ノ益々奮勵アランコトヲ望ム

絢縞ハ意匠ノ改善ニ留意セルコト其出品ニ就テ徵セラル特ニ双子縞ノ如キハ光澤ト云ヒ

配色ト云ヒ中流社會ノ衣服ニ最モ適當ナル者ト信ス現今ノ如キ絹織物ノ流行スル時代ニ在テハ大ニ斯業ノ隆盛ヲ妨ケラルヘシト雖當業者若シ怠リナク其研究ヲ續ケ意匠及配色ニ一段ノ注意ヲ加フルトキハ斯織物ノ全國ニ需要セラル、ハ斷シテ疑ヲ容レサル所ナリ

八王子出品中村宗三郎ノ井桁縞ノ如キハ意匠配色兩ナカラ間然スル所ナシ縞物トシテハ全國中ノ秀逸ナルモノタリ又同地絲織ハ賞賛スルニ餘アリ配色ノ主ナルモノハ紺、納戸、紫、黑色最モ多ク鼠色之ニ亞ケリ

モスリン友仙ハ意匠稍々嶄新ナルモ配色ハ比較的俗ニ流レ中ニハ衣服用トシテ殆ント用途ニ苦シムモノアルヲ認メタリ當業者ノ大ニ注意アランコトヲ欲ス

裾模様其他一般ノ友仙染ニ至リテハ多少改良シタル點アルモ京都物ニ比シテハ未タ及ハサルコト適カニ遠シ

羽二重無双羽織裏ハ著想洵ニ拙ニシテ特ニ景色畫ヲ應用シタル如キハ時ノ流行モアルヘケレトモ概シテ感服スル能ハサル所ナリ然レトモ野口彦兵衛出品ノ窓掛中ニハ稍々新意匠ノモノヲ見タリ

絹手巾ハ意匠見ルヘキモノ多シト雖モ配色尙ホ未タ拙ナリ中ニハ殆ント實用ニ適セサルモノヲ見受ケタリ

鹽瀬友禪中紅葉模様ハ濃淡宜シキニ適ヒ圖案モ亦衆目ヲ惹ケリ然レトモ紅葉ハ古來圖案資料トシテハ盛ニ製用セラル、モノナレハ出品ニ此資料ヲ應用シタルハ聊カ陳腐ノ嫌ア

ルヲ免カレス

京都府 京都織物ノ特色ハ所謂美術的織物タルニ在リ故ニ此等ニ應用セラル、圖案モ亦容易ニ進歩變遷セサルヤノ嫌アルヲ免レス然レトモ此特色ハ將來京都織物ノ執ルヘキ方針ニハアラサルヘシ舊來ノ美術的織物ニ代フルニ低廉ノモノヲ以テセハ當ニ社會ノ購買力ヲ増進セシメ得ルノミナラス當業者モ亦其材料低廉ナルカ故ニ斷然新圖案ヲ施スノ技術ヲ充分ニ振フコトヲ得ヘシ

特ニ輸出向ノ織物ノ比較的少數ナルハ甚タ遺憾トスルノ所ナリ京都カ彼ノ内地向織物ニ對スル妙技ヲ以テ輸出向織物ノ製出ニ從事セハ誰カ前途ノ有望ヲ疑フモノアランヤ當業者ハ今後此新方針ニ就テ充分研究スルト同時ニ當地ノ圖案家モ亦此際充分清韓其他南洋地方ノ半開國ニ於ケル國民ノ嗜好ヲ調査シテ豫メ備フトコロアランコトヲ望ム今意匠圖案ノ方面ヨリ見タル今回ノ出品概評ヲ掲ケレハ左ノ如シ

刺繡ハ其配色等ハ主ニ實物模寫ニ止マリ裝飾上ノ用途ヨリ云フトキハ如何ナル配色カ適當ナルヤ否ヤノ研究未タ淺キカ如シ此等ハ當業者ニ於テ充分注意スヘキ點ナリト信ス然レトモ其技術ノ精巧ナル點ニ於テハ全國第一等ニシテ世界ニ於テモ稍々誇示スルニ足ルカ如シ唯斯技術ニシテ新圖案ノ應用ニ缺乏セルノ一事ハ深ク惜シム所ナリ

帶地ノ多クハ所謂西陣織ニシテ縞珍及厚板多キヲ占ム技術ノ精巧ナルハ織物先進地トシテ名聲ニ背カサルモノト云フヘシ配色モ亦見ルニ足ルモノ多シ然レトモ其價ノ衣服地ニ

對シテ卓絶シタルト圖案ノ陳腐ナルトハ甚タ取ラサル所ニシテ十中八九ハ鶴龜ニアラサレハ松竹梅ノ範圍ヲ出テサルモノ、如シ當業者尙ホ充分研究ノ餘地アリト認ム

縮緬友禪染モ亦京都ノ特技ニ係ルモノニシテ技術配色着想等自ラ凡ナラサル所アリ特ニ無線友禪ノ如キハ近來ノ發明ニシテ友禪染業ノ進歩ヲ助ケタルコト疑ナシ唯此特技ノ手工的製ニ係ルコトヲ惜ム當業者ハ今後此點ノ新工夫ニ身ヲ委子手工的製作ヲ廢シテ工業的機械的製作トナスヲ得ハ當ニ斯業ノ振作ヲ促カシ得ルノミナラス大ニ自他ヲ利スルノ益アルモノト信ス

大阪府 大阪府ニ於ケル染織物ノ主位ヲ占ムルモノハモスリン友禪染ナリ同地ノモスリン友禪染ハ最モ衆目ヲ惹キ確カニ場内ニ冠タルモノナリ然レトモ其圖案配色等ニ於テハ尙ホ充分改善スヘキ餘地アルヲ認ム現今ノ配色及圖案ハ恐ラク關西現時ノ嗜好ヲ迎フル爲メナランモ此製作ヲ擴張シテ内地全般若クハ海外ニモ輸出スルモノトナサンニハ現狀ニテハ適當ナリト考フヘカラス否此點ヨリ云フトキハ寧ロ陳腐タルヲ免レス當業者ハ注意シテ研究セラレンコトヲ要ス

緞通ハ先年夥シク輸出アリシト雖モ其製作物ニ一種ノ臭氣アルト配色圖案ノ毫モ變遷セサルトニ由リ次第ニ其聲價ヲ失墜セルモノ、如シ偶々配色圖案等ニ於テ見ルヘキモノアレハ獨逸製若クハ英國製ノ模造品タルヲ免レス是レ畢竟當業者カ勞力ヲ費シテ圖案配色ヲ研究スルヲ爲サス徒ラニ他ノ意匠ヲ剽竊シテ足レルト爲スノ結果ニ歸セサルヲ得ス當

業者ノ爲メニ深ク之ヲ惜ム

今回ノ出品中岡本藤兵衛ノドラゴン圖ノ如キ神原又次郎ノ鶴ノ如キ鈴木虎藏ノ段模様ノ如キハ圖案ノ最モ拙ナルモノニシテ敷物圖案ニ不適當タルヲ免レス是等ハ尙ホ深ク研究ニ留意セラレンコトヲ要ス

レース編物肩掛類ハ美ハ即チ美ナリト雖モ餘リ美觀ニ過クルノ故カ却テ一見野鄙ナルヤノ感アリ今少シク配色ニ注意センニハ恐ラク内外人ノ嗜好ニ投スルヲ得ン

神奈川縣 同縣ノ出品ハ多ク貿易ニ關係アルモノニシテ高配織絲織物等ハ其主ナルモノナリ

高配織ハ其配色輸出ニ適スルモノ多キハ最モ賞スヘキ所ナリ然レトモ柄ニ至リテハ概子同一帳ニシテ尙ホ充分變化改善ノ餘地アルヲ認ム出品物ノ如キ縞柄ハ既ニ歐米ニ於テ陳腐ニ屬シタルモノニアラサルカヲ惜ム

絲織物ニ就キテハ縞柄及配色等ハ毫モ新ナルモノナク多クハ今日廢シタル様式タルヲ免レス

兵庫縣 同縣ノ出品物中主ナルモノハ緞通ニシテ友禪染モ亦多少之ヲ見タリ

緞通ハ其意匠配色ニ於テ見ルヘキモノ多シ特ニ大和織ノ如キハ大體ニ於テ界緞通ニ優ルコト數等ニシテ就中意匠配色等ハ自ラ獨得ノ長所アルモノ、如シ

友禪染ハ其技術未ダ嘉賞スルニ足ラスト雖モ尙ホ普通ノ出來タルヲ失ハス但其圖案陳腐

ナルカ故ニ出來榮ヘ一層劣等ナルノ觀アリ當業者ノ奮勵ヲ要スルハ即チ此邊ニ存ス

新潟縣 新潟縣ノ染織工業ノ近來著シキ進歩ヲ見タルモノ、一ナリ隨テ其技術ニ於テハ稍々見ルニ足ルモノ多シ特ニ夏物風通ハ同地ノ特産ニ係ルモノニシテ十日町ノ産之レカ冠タリ恐ラク全國ニ於テ其比稀レナルヘシ然レトモ意匠配色等ハ尙ホ未ダ普通又ハ其以下タルヲ免レサルハ惜ムヘシ配色中紫色ノ種屬其主位ヲ占メ菊花色小豆色最モ多ク藍鉄小納戸之ニ亞ケリ此ノ如キ傾向ハ蓋シ世間一般ノ需要上ヨリ來リタル結果ナランモ今後世間ノ需要此配色ヲ歡迎ストハ斷言スヘカラス左レハ當業者ハ一方ニ於テ拙劣ナル圖案ノ改善ヲ努ムルト同時ニ次キニ來ルヘキ流行色ヲ案出センコトニ盡力セラレンコトヲ望ム袴地ノ主ナルモノハ山邊里平五泉平等ニシテ二者各々特技ヲ振フ配色及ヒ縞柄等無難ナリト云フヘキモ大體ヨリ見ルトキハ尙ホ普通凡庸タルヲ免レサルナリ縞絲ノ配合ハ無數ニシテ其變化モ亦無限ナレハ當業者ハ宜シク熱心ニ研究シテ技術ト共ニ考案ヲ練ラレタキモノナリ

此他龜田木綿縞柄尾袖小チ谷縮見付新節織十日町好綾三條中形等其産額決シテ侮ルヘカラサルモ總シテ未ダ圖案改善ニ意ナキモノ、如シ就中中形ノ如キハ意匠圖案陳腐ニシテ東京中形ニ比シテハ數段ノ劣位ニ在ルコトヲ忘ルヘカラス

埼玉縣 同縣ハ由來染織工業ニ因縁アルカ故ニ今回モ亦其出品ニ富メリ絹綿交織紵太織友禪染中形秩父縞等ハ其主ナルモノナリ

普通絹織物中ニ於テ最モ衆目ヲ惹クモノハ小供著尺用ニシテ概シテ縞柄モ好ク配色モ亦稍々良好ナリ

絹綿交織ハ之ヲ前者ニ比シテハ一段ノ拙劣ナルヲ見ル特ニ絹絲ノ使用法當ヲ得サルカ爲メ往々充分光澤アラシムヘキ色絲ニ木綿ヲ用ヒ否ラサル色絲ニ絹絲ヲ用フルカ如キ矛盾ヲ見ルコトアリ今後當業者此錯誤ヲ除去センコトヲ勉ムルト同時ニ名古屋ノ絹綿交織等參照セハ得ル所多カルヘシ

紺ハ概シテ意匠尋常ニシテ無難ノ出來ナリ

太織友禪ノ進歩ハ甚々遲緩ナリ意匠配色兩ナカラ取ルニ足ラス且圖案資料ノ如キモ毫モ昔日ト異ナラス此出品ハ確カニ當業者カ圖案研究ニ意ナカリシヲ表明スルモノナレハ今後ハ充分注意アラシムコトヲ要ス

中形ハ所謂紺地白最モ多ク黒地白之ニ亞ク色合ニ於テモ技術ニ於テモ毫モ賞賛スル所ナク且ツ圖案ノ如キモ特筆スルノ價值ナシ元來此種ノ著尺物ハ價ノ廉ナルカ爲メニ顧客ヲ引クモノナレトモ若シ新流行ヲ趁ヒ意匠圖案ニ注意セハ尙ホ一層ノ需要ヲ増スヤ必セリ秩父縞ハ大體ニ於テ毫モ昔日ト異ルナキハ何事ソヤ配色悉ク撲素ニ尖シテ一見恰モ木綿縞ノ如ク且ツ縞柄ニ於テモ更ニ新案ヲ加ヘサルモノ、如シ此特色ハ所謂秩父縞ノ獨得ナル性質ナランモ今少シク變化アリタキモノナリ

群馬縣 群馬縣ハ織物地トシテ京都ニ亞ク獨リ其種類ニ富メルノミナラス製作ノ技術モ亦

容易ニ侮ルヘカラサルモノアリ而シテ本縣主要ノ織物地ハ桐生伊勢崎等トナス

桐生織物ノ多クハ絹織物ニシテ紋織物ニ富メリ其内婦人モノ十中ノ七八ヲ占メ意匠圖案等多少改善ノ形跡ヲ認ムト雖モ京都ニ比スレハ尙ホ數等ノ下ニ屬ス特ニ圖案上ニ於テハ一年後レノ京都織物ヲ見ルカ如キハ洵ニ奇觀トス同地織物ノ配色統計ヲ舉クルトキハ場内一飾棚ニ就キ紫ヲ帶ヒタル地色二十七點ニ對シテ鉄及黒色十一點鼠入點ノ比例ニ中レリ此等ハ時ノ流行上ヨリ來レル結果ナランモ用途ニ適切ナル色決シテ尠ナカラサレハ充分研究シテ他ノ染色ノ開元ヲ企テラレンハ蓋シ目下ノ急務ナラント信ス

太織友禪染ハ圖案ニ於テモ配色ニ於テモ京都ニ比シテ適カニ劣レルハ惜ムヘシ尙ホ當業者ノ奮勵一番アラシムコトヲ望ム

伊勢崎織物中絹縞縞等ハ配色未タ良好ナリト云フヘカラス概シテ黒ニ過クルノ感アリ紺ハ黒又ハ紺ニ鼠ノ配色最モ多シ五間以下ノ物品比較的多カリシヲ以テ同地ノ出品ノ大多數ハ賣約濟トナリタルモ是レ一ニ價ノ低廉ナルカ爲ニシテ決シテ配色圖案ノ善良ナルカ爲メトハ謂フヘカラス

同縣ハ密カニ第二ノ京都西陣タランコトヲ期シツ、アルモノ、如シ是レ寧ロ同地ノ爲メニ惜ム所ナリ同地ノ特技ハ實ニ普通織物ノ製作ニ巧ミナルニアリテ所謂上等物ニ至リテハ其不得意ノモノニ屬ス左レハ同地ノ出品中ニ於テ所謂上等物カ彼ノ普通織物ニ比シテ賣約極メテ鮮カリシハ有力ナル證據トシテ見ルニ足ルヘク當業者深ク警戒ヲ加フヘキモ

ノ下見テ可ナリ

朽木縣 足利織物ハ配色及其柄合等全國有數ノ一ニ加ヘラルト雖モ是レ一ハ其價格ノ低廉ナルニ由ルモノニシテ決シテ悉ク圖案配色絶佳ナリトハ言フヘカラス當業者ハ尙ホ研究スルノ餘地アルヲ記憶セラルヘシ

輸出絹織物ハ圖案配色等比較的嶄新ナルモノ多キモ一見西洋圖案其儘ヲ模寫シタルカ如キ嫌アリ若シ此織物ニシテ眞ニ西洋化シタル日本圖案ヲ應用シタルモノナラハ輸出先ニ於テ愛顧セラル、コト決シテ疑ナキ所ナリ當業者ノ一考ヲ要スヘキコトナリトス縮及高配甲斐絹モ亦同シ

奈良縣 有名ナル麻布ハ其主ナル出品ナリ而モ織物トシテノミナラス種々ニ之ヲ應用シテ出品セルハ感服スヘキコトナリ然レトモ其柄及色等ノ殆ント無責任ノ圖案ナルハ人ヲシテ呆然タラシム當業者ノ熱心ナル研究ヲ望ム

三重縣 同縣出品ノ主ナルモノハ型紙ト蒲團縞トニシテ之ヲ概評スレハ次ノ如シ
型紙ノ製産ハ全國中最モ盛況ヲ呈シ技術ニ於テ實ニ精巧ナルハ素ヨリ多トスル處ナリ然レトモ型紙ニ應用スル處ノ圖案ハ多ク舊來ノ廢物ニシテ且ツ同一様ノモノ、ミナルハ甚タ執ラサル處ナリ是レ畢竟當業者カ未タ重キヲ圖案ノ改善ニ置カスシテ徒ラニ他ノ圖案ヲ模倣スルノ致ス所タラスンハアラス今後ハ斯ノ如キ陋習ヲ棄テ自ラ考案スルカ若クハ圖案専門家ニ依頼シテ新圖案ノ供給ヲ仰クヘシ本縣ヨリ出ツル型紙ニシテ果シテ新圖

案多ケレハ全國ノ中形浴衣地ハ爲メニ一變スルコトヲ得テ皆一齊ニ流行ニ後レサルコトヲ得ン當業者ハ宜シク自己カスル重要ナル地位ニアルヲ願ミテ一層ノ奮勵アランコトヲ要ス

蒲團地ハ綠色最モ多シ此等ハ或ル地方ニ於テハ甚タ其嗜好ニ投スルナランモ所謂廣ク商フテフ性質ヨリ云フトキハ尙ホ更ニ他ノ地色ノモノヲモ混製スルコト緊要ナリト信ス帶黃色ノ類ハ染色容易ニシテ多クノ場合ニ於テ需用多キ色ナレハ試ミニニ上等地色ノ一ニ加フルモ可ナランカ

愛知縣 愛知縣ノ染織工業モ亦前途有望ノ事業ナリ就中絞ハ新事業ニシテ出品頗ル多シ此種ノ工業ハ新事業ナル丈ヶ嶄新ナル圖案多シ配色ハ紺地ニ白抜キ最モ多シト雖モ配色ハ必ス此一式ニ限リタルモノニアラサルヘシ

本建中更紗ノ圖案ハ意匠嶄新ナルモノ少ナキモ配色ノ調和稍々可ナリノ出來ナリ友禪染ハ技術配色等普通ニシテ愛知縣全般ノ工業ヨリ云フトキハ未タ拙劣タルヲ免レサレハ一段ノ研究ヲ要スルコト勿論ナリ

紋羽二重出品中最モ衆目ヲ惹クモノハ伊藤織物合資會社ノ出品ニシテ意匠嶄新ナルモノニ富メリ然レトモ日本産トシテ見ルトキハ其圖案餘リ西洋趣味ヲ加味シ過キテ却テ不快ノ感アラシメタリ朽木縣ノ絹織織ニ對スル希望ノ如ク此圖案ニシテ所謂西洋化シタル日本的圖案ナランニハ尙ホ一段ノ見榮アリテ内外ノ需要多カルヘシト信ス

絹綿交織ハ優ニ全國ヲ壓倒スルニ足ル管ニ其産額ニ於テノミナラス配色及縞柄等當ヲ得タルモノ洵ニ多シ元來此種ノ織物ハ充分見榮アリテ而モ其價ノ低廉ナルカ故ニ中流以下ノ需要益々増加スルカ如キ傾向アリ同縣カ此點ニ着目シタルハ洵ニ多トスル所ニシテ更ニ配色縞柄等ニ深ク留意シテ流行ニ後ル、コトナクンハ尙ホ數段ノ隆盛ヲ見ンコトヲ期シテ待ツヘキナリ

靜岡縣 同縣出品中芭蕉布ハ廢物利用トシテ夙ニ其名ヲ知ラレタリ捺染窓掛トシテ多少ノ望ミアルニ拘ハラズ圖案配色ニ於テハ甚タ幼稚ニシテ見ルニ足ルモノニ乏シキハ惜ムヘシ宜シク此際歐米ノ室内裝飾一般ヲ研究シ所謂捺染窓掛ノ如何ナル配色圖案ナルカヲ研究セハ得ル所蓋シ多カルヘシ

絹綿交織ノ有望ナルコト愛知縣ノ如シ此出品モ亦意匠配色見ルヘキモノアリト雖モ愛知縣ノ進歩ニ比シテ尙ホ數歩ノ後ニ在リト云フヘキナリ

紵及木綿縞ノ圖案ハ普通ノ出來ニシテ十字紵井桁紵最モ多ク嶄新ナルモノハ毫モ見ルコトナシ配色モ亦殆ント紺地ニ白抜ノ一式ニ限レリ

唯木綿縞カ幾分カ改善ノ痕跡アルハ殊勝ナル所ニシテ配色ノ可ナルハ喜フヘキニ似タリ友禪染ハ全國最劣等ニ位スト云フモ恐ラク妄評ニハアラサルヘシ是レ最近ノ新事業ナルカ爲メナンンモ當業者ノ不注意モ亦與リテ力アリト謂フヘシ圖案配色等モ亦論スルニ足ラサルモノ、如シ

山梨縣 同縣ノ染織工業ヲ代表スルモノハ即チ甲斐絹ナリ今回ノ出品中ニハ多少普通織物アリタルモ素ヨリ見ルニ足ルモノナシ

甲斐絹出品中羽織裏ニ屬スルモノニハ稍ヤ見ルニ足ルヘキモノアルモ意匠陳腐ニシテ毫モ進歩ノ徵候ナキハ遺憾ナリ甲斐絹ハ其製造必スシモ困難ナルモノニアラス今ニシテ意匠ノ改善ニ注意セスンハ遂ニハ臍ヲ嚙ムノ悔アラシ

滋賀縣 同縣出品ノ主ナルモノハ紵縮刺繡等ニシテ此他ニ尙縮緬類ノ半製品モ見受ケタリ紵類ニハ花色大紵最モ多クシテ缺點モ亦少カラス就中配色ノ如キハ尙ホ研究ノ餘地ヲ存ス高島縮ヲ概評スレハ地色ニ於テ黒及青ノ暈カシ最モ多ク且ツ一見卑俗ノ感アリ刺繡輸出向トシテ價ヲ廉ナラシムルヲ主トシ他ヲ顧ミサル爲メカ配色技術等普通ニシテ意匠亦賞スルニ足ラス之ヲ京都ニ比シテハ適カニ劣等ナリト云フヘシ此際特ニ意匠ノ消化シ工合ト其着想ノ嶄新ナルトヲ撰擇センコトヲ要ス

麻織座蒲團ニハ稍々圖案ノ消化ニ意ヲ用ヒタルモノアレトモ其資料ノ松竹梅鶴龜等ノ範圍ヲ脱セサルハ洵ニ惜ムヘキコトナラスヤ

岐阜縣 絹綿交織ハ小供着トシテ稍見ルニ足ルモノ多シ尙ホ當業者ノ研究ヲ積ミ配色縞柄ノ改善歩ヲ促カシ折々ノ流行ニ後レサルヲ得ハ蓋シ全國第一流ノ地位ヲ得ンコト必セリ今出品物ノ配色統計ヲ舉クレハ小供向ニハ赤黃白紺藍青等最モ多ク柄ニ於テハ縞物紵物互ニ相半セリ然レトモ大人向ハ之ト反對シテ配色拙ニシテ小供着ノ秀逸ナルニ比シテ適

カニ下レリ

肩掛及友禪染ハ一ニ意匠ノ見ルヘキモノナキニアラサルモ概シテ拙劣ノ批評ヲ免レス特ニ裾模様ニ至リテハ技術圖案及配色等殆ント見ルニ足ルモノナシ思フニ縮緬ハ岐阜縮緬トシテ其名既ニ世間ニ知ラレタハ若シ此地ニシテ徒弟ヲ京都ニ派遣シ彼ノ技術ヲ茲ニ移スヲ得ハ前途決シテ望ナキニ非ルヘシ

宮城縣 同縣ノ特産ニ係ル所謂仙臺平ハ流石ハ本場丈アリテ技術精巧ノ度一層加ハリタルカ如シ然レトモ毫モ縞柄配色ノ改善變化ナキハ缺點トナス所ナリ

秋田縣 同縣ノ物産八丈織ハ近來他地方ノ機業ノ盛ナルニ鑑ミ稍々配色及縞柄等ニ改良ヲ加ヘタル點多シト雖モ之ヲ米澤又ハ八王子等ニ比スレハ縞柄ニ於テモ未タ一步ヲ讓ラサルコトヲ得ス

福井縣 同縣出品ノ主ナルモノハ木綿縞及羽二重織ニシテ木綿織ノ縞柄ハ大ニ進歩シテ形勢稍々愛知縣ノ絹綿交織ニ亞ク

羽二重及手巾ハ其製造技術素ヨリ巧ミナリ然レトモ其圖案ハ京都市ノ流行後レニ歸シタルモノヲ應用セルヤノ傾キアリテ甚タ感服シ難キ點多シ輸出向トシテハ今一段ノ新案ヲ擬ラシタキモノナリ

石川縣 同縣出品中ニ於テ見ルヘキモノハ獨リ友禪染ノ一品アルノミ京都出品ニ比シテハ勿論劣レル所ナキニアラスト雖モ自ラ其縣ノ特色現ハレテ面白シ左レト圖案ニ於テハ尙

ホ陳腐タルヲ免レス此他刺繡手巾ノ類アレトモ兵庫縣ト同シク特筆スルノ價値ナシ
富山縣 同縣ハ割合ニ其出品ニ富メリ普通絹物刺繡友禪染木綿織ノ各部類ヲ含メルハ殊勝ナリ

普通絹織物ニ關シテハ柄及配色凡庸ニシテ特ニ批評ヲ試ムルノ要ナシ
刺繡ハ稍々見ルヘキモノアレトモ打掛ノ意匠ノ如キハ餘リ大柄モノニテ大體ノ意匠却テ纏マラサルモノニ似タリ今少シク小柄トナシテ纏メ工合ニ留意セラレタキモノナリ
友禪染ニ於テハ圖案秀逸ナルモノナキニアラスト雖モ唯一二點ニシテ大體ヨリ云フトキハ新機軸ヲ出サントシテ却テ見苦シキ缺點ヲ遺シツ、アルモノ、如シ速カニ此點ニ於テ大成セラレンコトヲ望ム

木綿縞ハ柄及配色共ニ平凡ニシテ別ニ評スルノ要ナシ

島根縣 同縣ノ出品及其概評モ亦廣島縣ト同様ニシテ大同小異タルヲ免レスシヤツ縮ハ配色濃キニ尖シタルハ固苦シキ感アリ將來ハ今少シク柔キ調色ニ由ランコトヲ勉ムヘシ

岡山縣 同地出品中ノ注意ヲ與ヘシハ小倉織ナリ其技術或ハ本場小倉ニ勝レルカ如シ且ツ配色及其圖案ニ注意シタルハ出品者ノ熱心見ルニ足ルヘク人ヲシテ一見直チニ其進歩ヲ想ハシム此技術ニシテ尙ホ他ノ織物ニ從事セハ強チ望ナキニアラサルヘシ此際當業者ノ深キ考察ヲ望ム

廣島縣 同縣ノ出品ハ綿紵及綿縞其主ナルモノニシテ紵ハ普通ノ出來ナレハ別ニ評スル價

值ナシ縞物モ亦普通ナレトモ唯小供著ノモノニ至テハ圖案上稍々見ルヘキモノアリ
山口縣 同地ノ出品ハ稍々見ルヘキモノ多シ主ナルモノハシヤツ縮縮縞木綿縞等ニシテ特
ニ縮類ハ最モ盛況ナルモノ、如シ
シヤツ縮ハ獨得ニシテ出品多シ然レトモ配色及柄等餘リ剛キニ失スルノ傾キアルカ如シ
故ニ人ヲシテ一見野鄙ノ感アラシム今少シク柄ニ於テモ又配色ニ於テモ穩和ナルモノヲ
併用スルヲ可トス

縮縞ハ洵ニ無難ノ出來多シ特ニ其價ノ低廉ナルカ爲メ需要ニ富ムハ多トスルニ足ル尙ホ
此際縞ノ新種類ヲ及フ丈ケ改善セハ或ル程度マテハ次第ニ販路ヲ擴張スルヲ得ヘシ
木綿織ハ大體普通ノ出來ナリ然レトモ著尺トシテハ尙ホ其縞柄ニ充分研究ノ餘地アルヲ
忘ルヘカラス

和歌山縣 同縣出品ノ主ナルモノハ綿フランチルニシテ此特産物ノ生産及其圖案ノ進歩ハ
遠ク他縣ノ及ハサル處ナリ然レトモ尙ホ進ンテ配色ノ變化縞柄ノ工夫等ニハ充分ノ新機
軸ヲ出サンコトヲ要ス

徳島縣 本縣出品ノ主ナルモノハ縞綿フランチルニシテ友禪染モ亦多少ノ出陳ヲ見タリ
木綿縞ハ其資格久留米縞ト同一ニシテ意匠圖案等批評ヲ試ムルノ價格ナシ同地モ亦此勞
力ヲ他ノ有望ナル織物ニ費サハ尙ホ幾分ノ生産高ヲ得ルナラン
綿フランチルハ其生産額未タ多カラスト雖モ有望ナル事業ナリ配色ノ餘リニ單純ニ失シ

テ所謂原色配彩タルハ一見甚タ野鄙ニ感セラレタリ色ノ調和ト色ノ用途トノ關係等ニ就
キテハ尙ホ當業者ノ研究ヲ要ス

香川縣 同縣モ亦近來染織工業ノ扶植ニ力ヲ注キツ、アリト雖モ未タ出品物ニ著シキ効果
ノ現ハレサルハ遺憾ナリ出品ノ主ナルヲ木綿縞及友禪染トナス

木綿縞ハ多少ノ出品アレトモ普通ノ圖案普通ノ技術ト云フマテニシテ特筆スルノ價值ナ
シ

友禪染ハ其出品殊勝ナリ然レトモ大體ノ模様餘リ緻密ニ過キタルモノ多ク且其資料悉ク
陳腐ナレハ現今ノ流行ニハ遙カニ後レタリ今少シク當業者ニ流行ニ應スル技術アラシ
トヲ欲ス

愛媛縣 同縣ノ織物ハ徳島縣稍其趣ヲ同フス多少ノ更紗染アレトモ是レモ亦圖案配色等所
謂間ニ合セ主義ニシテ陳腐杜撰毫モ取ルニ足ラス非常ナル奮發ヲナスニ非スンハ到底其
運命ヲ保ツ能ハサルヘシ

福岡縣 當地ニ於テ古來有名ナル織物ハ即チ博多久留米ノ二種ニシテ一ハ帶地ヲ以テ名ヲ
知ラレ一ハ著尺ヲ以テ其聲高シ今回ノ出品ハ稍々整頓セルモノ、一ナリ
其有名ナル丈技術ノ點ニ於テ儘カニ本場タルニ負カス然レモ染色ノ堅不堅ハ暫ク別問題
トシテ單ニ地色及其意匠上ヨリ云フホハ毫モ改善進歩ノ形跡ナシ左レハ此點ニ於テ、博
口八王子桐生等ノ博多織ニ劣レリ今ニシテ充分意匠配色ノ刷新ナルモノヲ應用スルナク

ンハ博多織ノ運命亦知ルヘキノミ
久留米紵ハ縞柄及紺地等普通ニシテ別ニ賞スル所ナシト雖モ亦著シク拙劣ナルモノナシ
絞ハ地ノ工合總シテ宜シキ方ナリ然レトモ圖案意匠ハ比較上愛知縣出品ノ有松絞リニ劣
ルコト數等ナリト云ハサルヲ得ス左レハ此織物ノ運命モ亦博多織ト同シク遂ニ愛知其他
ノ競争ニ堪フル能ハサランカ當業者ノ圖案研究ヲ要スルコト勿論ナルモ尙ホ此際適當ナ
ル圖案専門家ニ就キテ新意匠應用ノ端緒ヲ開クコト最モ肝要ナリ

佐賀縣 佐賀縣出品中最モ上出來ノモノハ緞通ニシテ界製ノ緞通ヨリハ比較的有望ノ如ク
見受ケタリ唯未タ當地ニ於テ斯業者多カラサルト大資本ヲ以テ斯事業ニ從事スルモノ乏
シキハ洵ニ遺憾ナリ現今外國ヨリ我國ニ輸入スル敷物ハ年々實ニ巨額ナルニモ拘ハラス
唯一ノ緞通産地タル堺緞通ハ多クノ點ニ於テ内地人ニ喜ハレサルカ如キ有様ナリ此際ニ
當リ佐賀縣ノ緞通製作ハ洵ニ時機宜シキニ適セルモノナリ同業者ハ勿論尙モ斯業ニ熱心
ナルモノハ奮テ斯業ノ進歩發達ヲ計リ廣ク社會ニ紹介シテ販路ノ擴張ヲ企テナハ蓋シ其
需要ヲ獨占シ輸入防遏ノ奇功ヲ收ムルヲ得ンカ

特ニ配色及ヒ原質等ハ能ク本邦用トシテ適切ナルコト遙カニ他地方ノ製品ニ超ヘタリ幸
ニ當業者尙ホ此點ノ研究ニ怠ルナカラシム

熊本縣 熊本縣出品中主ナルモノハ風通織ニシテ之ニ亞クハ普通木綿縞ナリ

風通織ハ其製造未タ盛ンナリトハ言フヘカラス而シテ其地色及圖案ハ先ツ普通凡庸ナリ

唯萬篇一律ニ其地色ノ撲素ニ失シタルハ聊カ感服セサル點ナリ之ニ鼠若クハ他ノ晴レタ
ル色ヲ用ヒナハ尙一段ノ見榮アリテ社會一般ノ需要スル所トナラン

木綿織ハ鼠縞最モ多シ是レ社會一時ノ需要ナランモ永久此調子ニテ可ナルモノニハアラ
サルヘシ宜シク一方ニ於テ新縞柄ノ考案ニ勉ムルト同時ニ更ニ其色彩ノ新ナルヲ選ムヘ
シ

宮崎縣 同縣ノ染織工業ハ未タ振ハス隨テ此種ノ出品ニ於テハ見ルニ足ルモノナシ羽二重
手巾類ハ共ニ其圖案陳腐ニシテ殆ント論スルニ足ラサルモノ、如シ斯業ニ從事スルモノ
ハ大ニ奮發アランコトヲ要ス

鹿兒島縣 本縣ニ於ケル出品ノ主ナルモノハ所謂大島紬ノ縞ナリ其染色ノ堅牢ナルコト勿
論ナルヘク製作技術亦決シテ悪カラスト雖モ獨リ意匠圖案ノ上ニ於テハ少シモ進化シタ
ルモノヲ認メス

以上第六部出品ノ意匠圖案ニ付テ概評シタリ而シテ從來ノ例ニ徵スレハ後日ニ至リ其出品
物ニ如何ナル意匠圖案ナリシカヲ釋ルニ山ナク僅カニ當時ノ審査報告ノ類ニ據リテ其勞
ヲ摸索スルノミ爲メニ歴史的ニ工藝品ノ意匠圖案ノ變遷ヲ知ルコト能ハサリシハ毎ニ遺憾
トスル所ナリ於是第六部ニ於テハ審査官數名ヲ擧テ選定委員ト爲シ本部出品中ヨリ意匠
圖案ノ見ルニ足ルヘキモノヲ選拔シ模寫若クハ攝影ニ附セラレタリ即チ左ニ掲クルモノ是
レナリ

第三章 参考館及官廳出品調査報告

調査員審査官

同	吉武榮之進
同	今西直次郎
同	柴田才一郎
同	渡邊健雄
同	高力直寛
同	小西正二

シヤワー

シヤワー製絹會社

支配人リ、キム、リヨング

出品

一生絲 拾總

一撚絲 貳總

附線絲 壹

器械製ナレトモ線絲法幼稚ニシテ絲質ハ廣東絲ニ類ス

清國惠道公司

出品

一生絲 七括黃糸六點
白糸一點

產地ハ四川省西充縣璧山縣瀘川府保寧府江北廳及貴州省正安州

一柶蠶絲 貳總

產地ハ四川省江蘇縣

生絲柶蠶絲共ニ座線製ニシテ參考上見ルヘキモノナシ

清國沙市日本領事館

出品

一生絲 二總白糸

產地ハ荊門州當陽縣參考トスルニ足ラス

清國湖北農務學堂

出品

一生絲 十總

蠶絲ハ日本及支那ノ兩種ヲ用ヒ絲質束裝等ハ參考上見ルヘキモノトス

湖北商務總局

出品

一生絲 九總黃糸四點
白糸一點

產地ハ黃州沔陽及河溶

清國政府

出品

細絲ニシテ稍見ルヘキモノニ點アレトモ他ハ座線ニシテ參考トスルニ足ラス

一生絲 五總白糸

製造者京城地文永

韓國釜山高瀬政太郎

出品

一生絲 三總黃糸

產地慶尙道

白絲ハ稍見ルニ足ルモ黃絲ハ參考トスルニ足ラス

日本神戸兼松商店

出品

一 柞蠶絲 約十五總

支那産ニシテ普通品ナリ別ニ見ルヘキモノナシ

日本農商務省生絲検査所

出品

一生絲検査所家屋圖面及寫眞

額一面

一 検査件數月別比較表

額一面

一 品位検査成績累年比較表

額一面

一 生絲含水量比較表

額一面

一 強伸力累年比較表

額一面

一 検査器械寫眞

額三面

一 生絲ノ類節及寫眞

額四面

一 検査定置用紙類

額一面

一 検査用々紙類

額一面

一生絲練成前後ノ色澤ヲ示スヘキモノ一揃十五種

一生絲束裝及荷造ニ關スル物品及生絲

但シ絡交力絲、緒留捻造其他ノ種類七十九點

右出品物ハ具サニ生絲検査所ノ構造其他検査實施ニ關スル狀況ヲ表示シ間然スル所ナシ且ツ生絲改良ニ關シ參考ノ資料タルヘキモノト認ム

日本農商務省工業試験所

出品

一 色素堅牢度試験成績標本

右ノ出品ハ當業者ノ參考トシテ大ニ裨益アルモノト認ム

韓國政府

出品

一 襪纓佩物櫻香櫻帶袴等 十八點

韓國釜山高瀬政太郎

出品

一 唐袴通帶片腰帶通腰帶巾着紐等 十點

前記ノ出品物ハ對韓貿易上多少ノ參考トナルガ如シ

韓國政府

出品

一 麻絲 二總

視ルニ足ラス

清國四川省惠通公司

出品

一 衣線(絹縫絲) 五總

一 花線(縫箔絲) 五總

較ヤ視ルニ足ル

清國四川省福建洋務局 出品

一棉花 一箱
較ヤ視ルニ足ル

清國湖北商務總局 出品

一麻絲 四點

右ハ近頃建設シタル湖北官局(官立)ニ於テ湖北麻絲ヲ完全ナル洋式紡機ニカケ製出シタルモノニシテ太キハ三十番前後細キ分ハ五十番以上ナリ品質良シ

清國江南商務總局 出品

一紡績綿絲 五點

右ハ上海裕源紡紗公司ノ製品ニシテ十四番二總十二手十六手二十手各一總アリ中ニ就キ十四手一總ハ支那棉ニ印度棉ヲ混シ紡出シタルモノ、如ク絲質印度絲ニ酷似セリ上海紡績技術進步ヲ察スルニ足ル他五點甚タ粗ナリ

日本神戸謙信洋行 出品

一人造絹絲及人造絹絲製裝飾用絹布

右ハ獨國エルベフエルト市共同人造絹絲製造所製品ニシテ織物用裝飾用等無數ノ見本ヲ陳列シ最モ優秀ナル出品物ナリ本品ハ近年ノ發明ニ係リ三十四年頃ヨリ本邦ニ輸入ヲ開始セルモ未タ一回ノ注文ヲ受ケタルコトナク之ニ軟剛ノ二種アリ軟キ分ハ百匁四

圓剛キ分ハ百匁三圓八十錢ナリト云フ

日本大阪岩井商店 出品

一トツプ及毛絲 各種

右ハ獨國製ニシテ何レモ精良參考ト爲スニ足ル

日本大阪岩田保太郎 出品

一印度棉花見本 二十三點

多數ノ印度棉ヲ集メ陳セリ參考トナスニ足ル

日本農商務省商品陳列所 出品

一紡績綿絲生絲羽二重甲斐絹フラン子ル及ヒ他ノ染織物

海外貿易上參考トナスニ足ル

神戸市兼松商店 出品

一濠州産羊毛原料清國産柞蠶麻及亞麻絲標本

大阪市田中萬商店 出品

一獨國レースシヨール

一木綿机掛

一フラン子ル及羅紗類

佛國巴里日本名譽領事 出品

一 絹織物各種

一天鵞絨毛布、セル地等標本

米國貿易會社

出品

一 毛縐子、ブラッシュ

一 窓掛

一 服裏地標本

一 人造絹絲

一 帶頭巾、机掛、腰飾用織物及捺染布

韓國政府

出品

一 苧麻織、麻織、白木綿羽、二重絹紬、絹絲、麻絲等

清國江南商務總局

出品

一 縮緬、緞子、繭綉羽、二重縐子帶地、麻布、蚊帳地等

清國惠通公司

出品

一 麻布、苧麻布、生絹、縐、綉、縐、紋、縐子、刺繡、草布

清國山東工藝局

出品

一段、通、繭、綉、縐子、縐等

日本岩井商店

出品

一 毛絲色染

製造人獨逸ヒシヨッフ及ローダック

日本矢島芳之助

出品

一 綿布捺染

製造人英國キヤリコプリンターズアソシエーション

韓國政府

出品

一 絹綿麻布色染

清國江南商務總局

出品

一 絹綿布色染

清國四川省惠通公司

出品

一 絹絲絹布色染

關領印度政府

出品

一 綿布捺染及絞

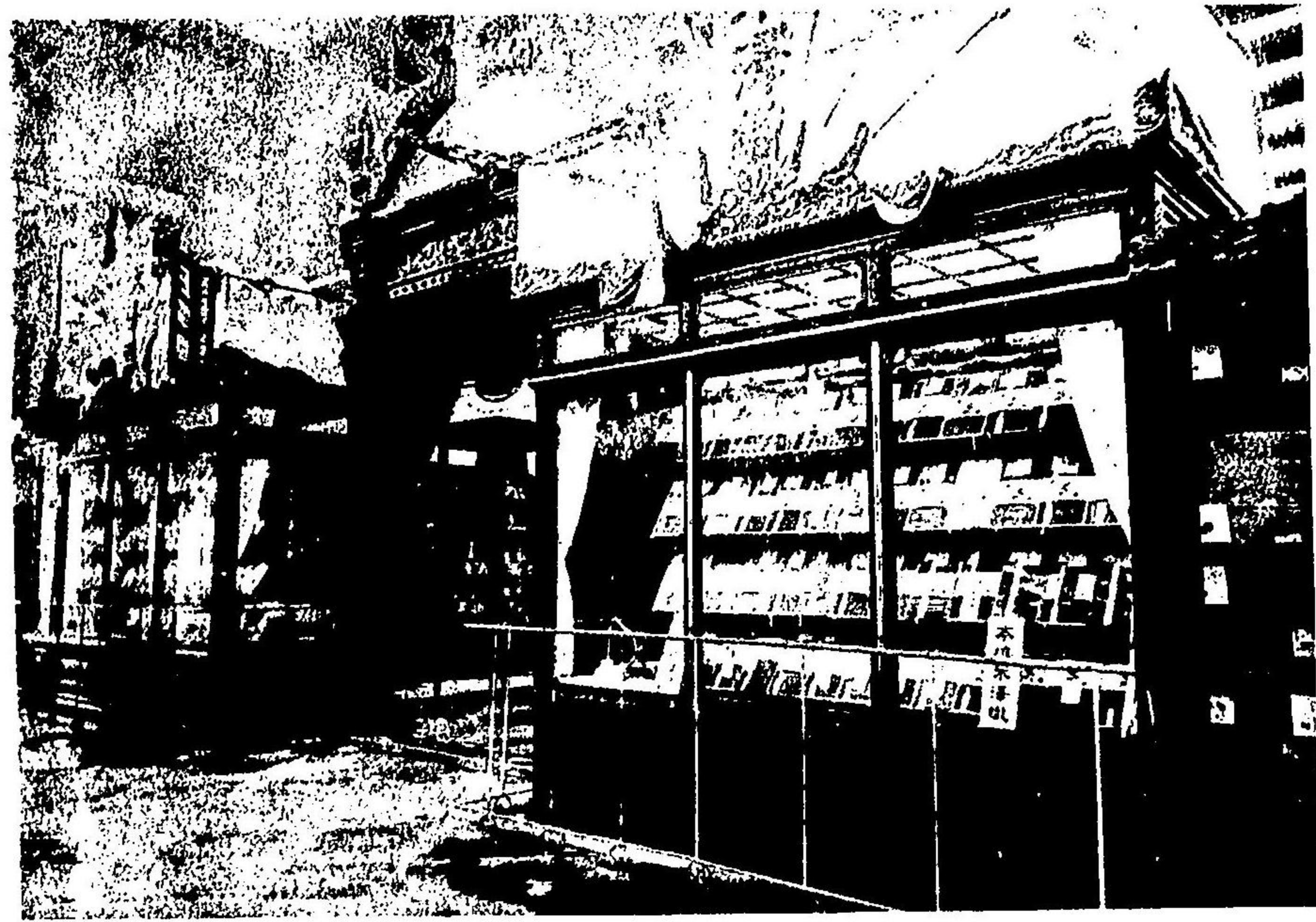
ヘルラー兄弟商會

出品

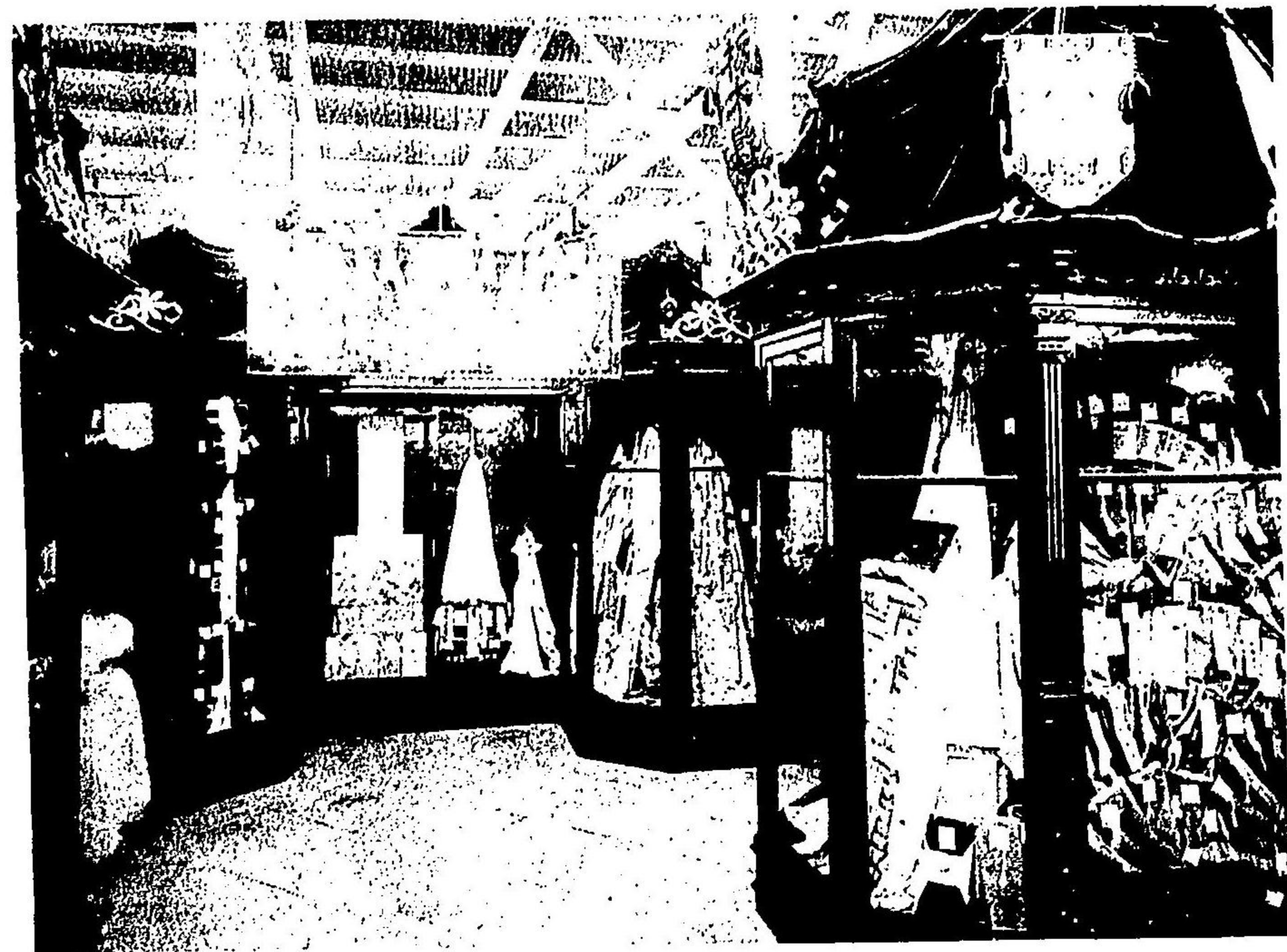
一 綿布捺染

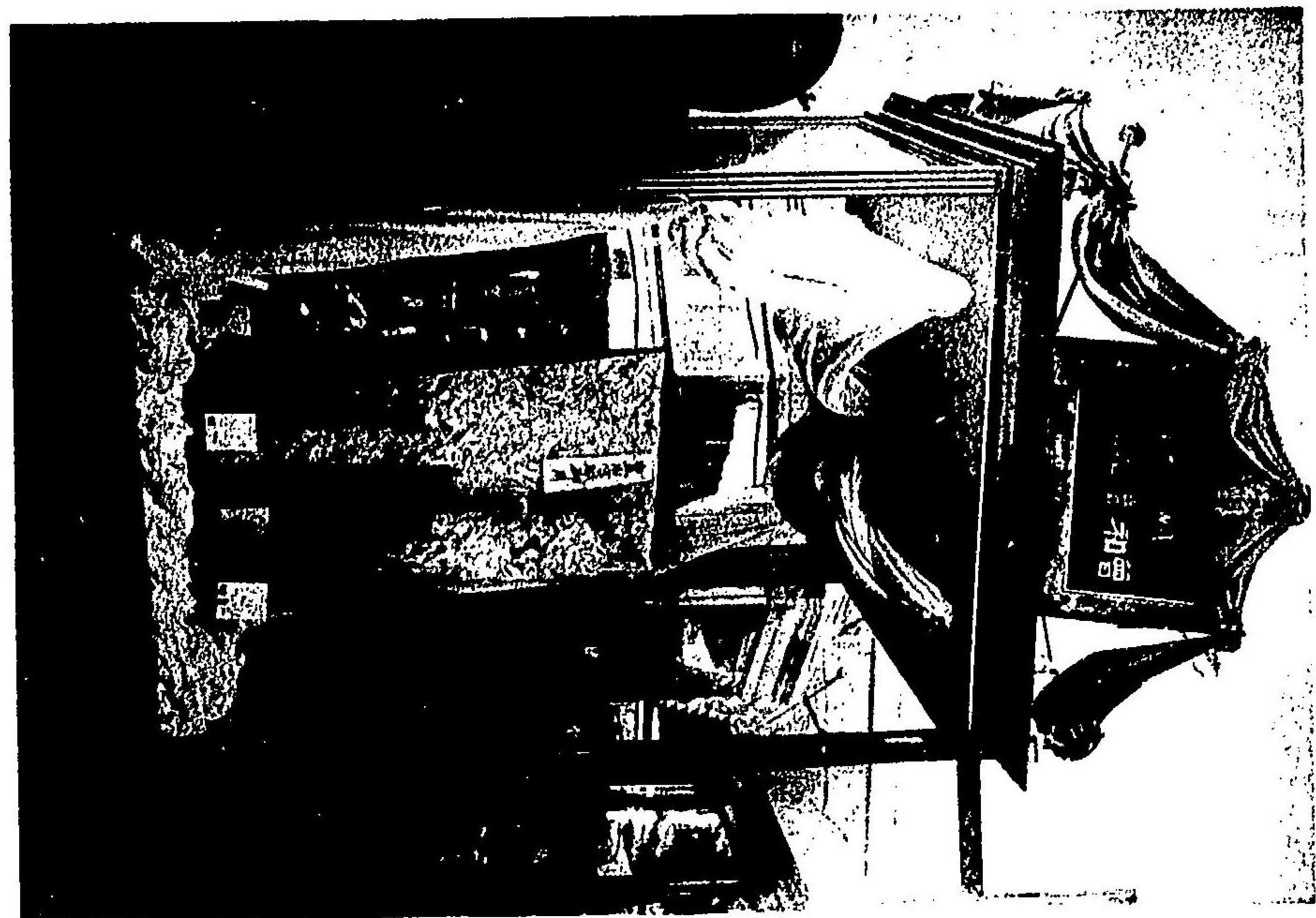
以上ノ出品ハ本邦商工業業者ノ參考トシテ大ニ裨益アルモノト認ム

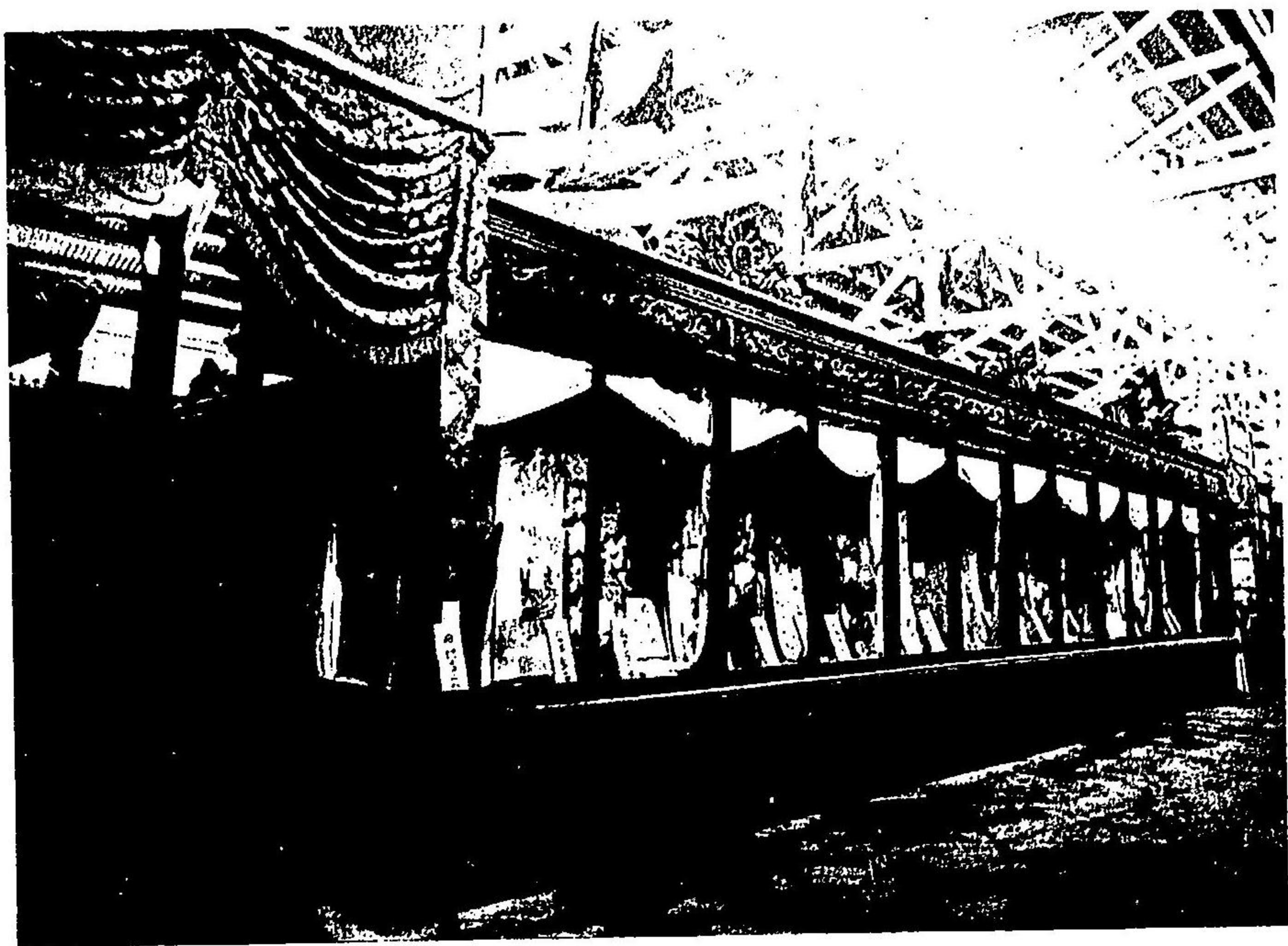
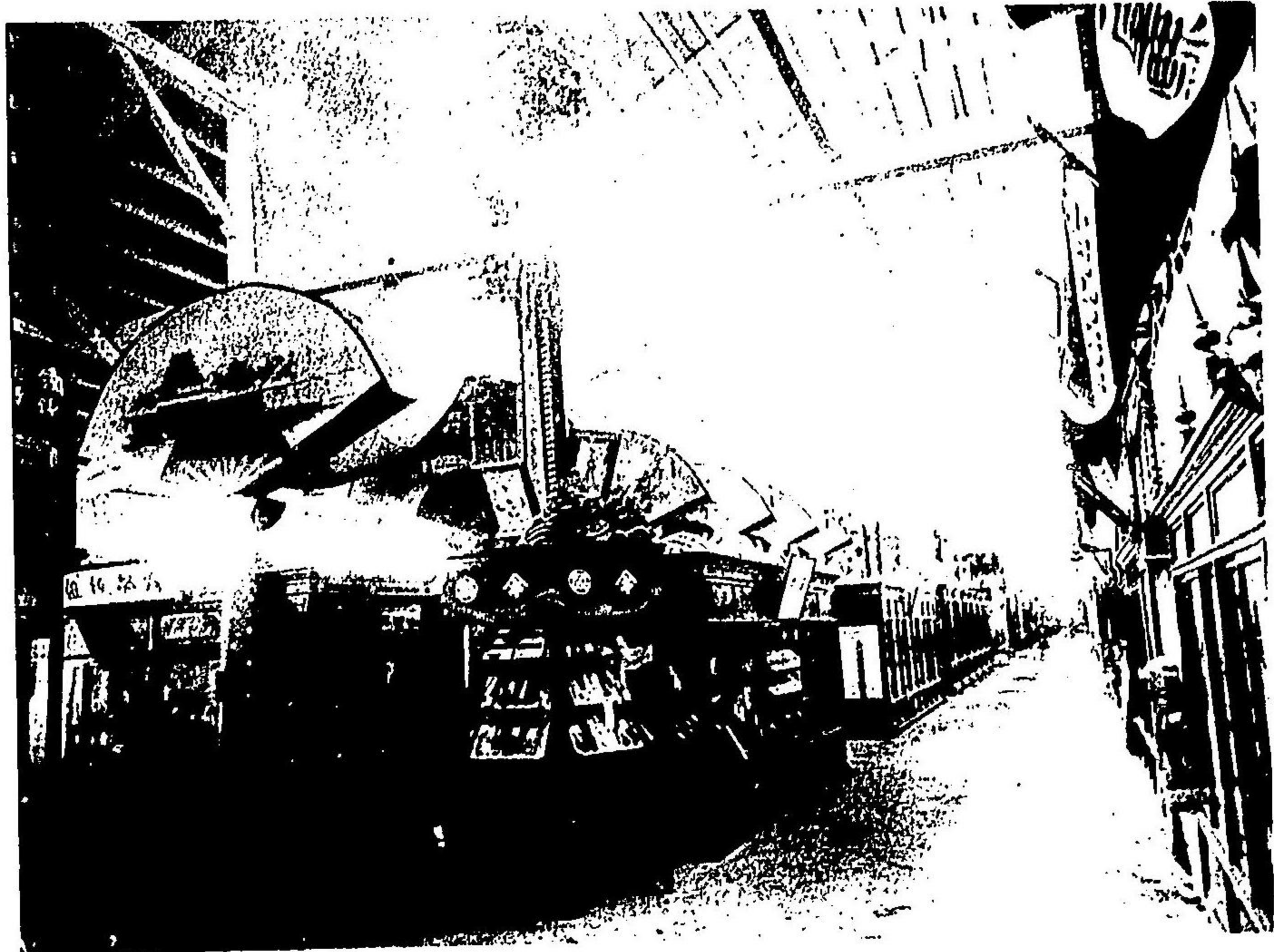




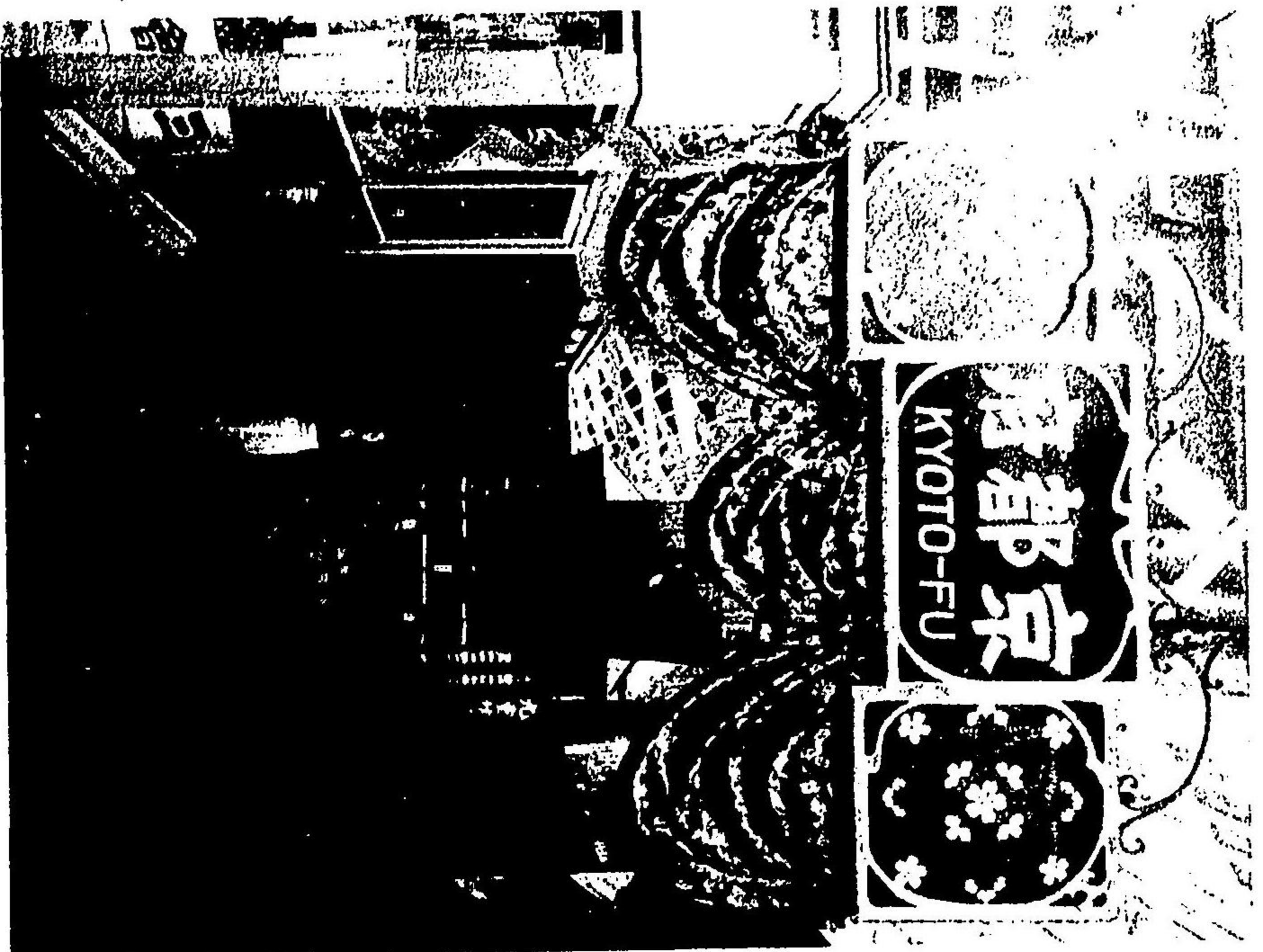
















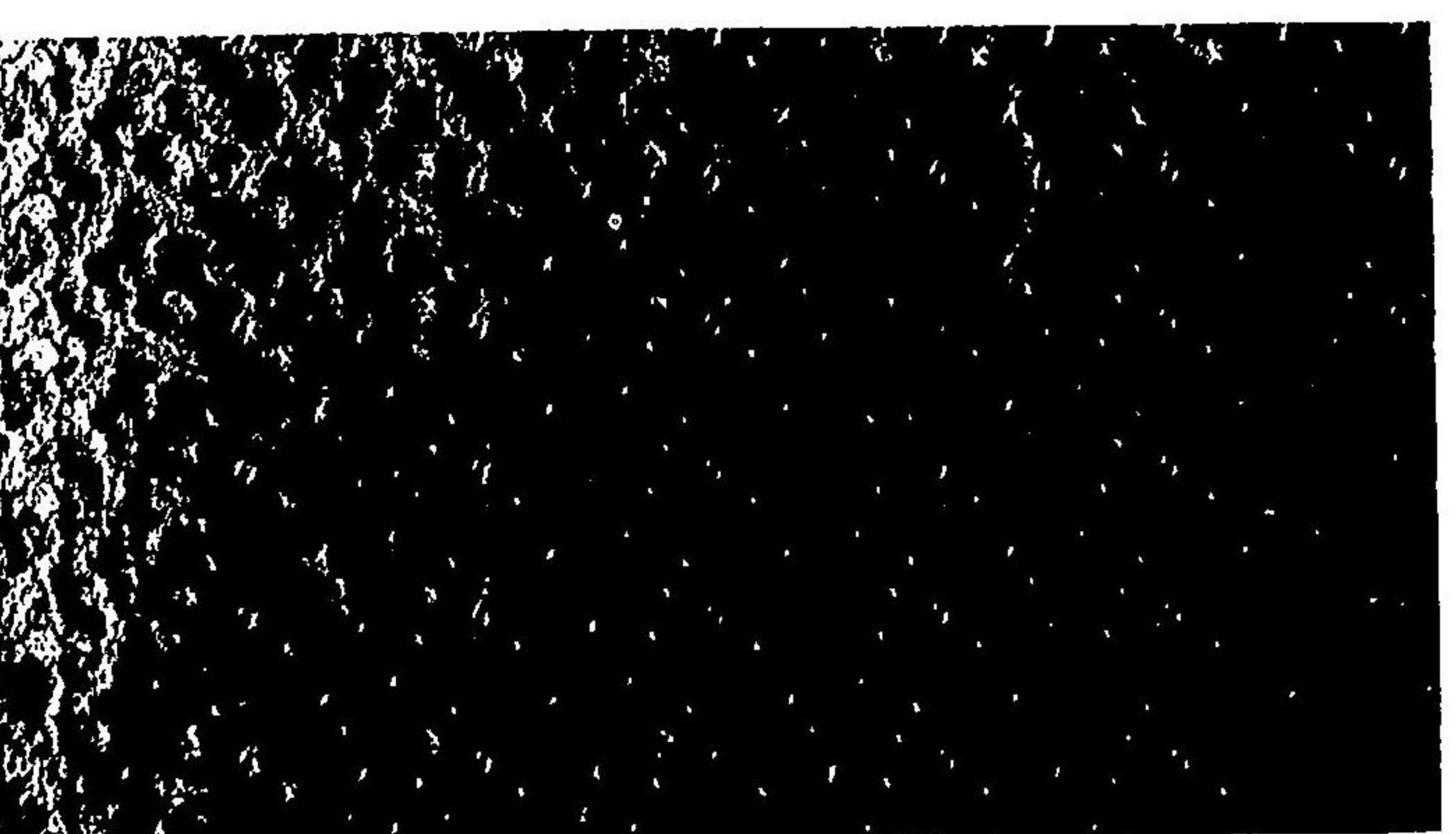






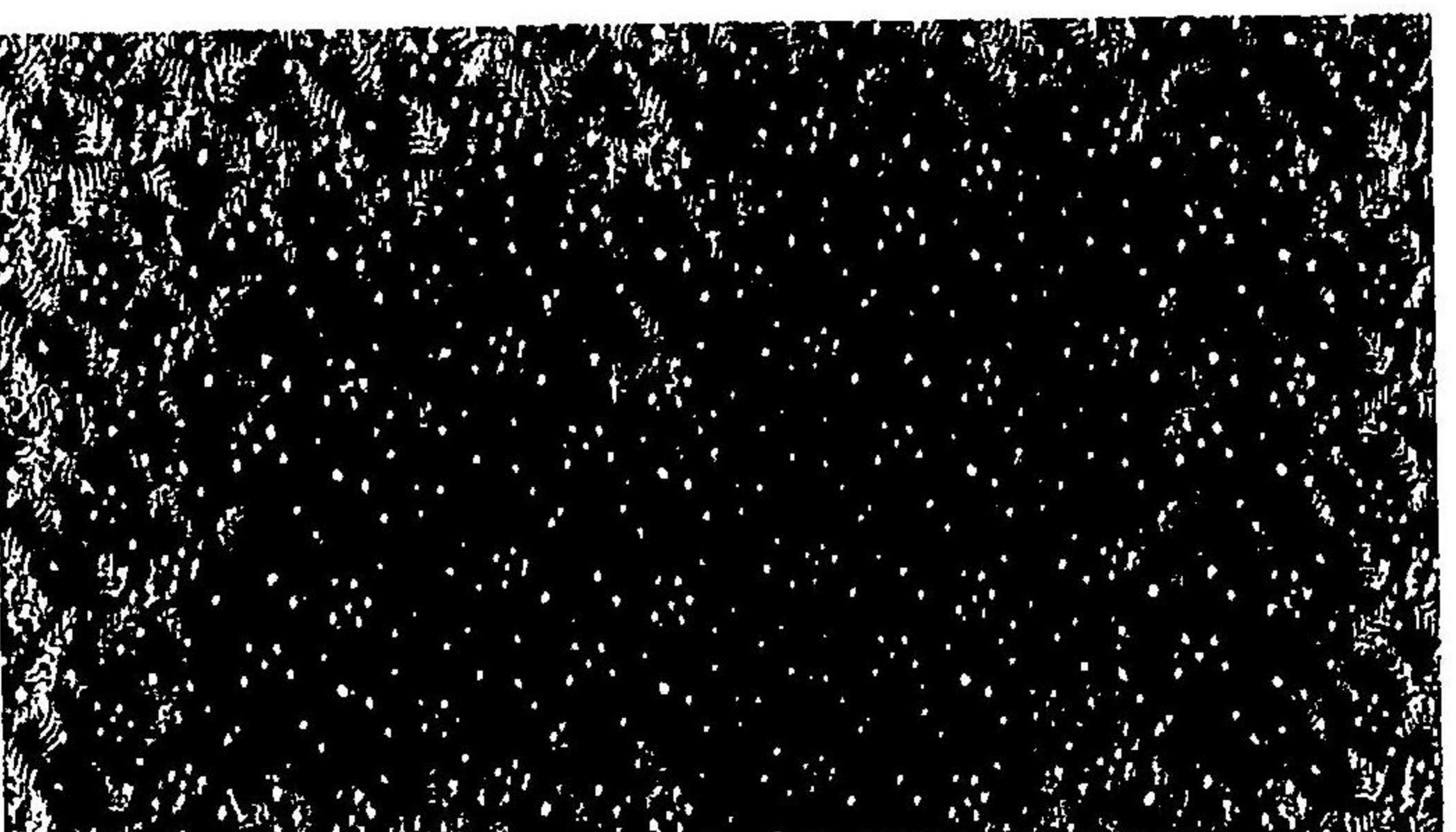
地帶女織珍繻

京都府 矢代庄兵衛出品



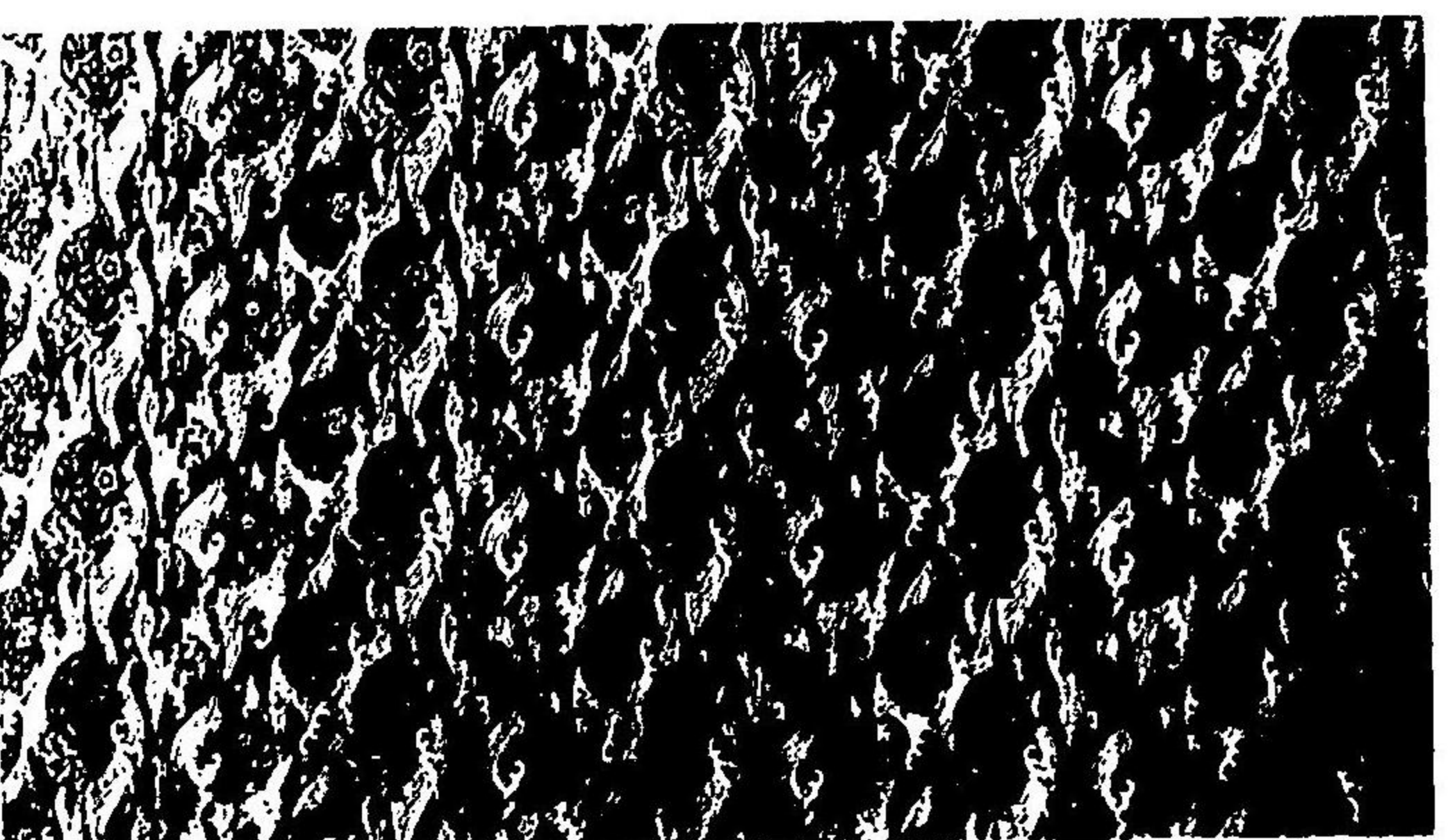
地帶女織珍繻

京都府 諏訪幸次郎出品



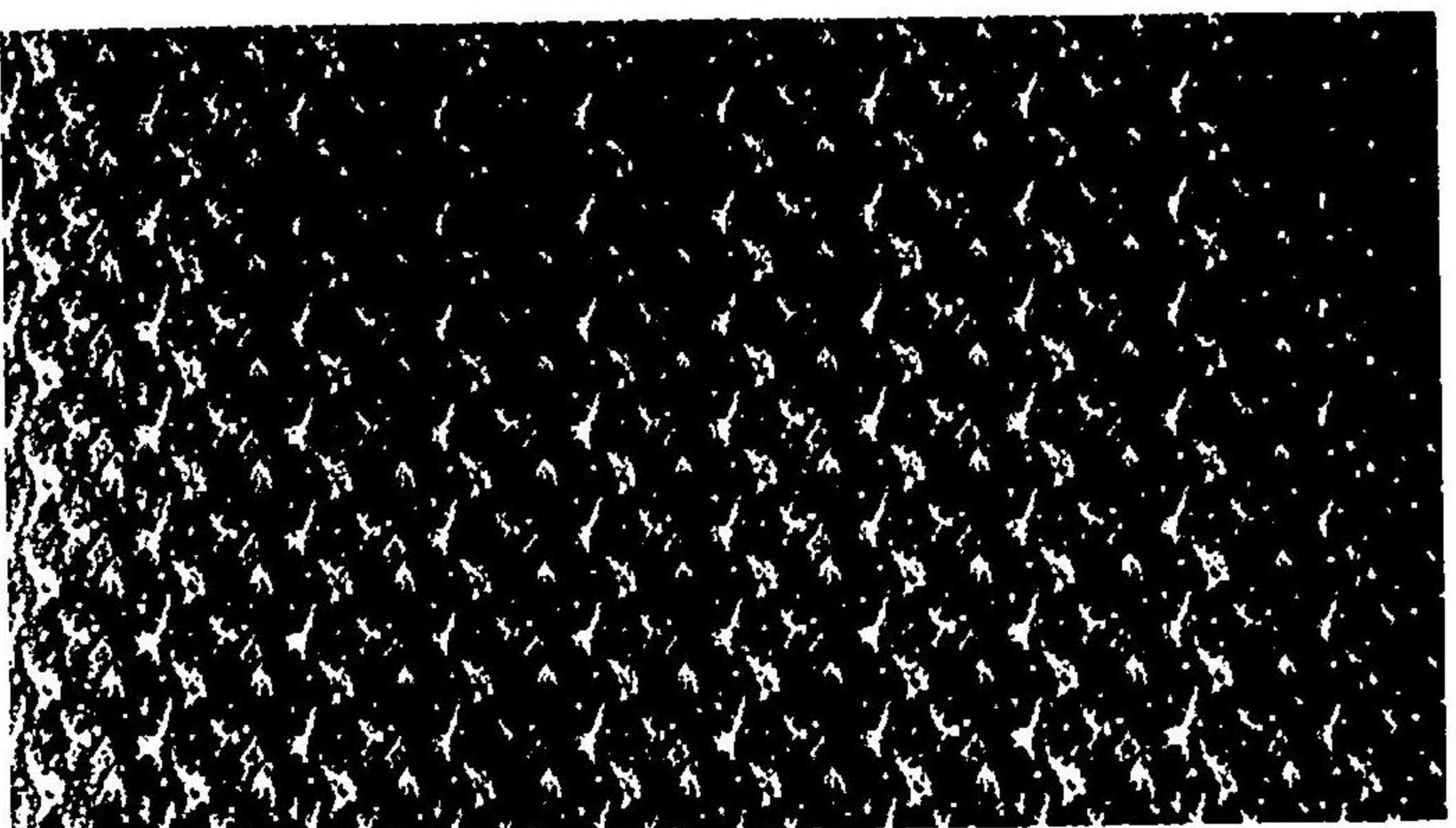
地帶女織珍繻

京都府 深田興三兵衛出品



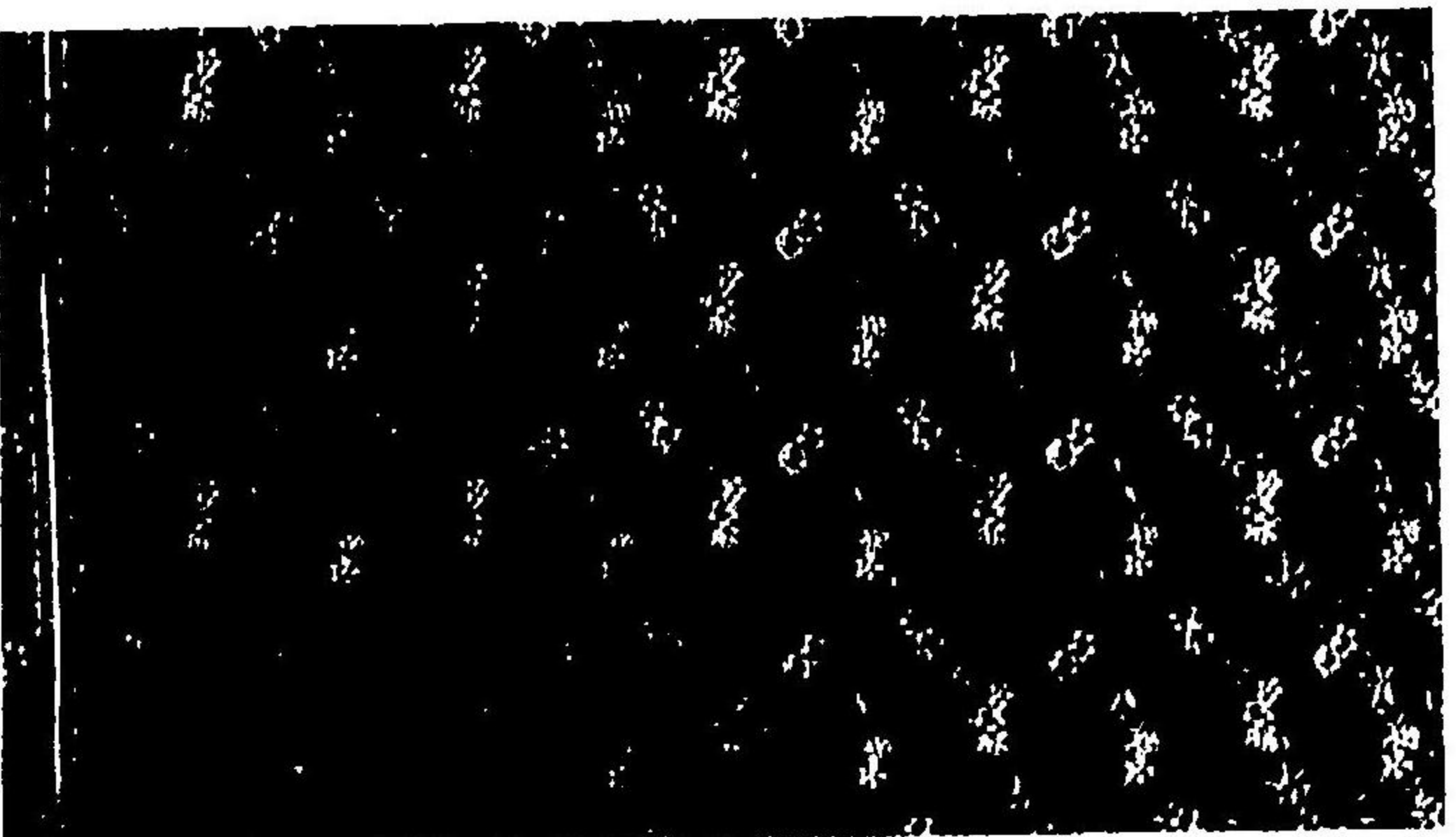
地帯女織 珍縞

京都府 矢代庄兵衛出品



地帯女織 珍縞

京都府 諏訪幸次郎出品



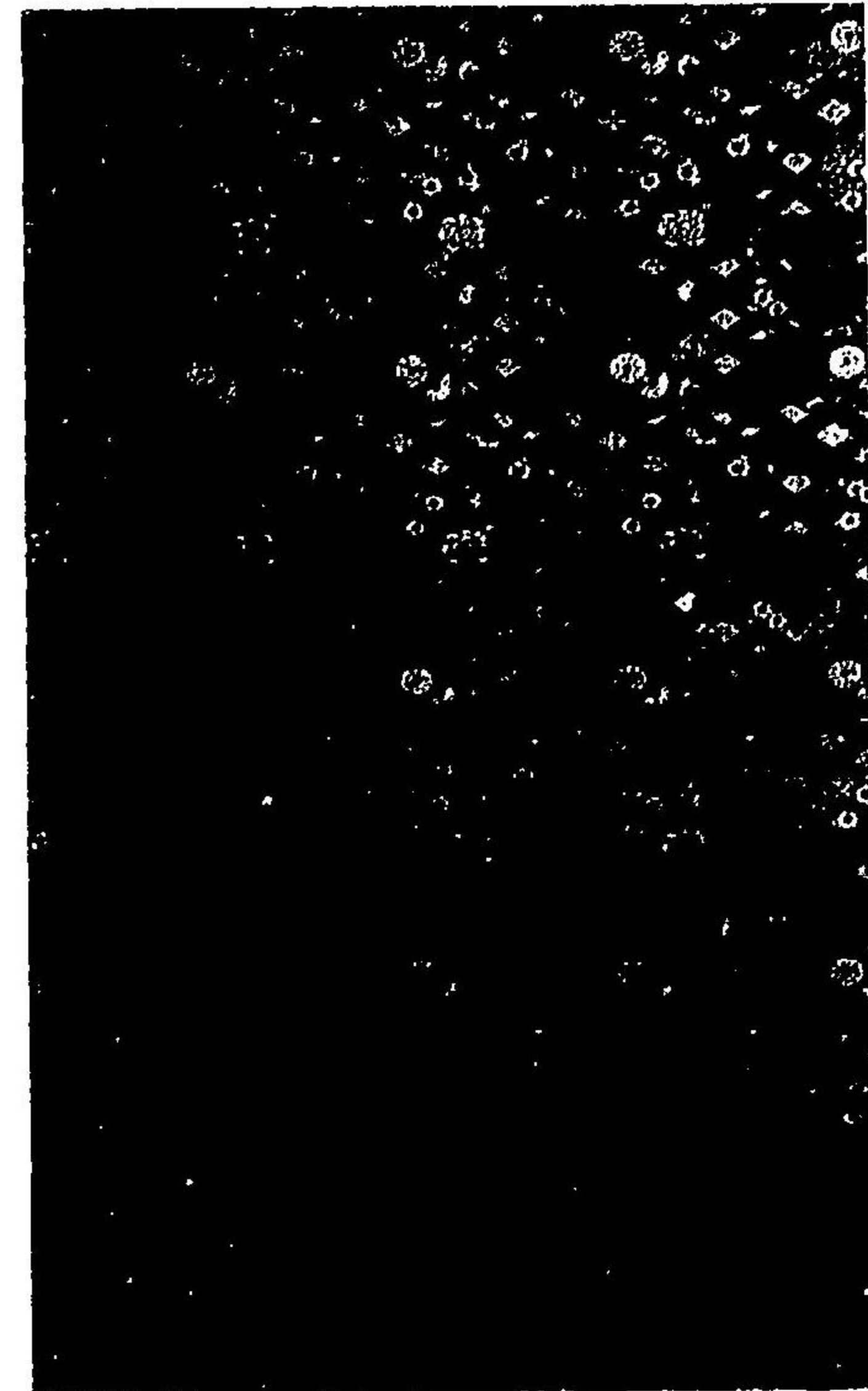
地帯女織 珍縞

京都府 深田興三兵衛出品



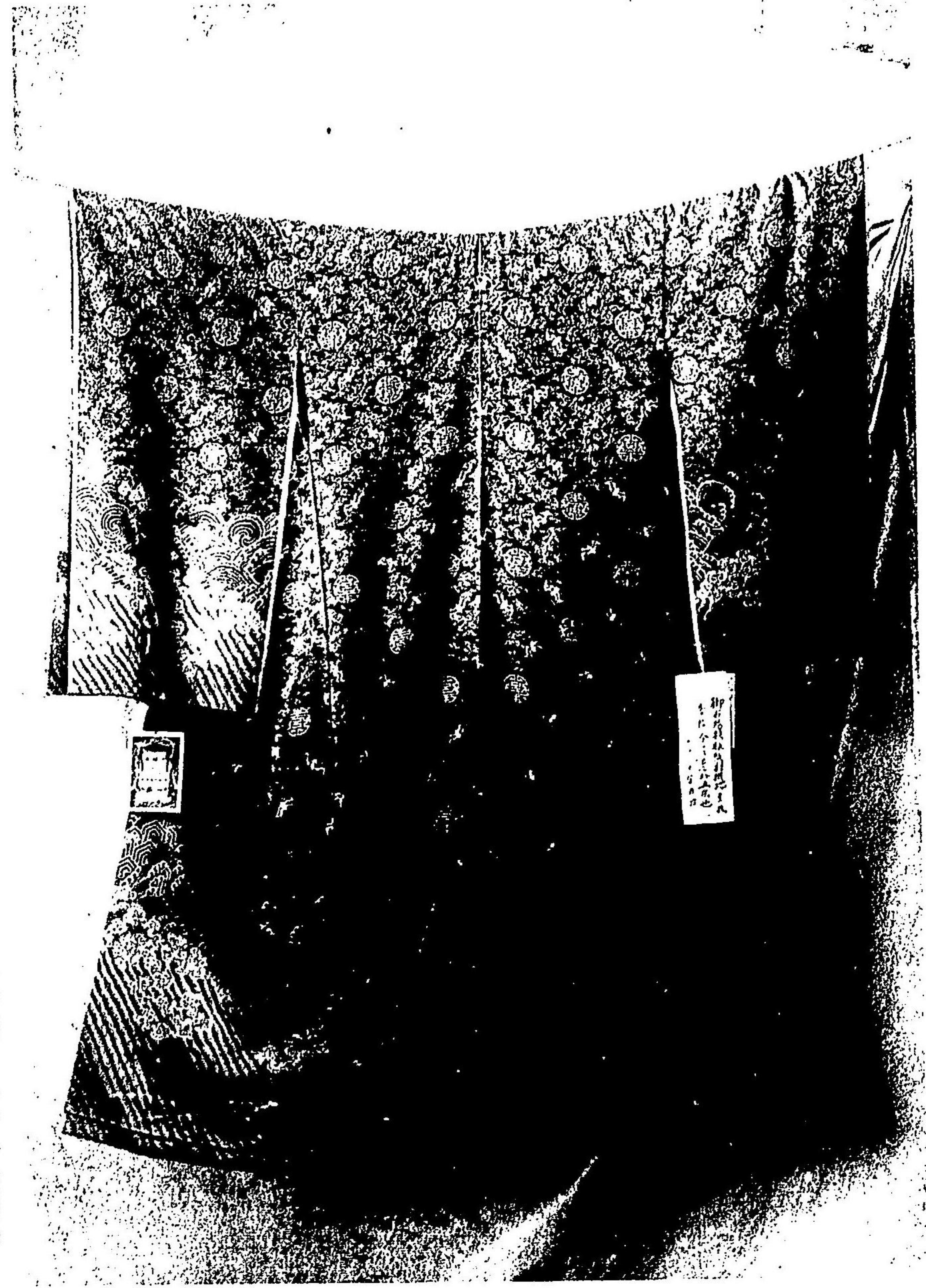
京都府 西村總左衛門出品

立 衞 織 綴



京都府 下村彦兵衛出品

地帶女 織子綴 地茶老海



東京府 小菅丹治出品

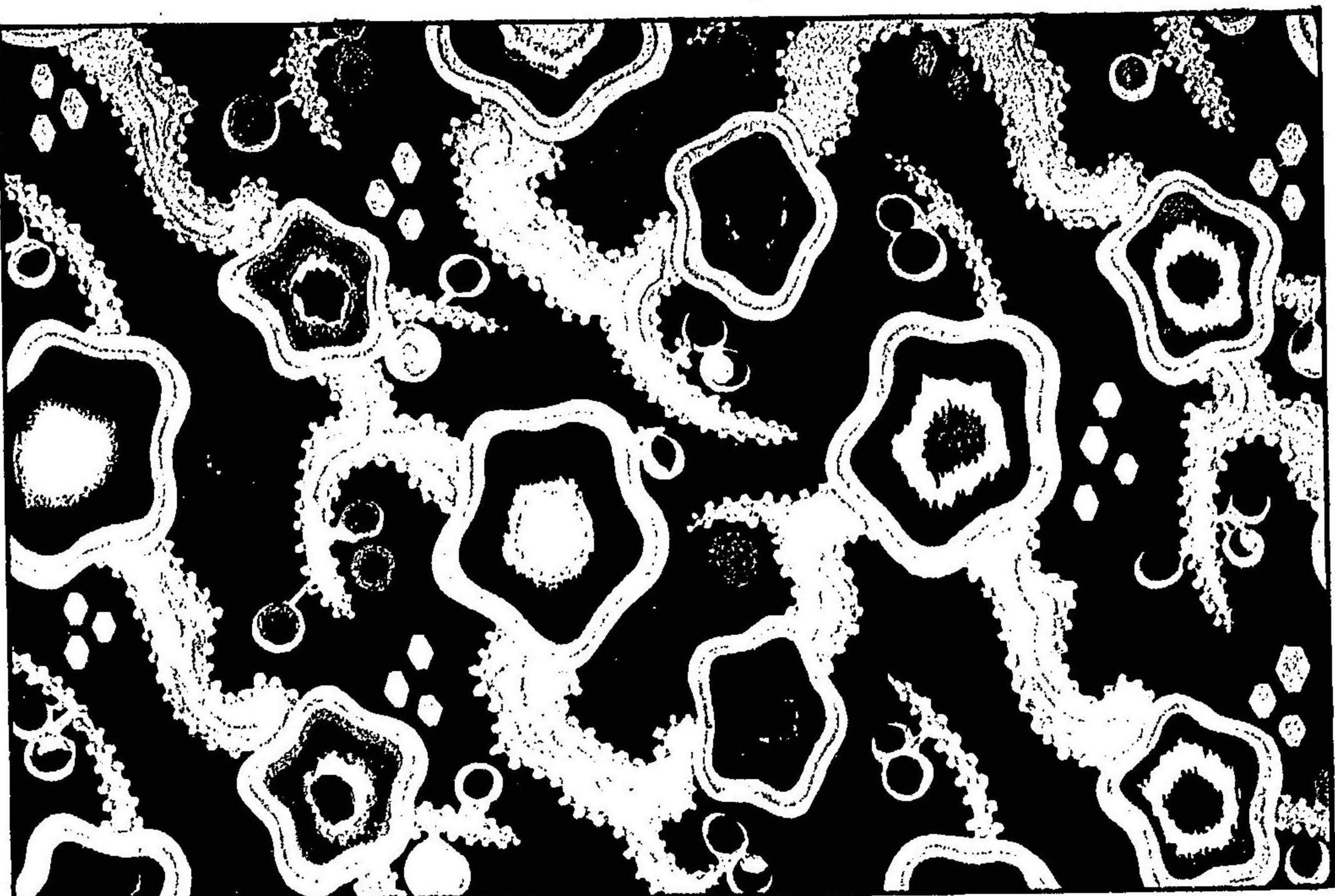
御召模樣織掛打

（寸 現） 帶 丸 珍 縹

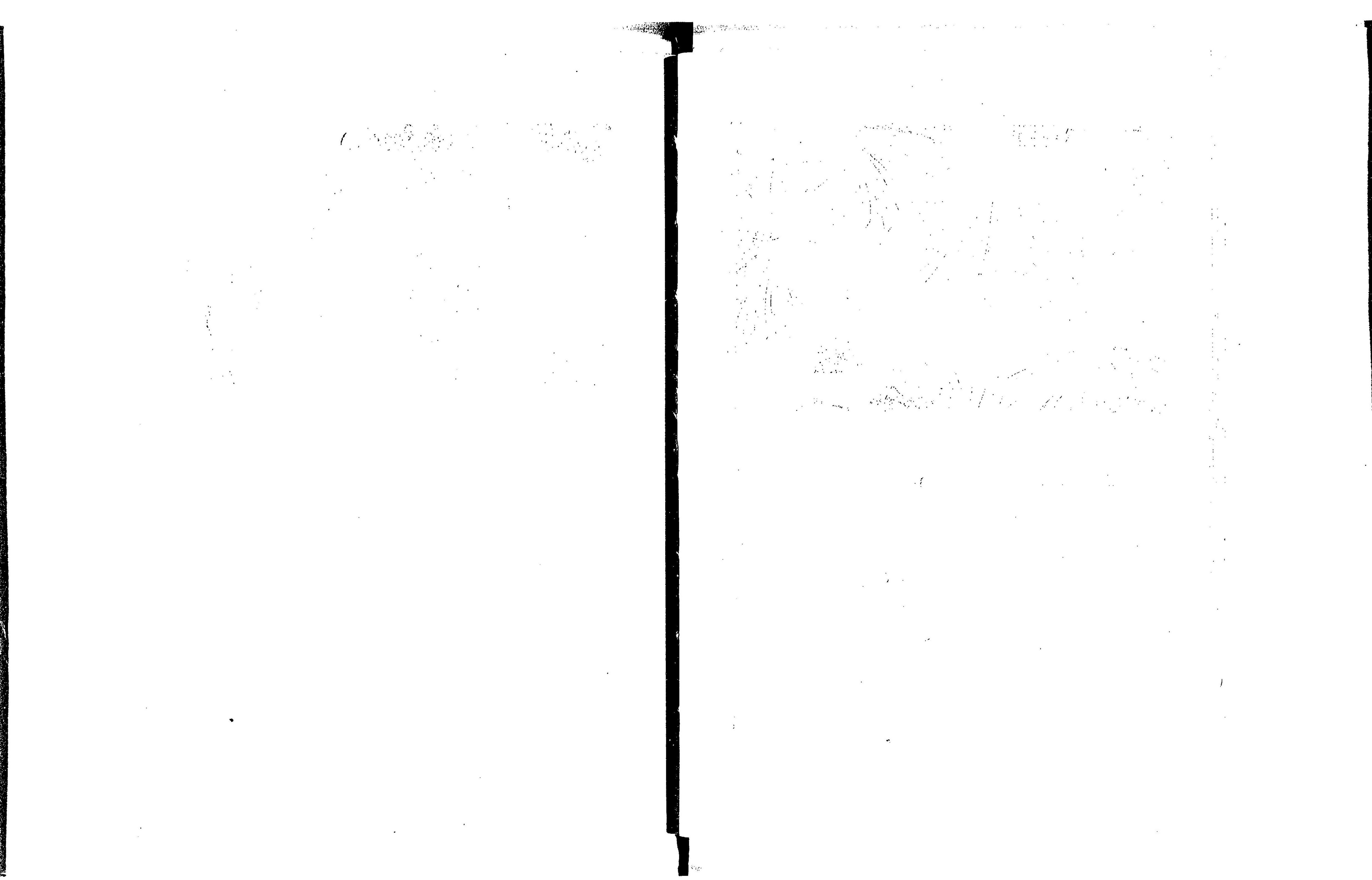


品出七常村田三 府都京

地帶廣入ミラカ珍縹入錦



品出吉香川市 府都京

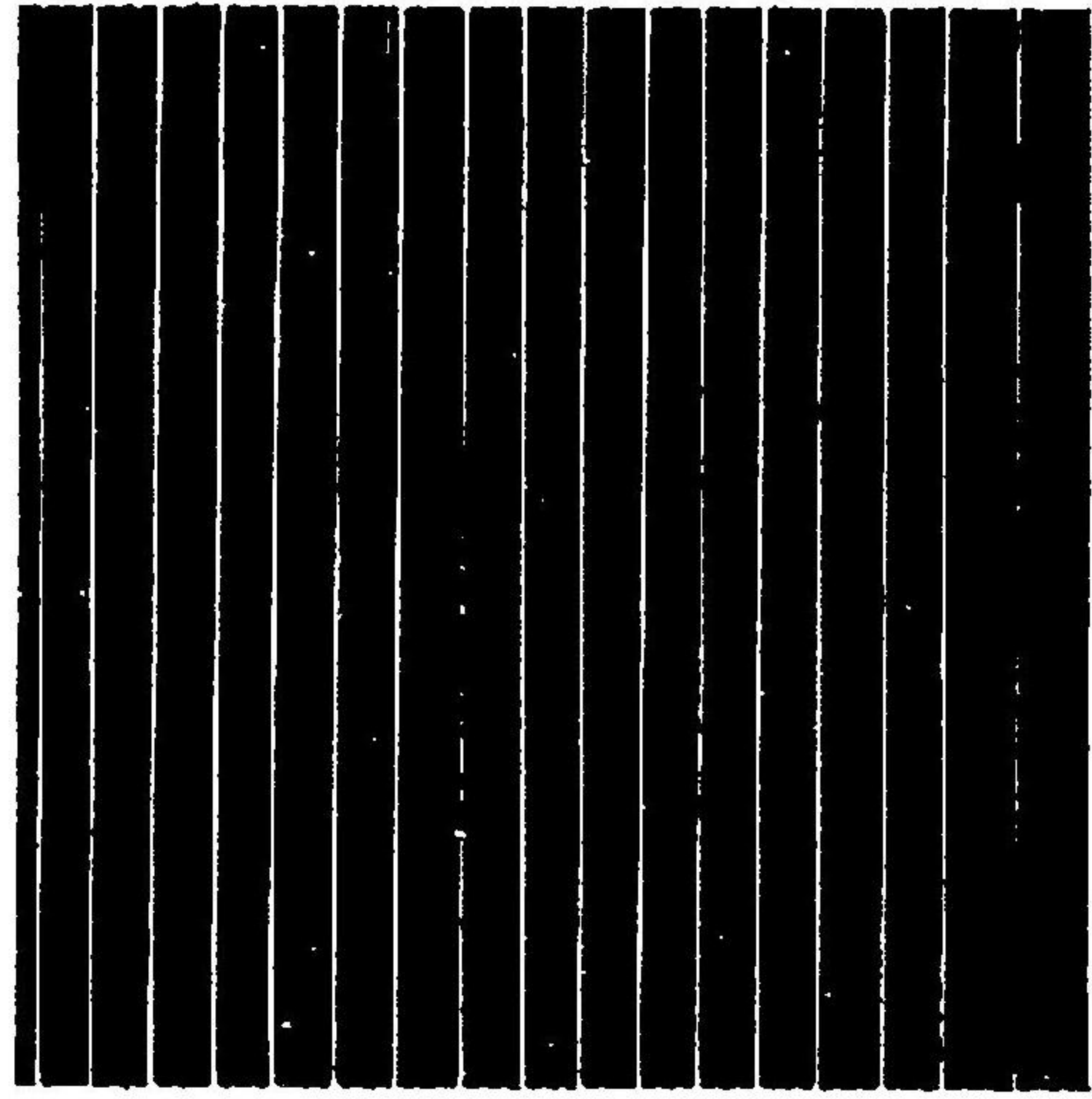


品出郎一嘉和會 府京東



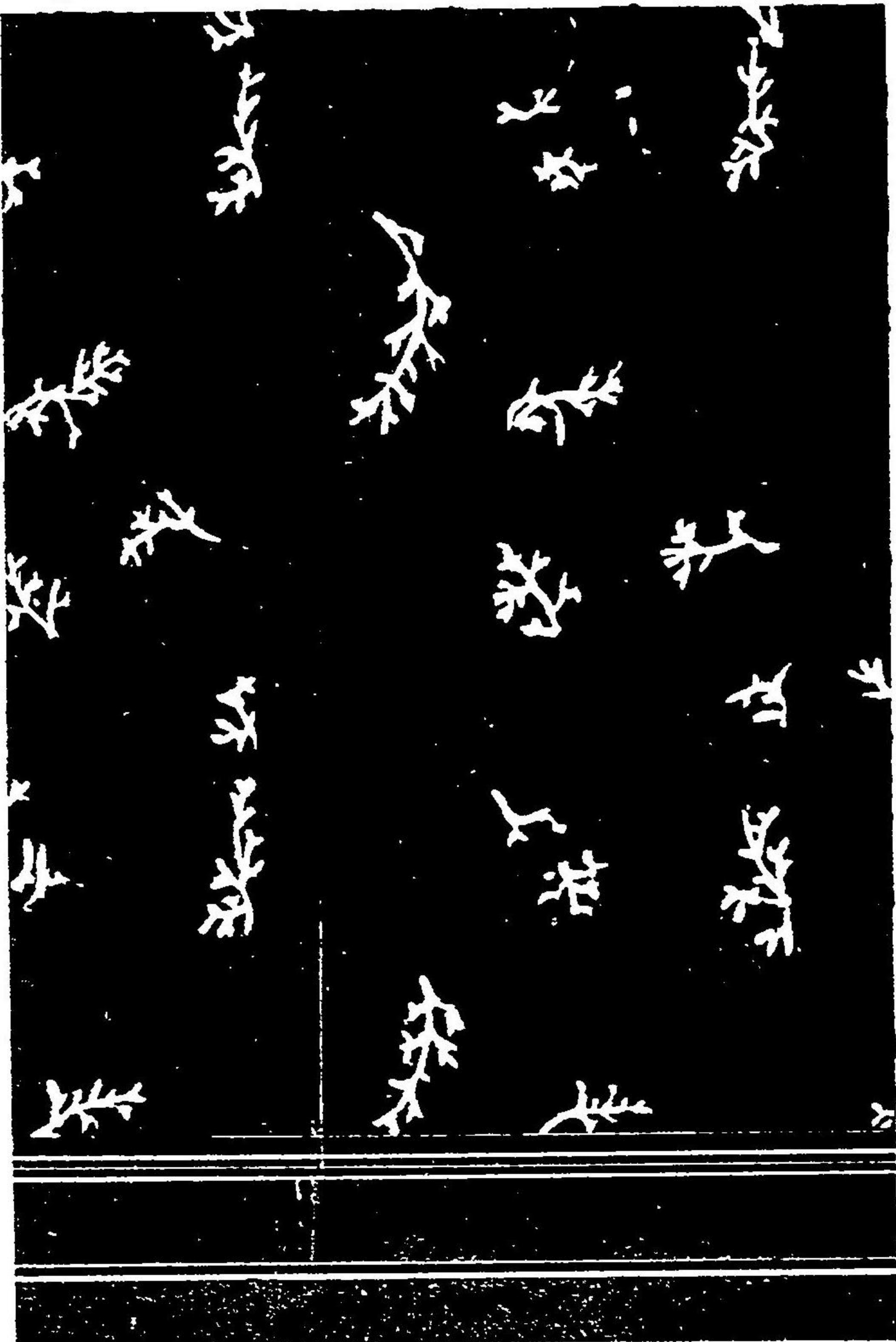
(圖縮一/分六) 地掛窓欄山花錦

品出社產物知愛 縣知愛



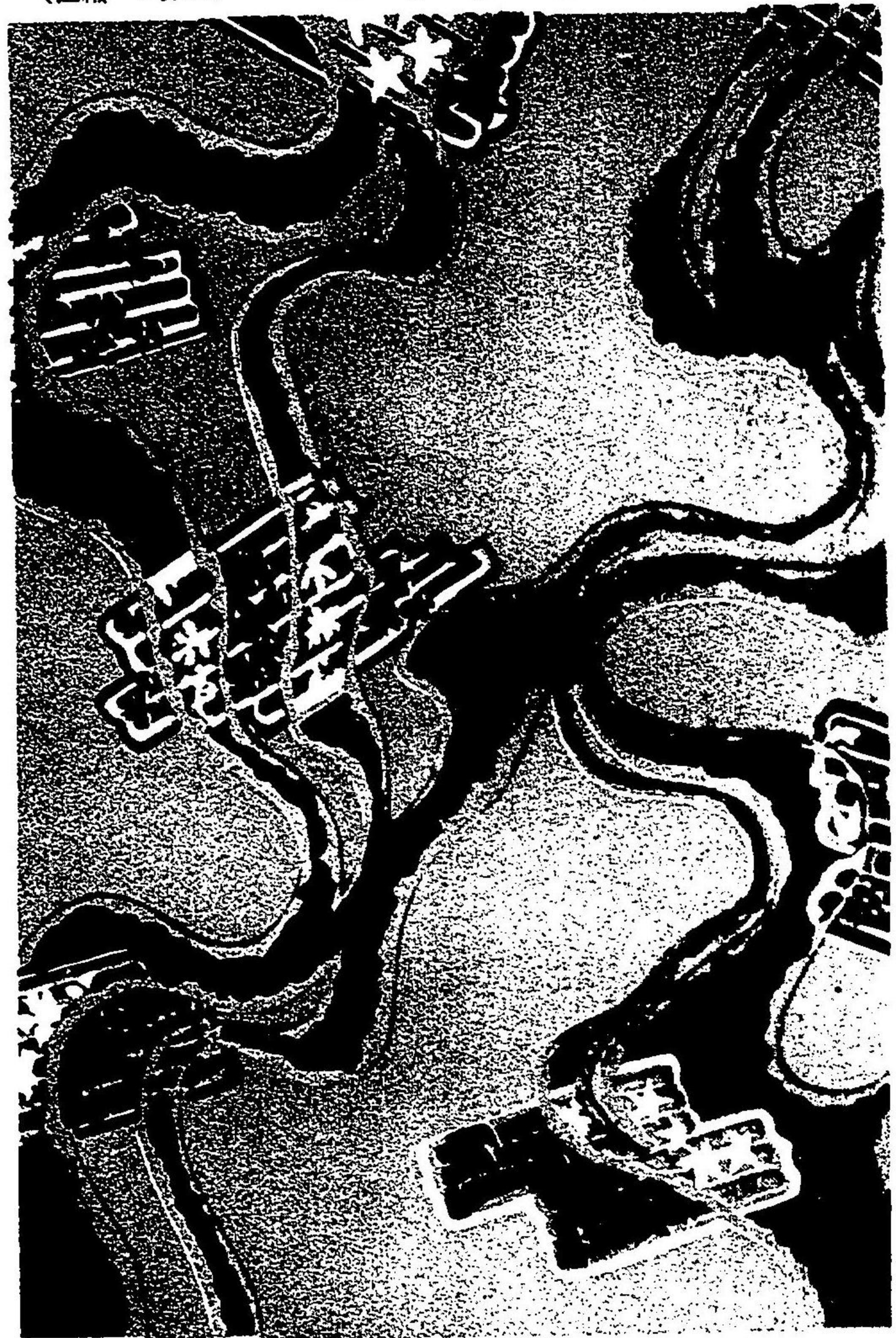
(寸現) 機綾唐

(圖縮一/分八) 地帶女幅廣珍緞



品出衛兵宇村外 府都京

(圖縮一/分六) 地帶女織上錦



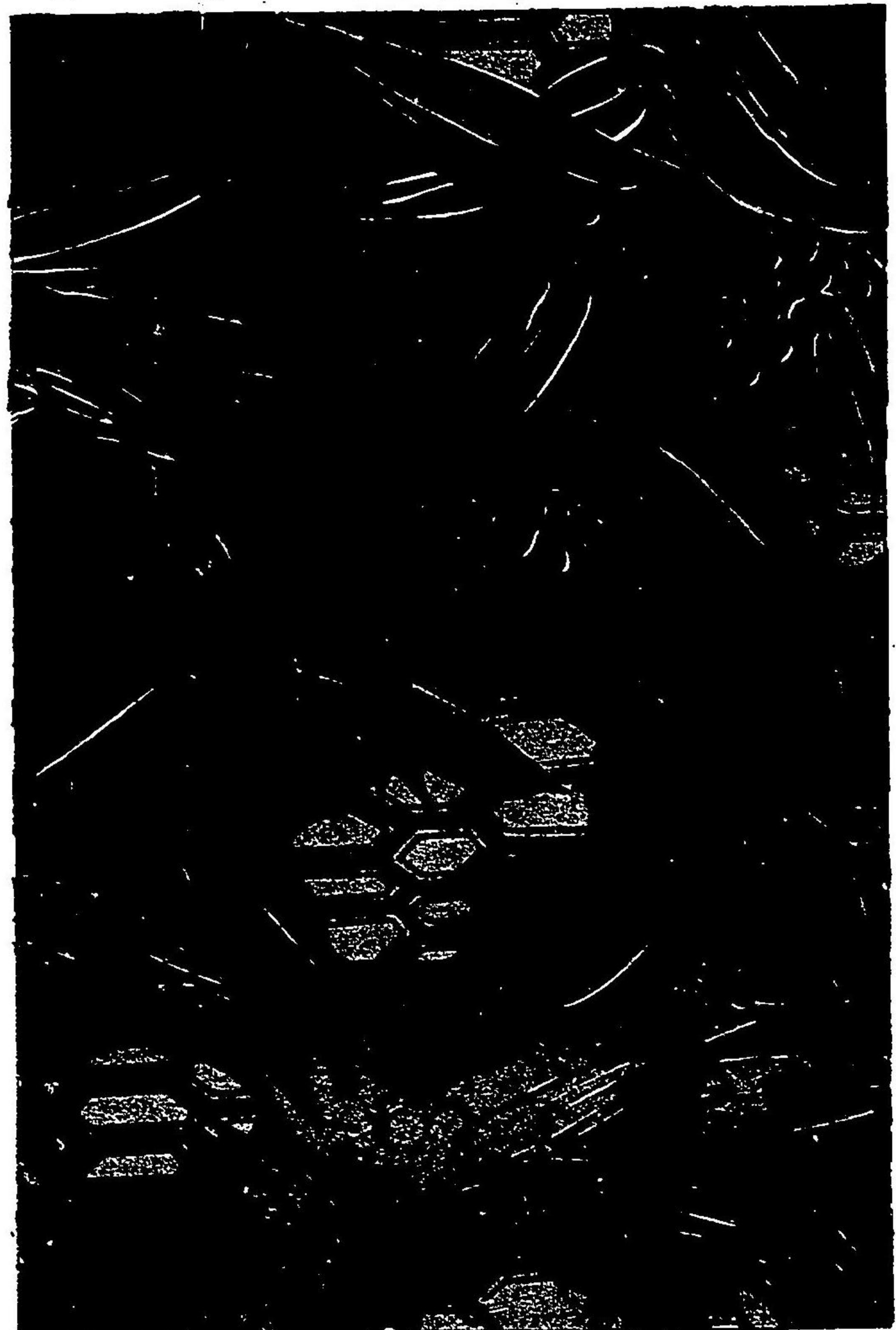
品出七新田飯 府都京

地帯女珍織



品出衛兵半水清 府都京

(寸現) 地帯女織ルーモ金



品出七宗野木 府都京

(圖縮一ノ分三) 地帶 - 女 珍 繡

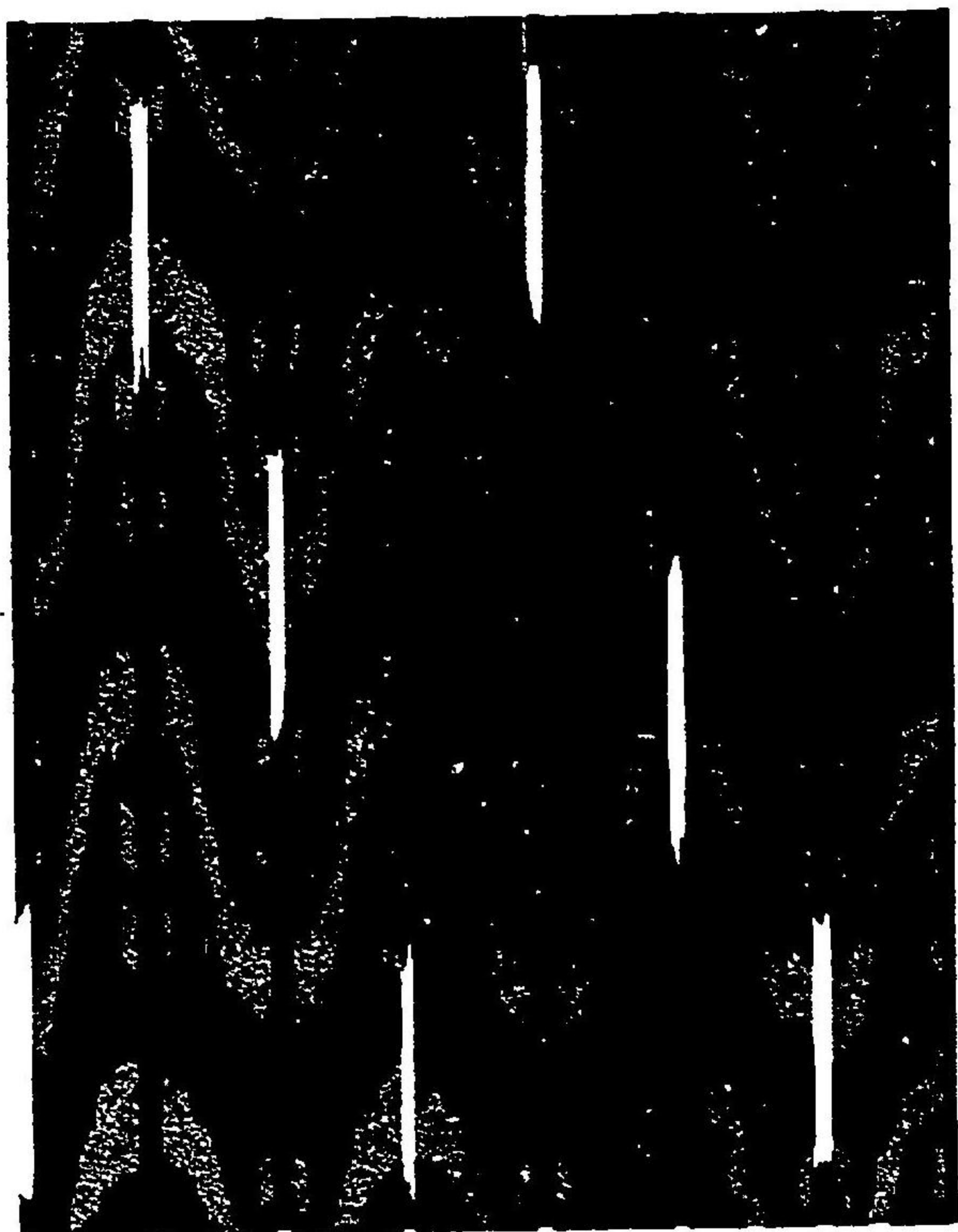


品出衛兵治村西

府都京

銀米
金米

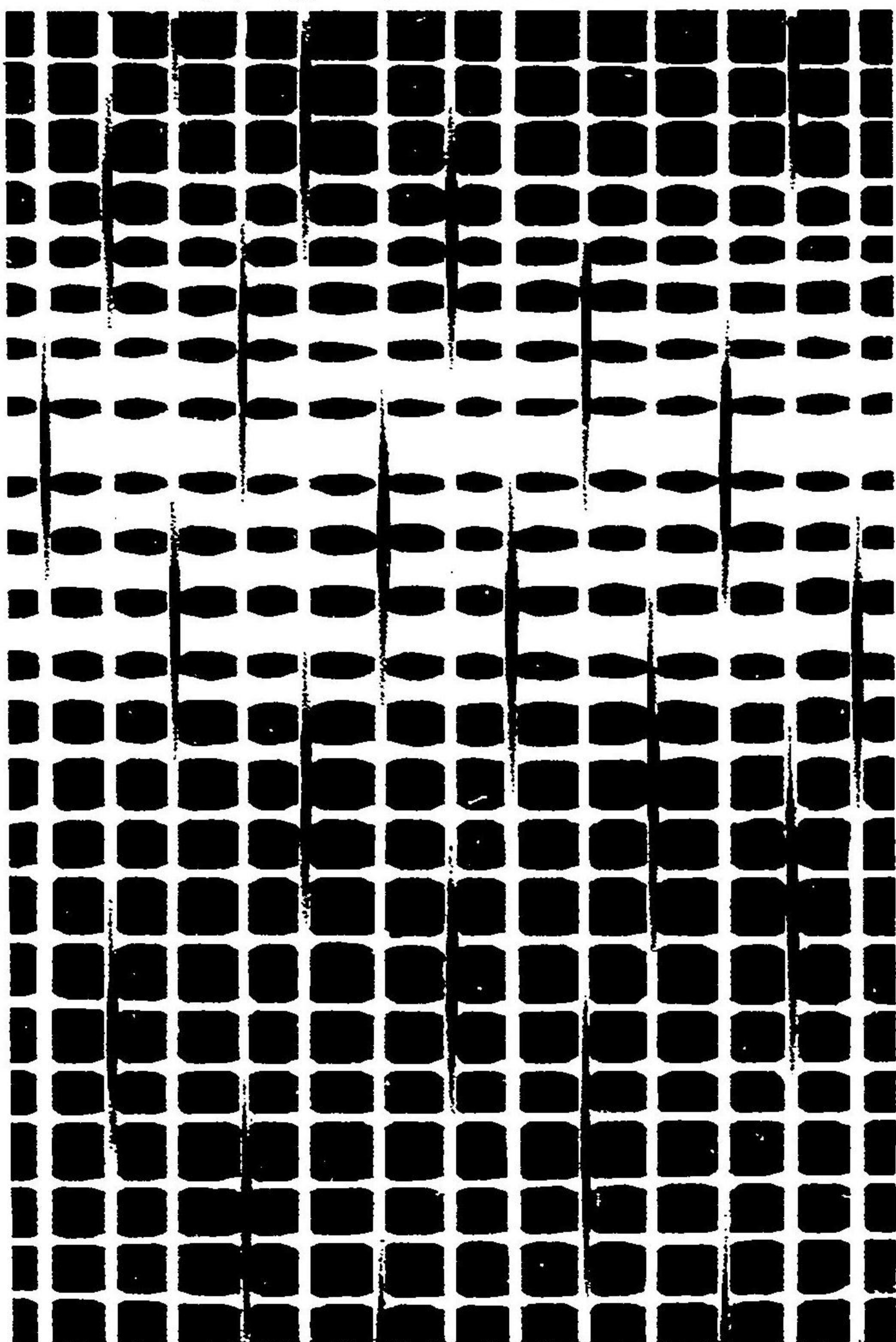
(寸 現) 召御通風入斯瓦



品出郎三久島川

縣木枋

(寸現) 織漸横縮縮召御野芳



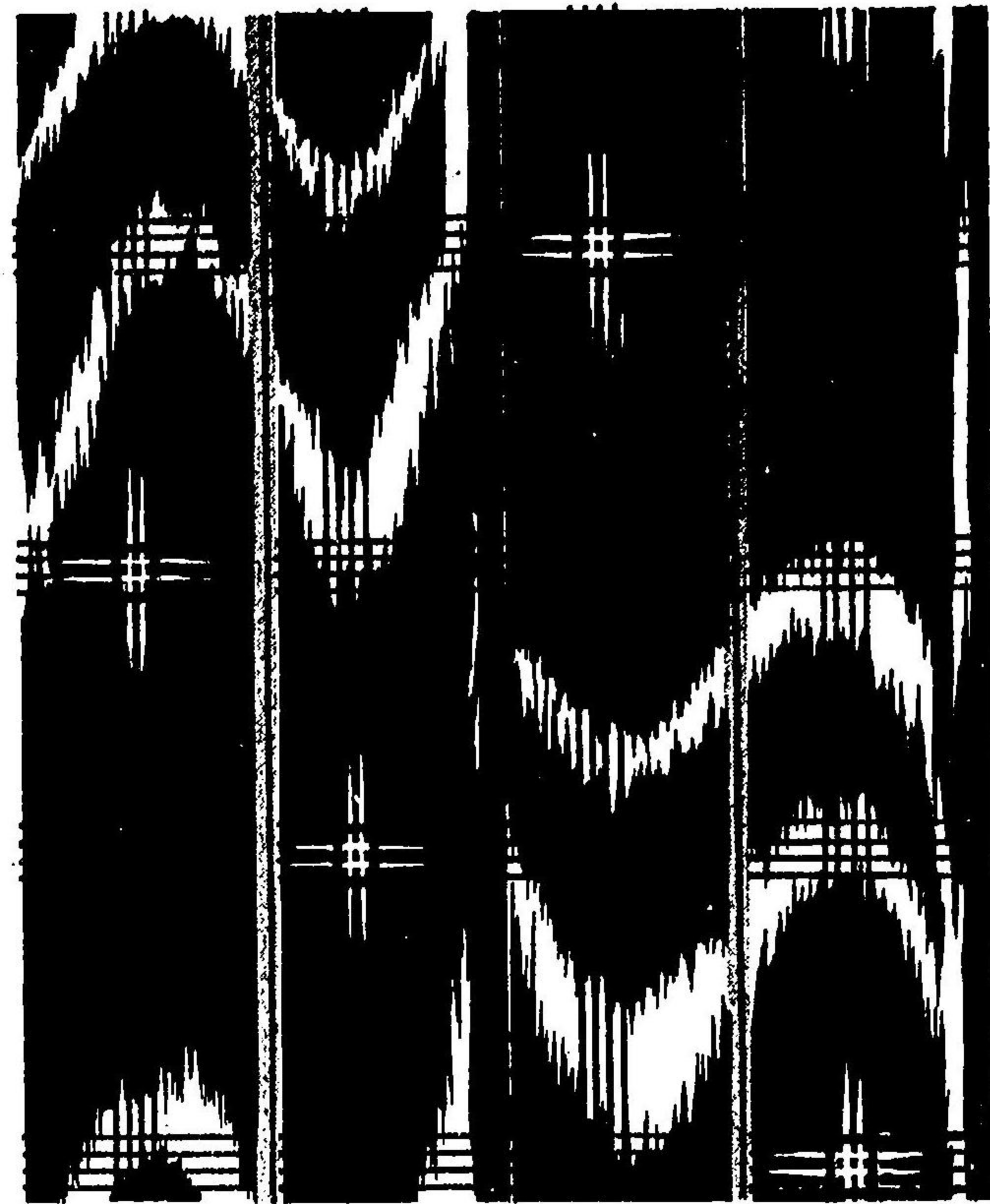
品出郎次徳村木 縣馬群

織壁



品出太久嘉保久大 縣湯新

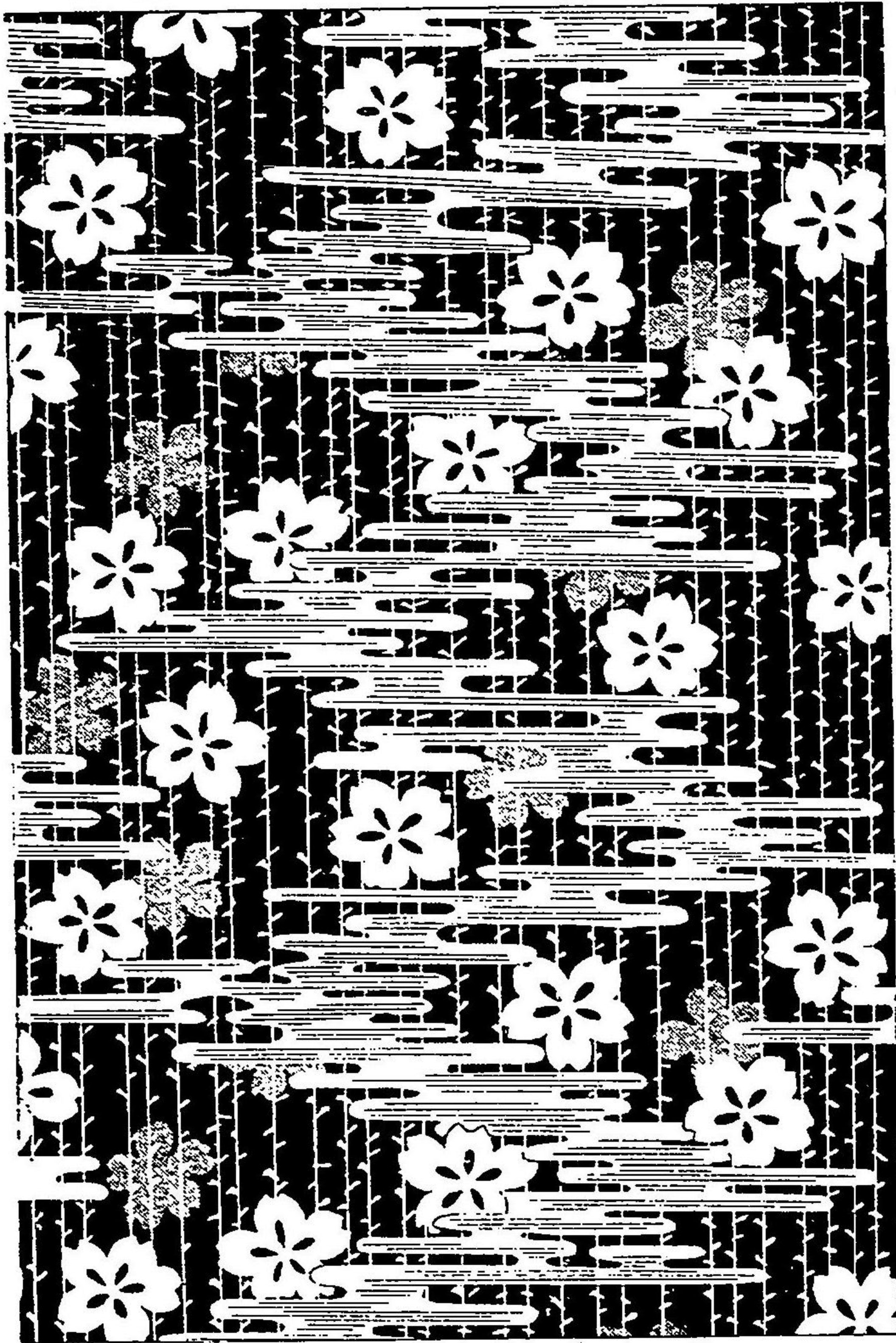
(圖縮一ノ分二) 緞 縮 召 御



品出郎三慶崎岩 縣馬群

(寸現)

通風



品出郎三忠田池

縣潟新

(寸現)

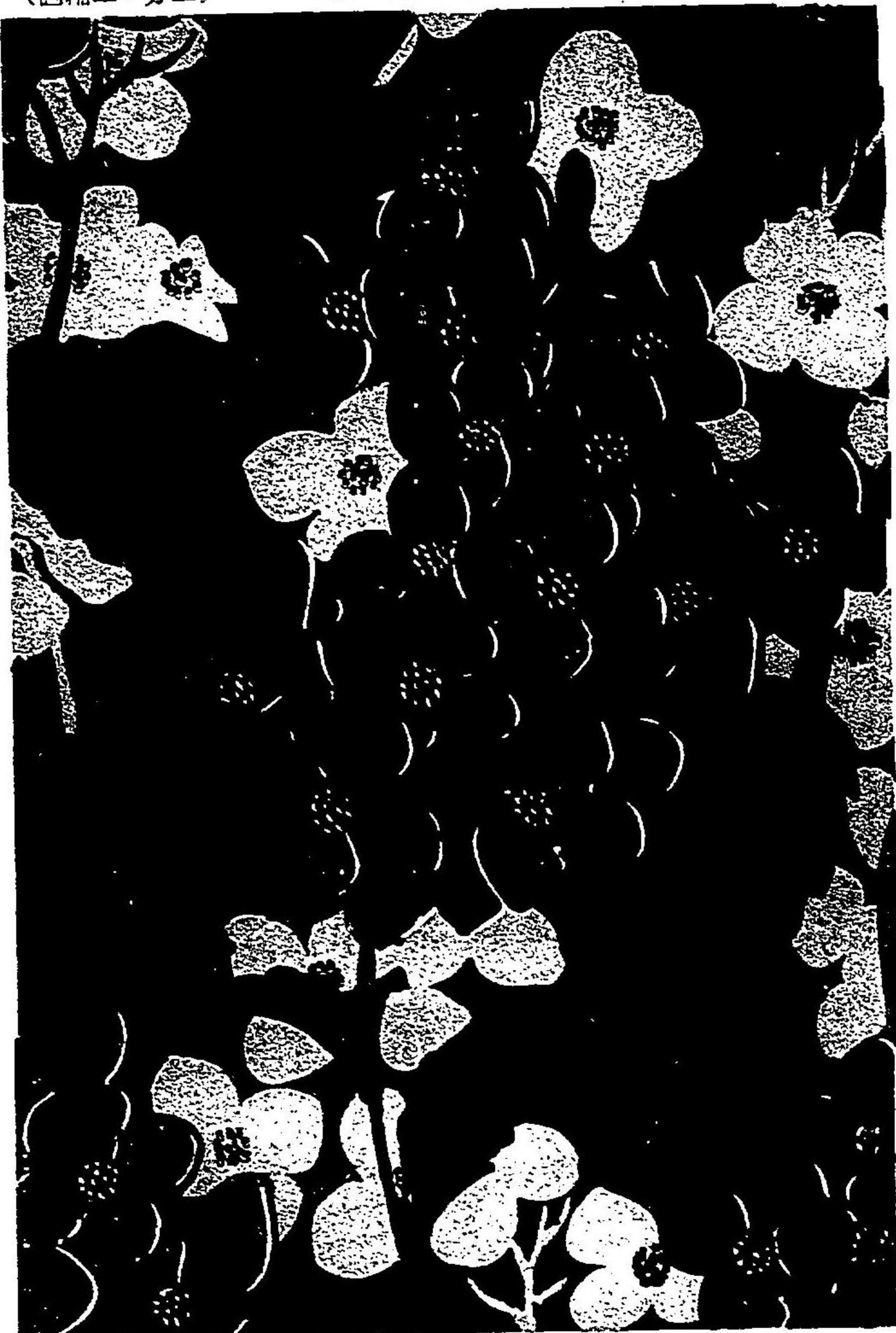
尺着夏通風波靜



品出吉郎四田井三

縣潟新

(圖縮二、分三) 地服洋織珀琥



品出七淺村木 縣木枋

(寸 現) 織通風尺着夏



品出門衛左庄本山 縣湯新

(圖縮一/分二)

地服洋人婦子緞



品出郎一嘉和增

府京東

地服洋人婦珍緞



品出七新田飯

府都京

(寸現)

地帶女幅廣通金純地黑



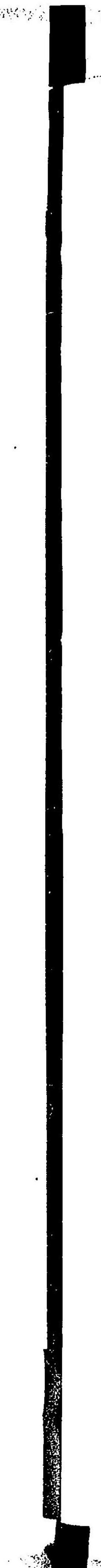
品出衛兵勘田上

府都京

(圖縮一ノ分十) 地團油翠綴



品出店服吳合十 府都京



(圖縮一ノ分五) 張子椅織子緞



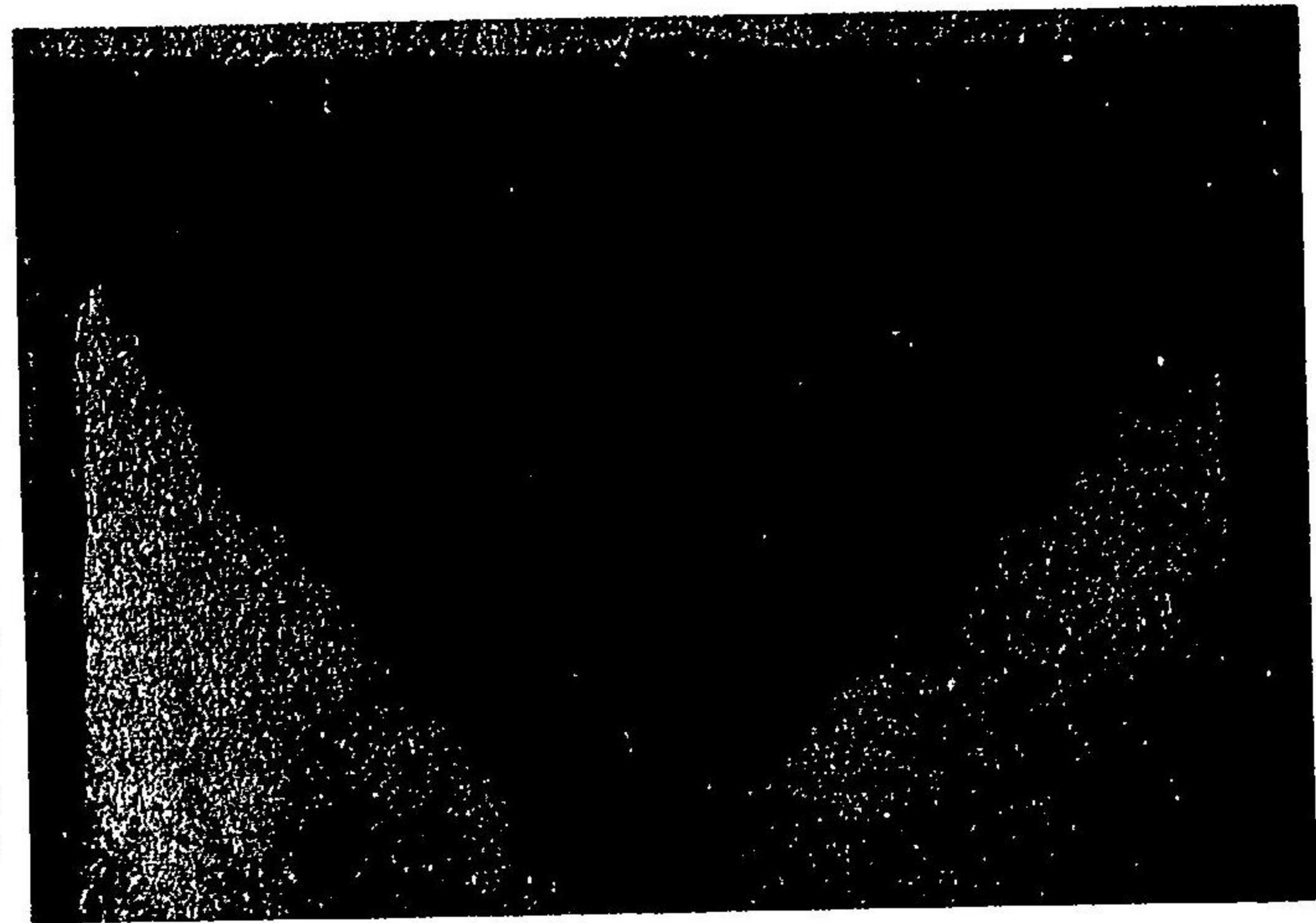
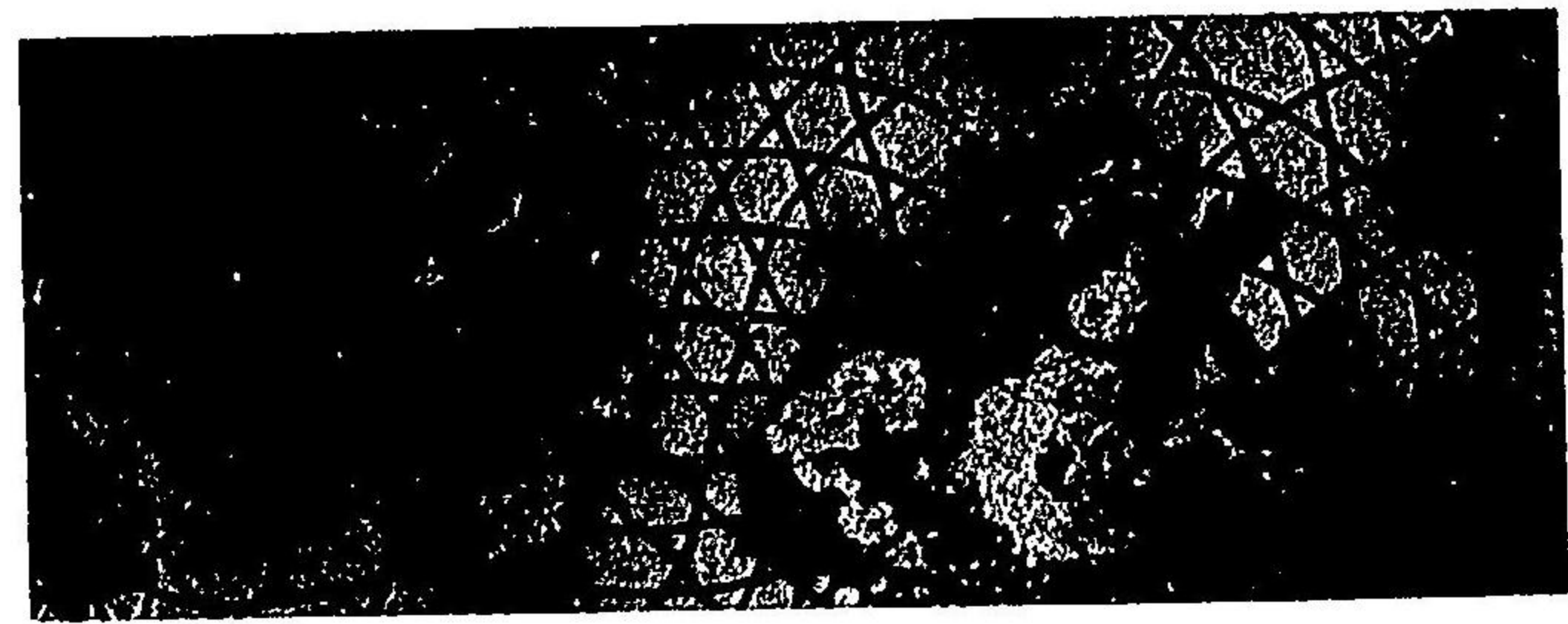
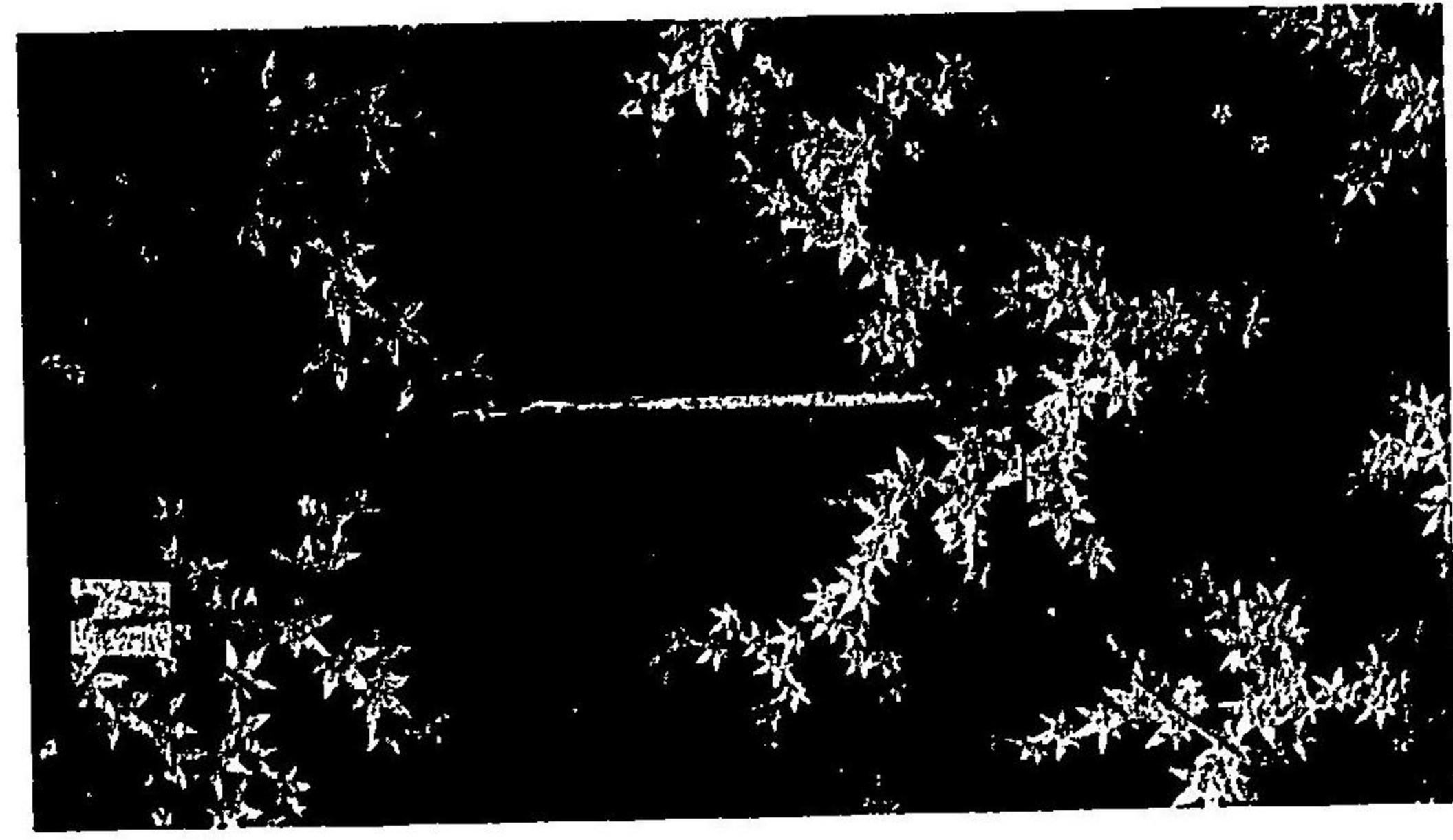
品出社會資合物織島川 府都京

綿 綴 通



大阪府

坂野佐吉出品



京都府 高山與三吉出品

仙友掛子卓瀬鹽壁

京都府 西村總左門衛出品



天 鷺 絨 友 仙 屏 風

仙友シリーズ



品出七宗村植

府阪大

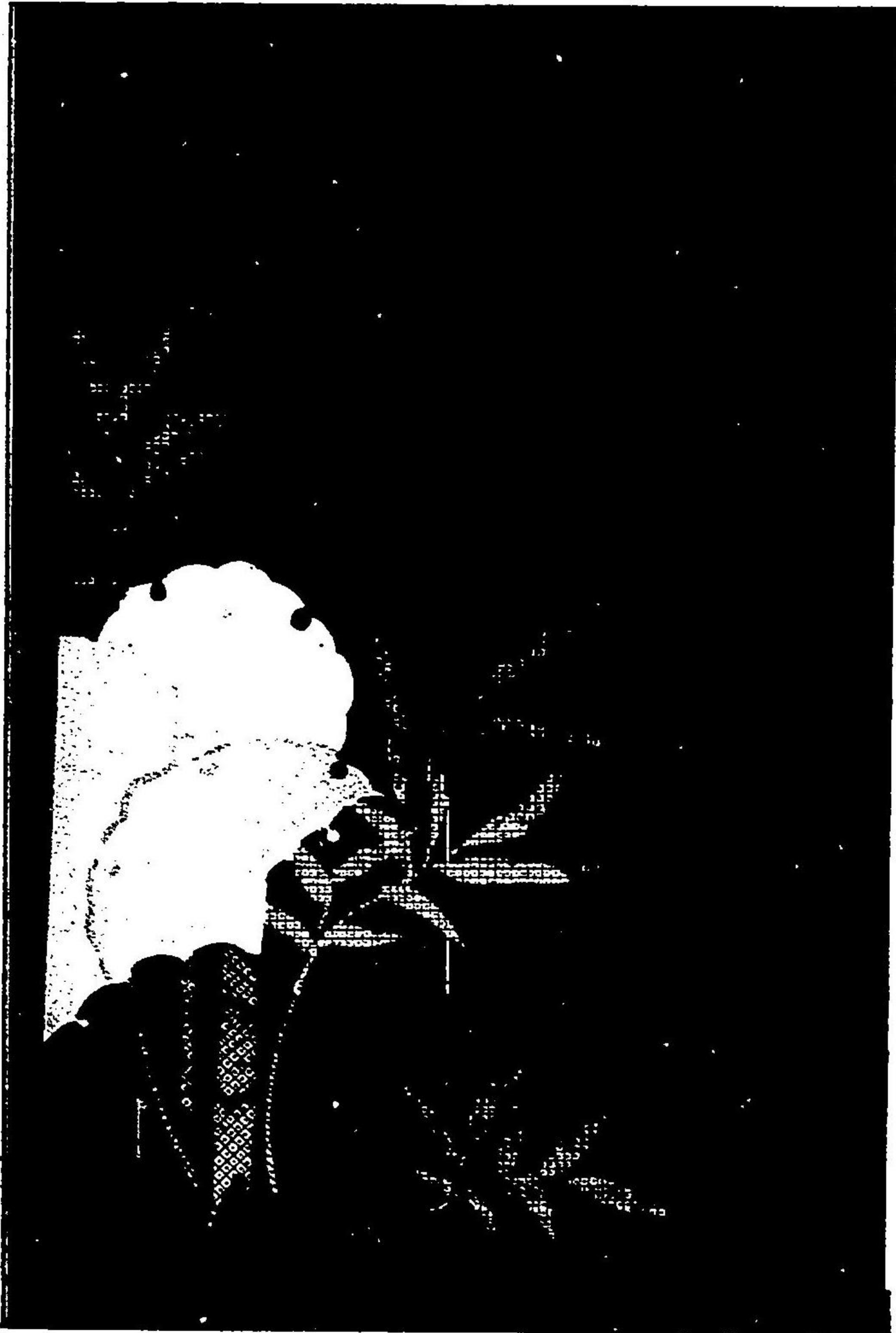
(縮一ノ分四) 仙友シリーズ



品出造代千島岡

府阪大

尺 着 重 二 羽



品出門衛左嘉本森 府都京

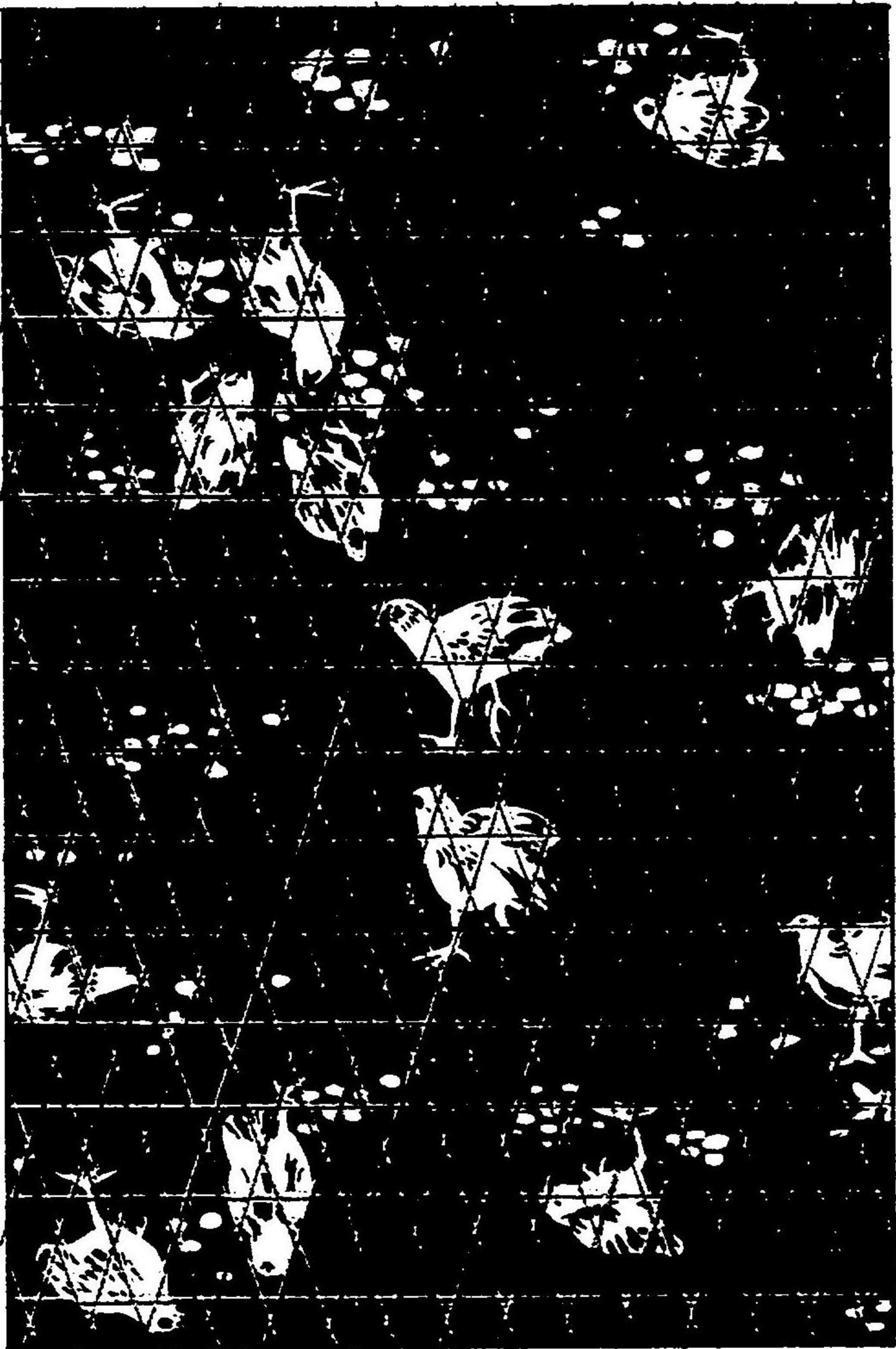
(圖縮一ノ分五) 仙友曙シリスモ



品出郎三新川堀 府都京

(圖縮一/分四)

染仙友入紅縹縮

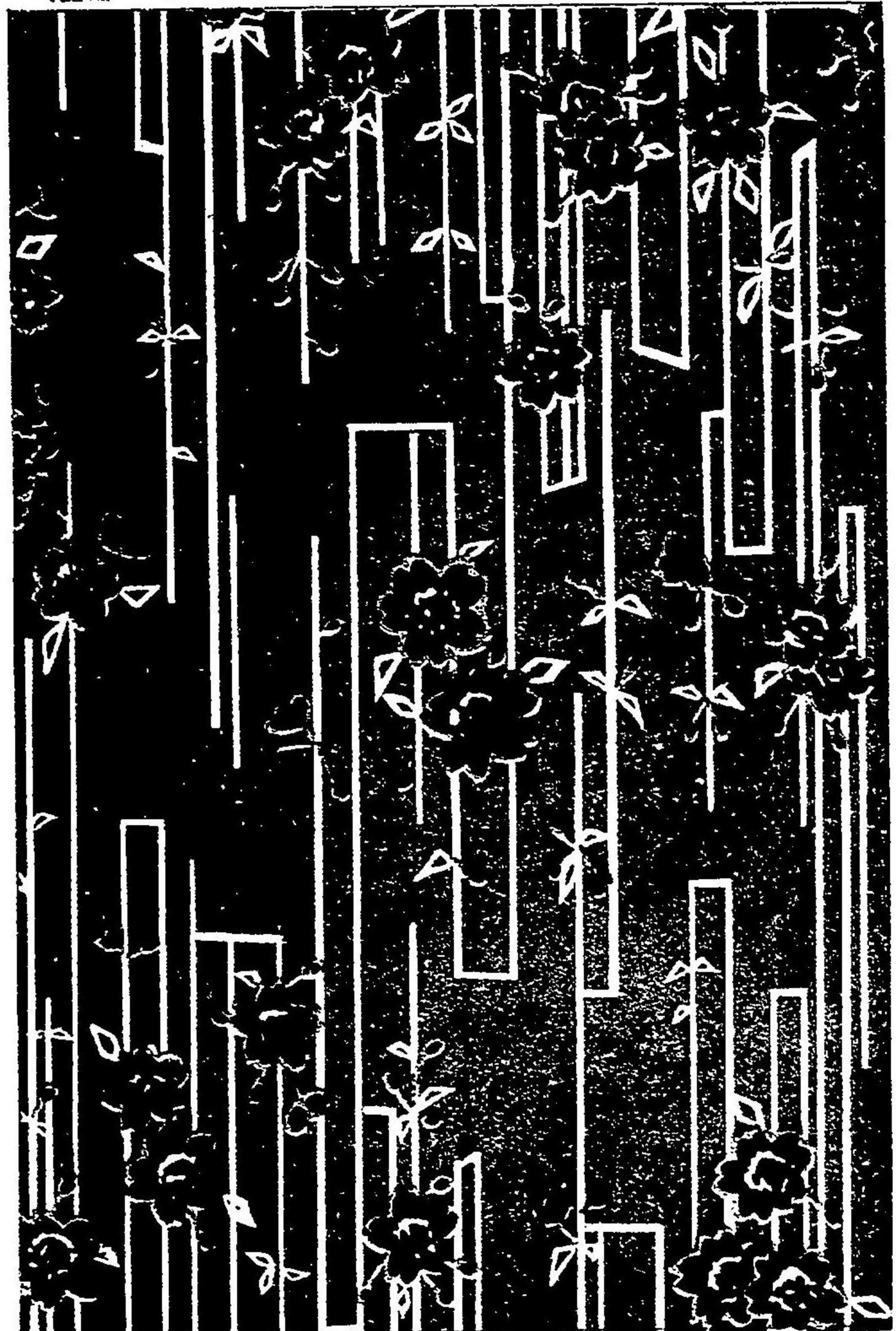


品出衛兵治村西

府都京

(圖縮一/分四)

染仙友幅中織旭



品出衛兵甚島川者表代會明發染織府都京

(圖縮一ノ分三)

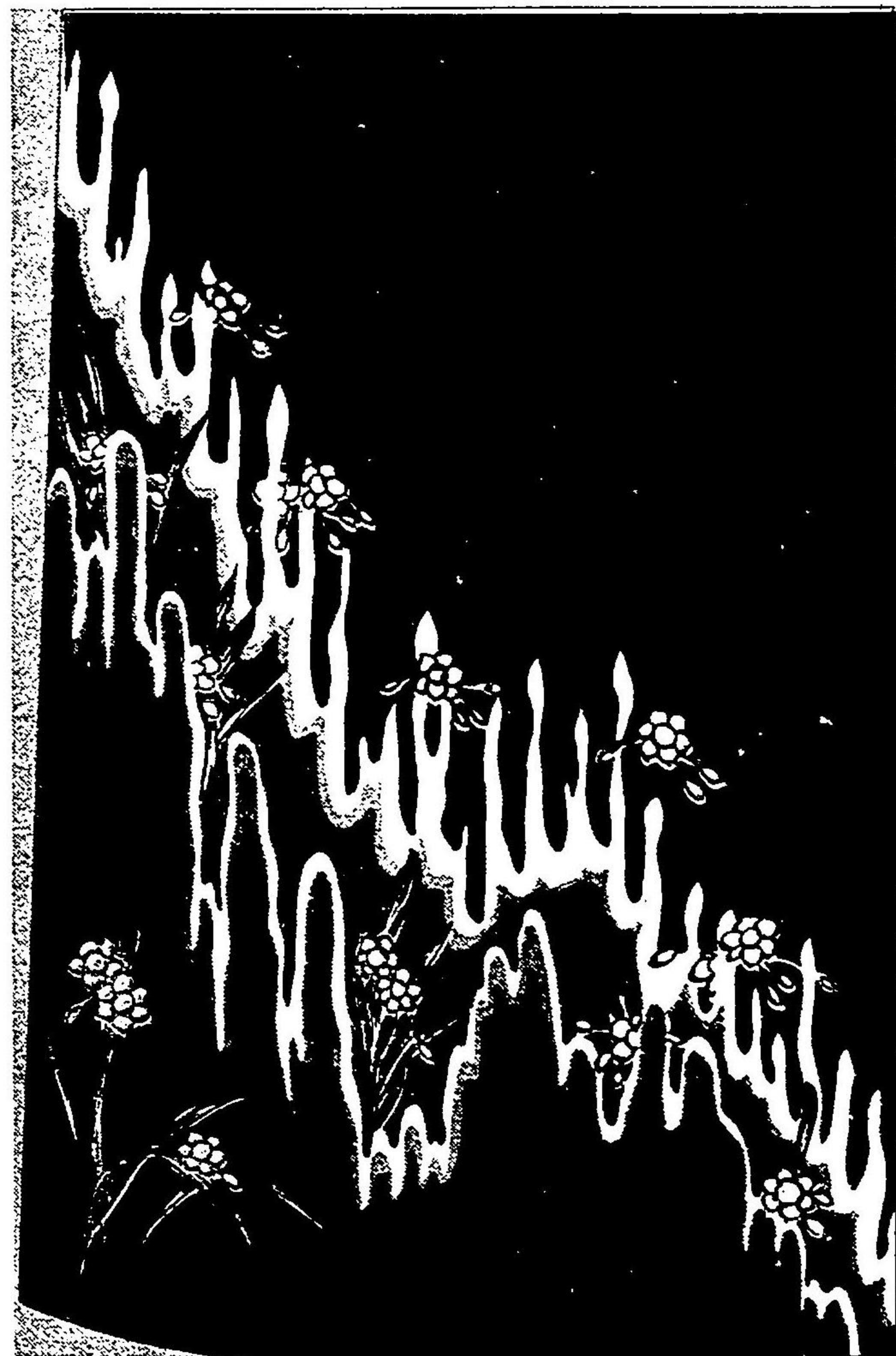
仙友緇縮



品出衛兵治村西

府都京

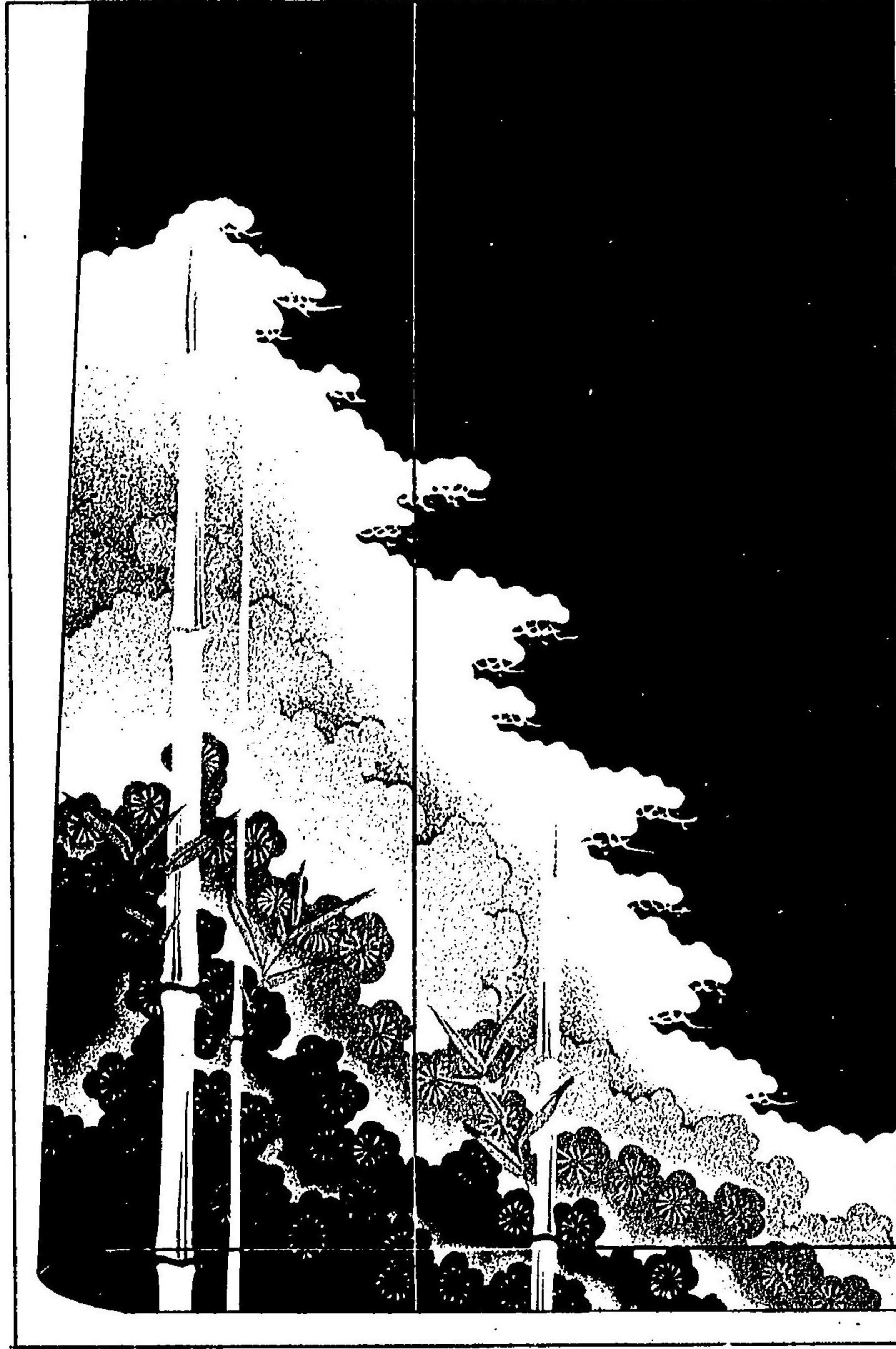
様模裾染仙友重二羽紋



品出門工左喜本塚

府都京

繡刺葉竹様模裾仙友重二羽紋



品出衛兵嘉田澤

府都京

(圖縮一ノ分四) スール羽上ノ蝶 仙友用應スール



品出衛兵伊岡廣

府都京

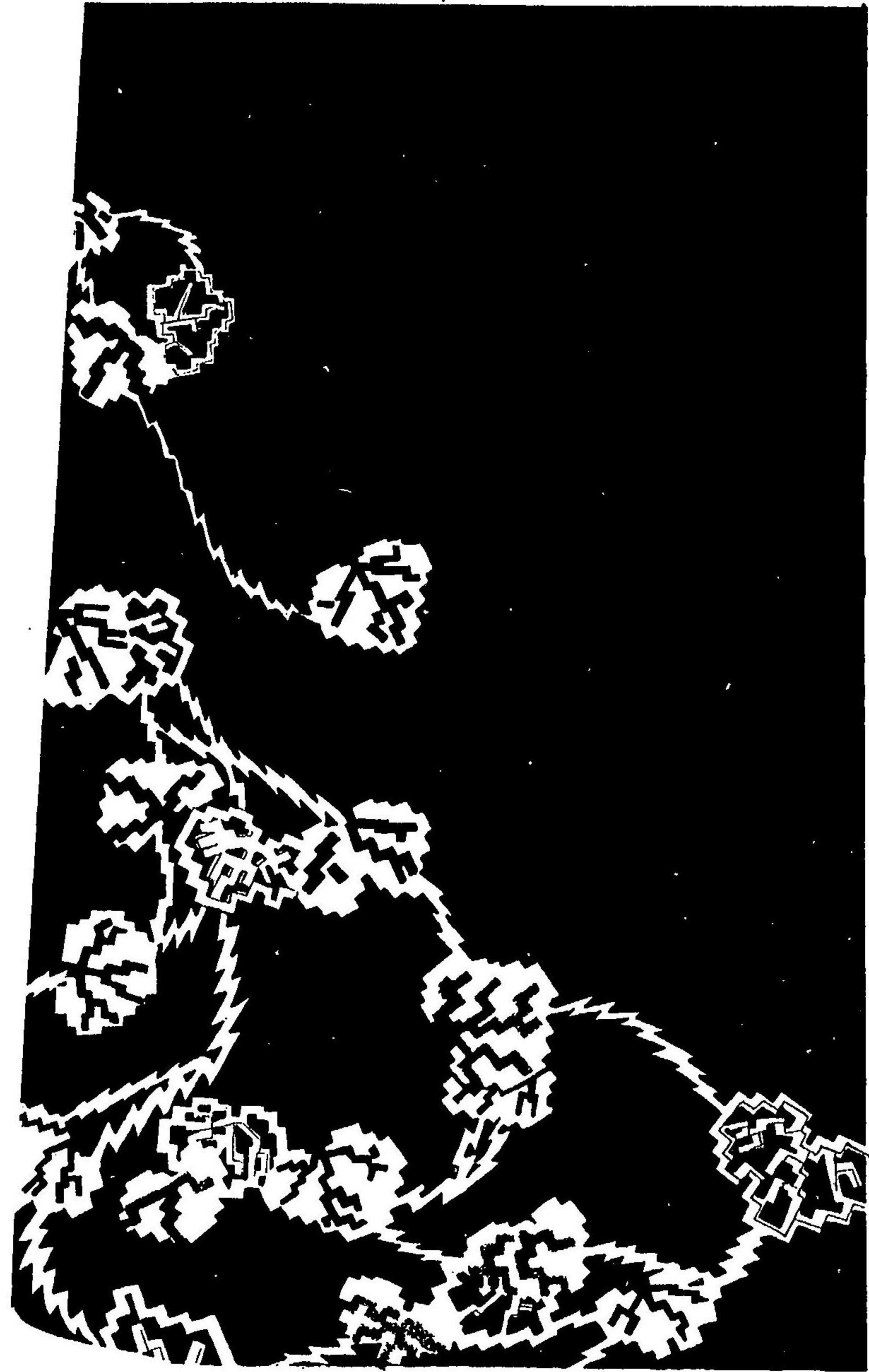
(圖縮一ノ分四) 仙友織旭



品出衛兵甚島川

府都京

縮緬裾模様



中島三太郎出品

京都府

縮緬長襦袢



大坂府 久保彦兵衛出品

(圖幅一ノ分四)

丹後並幅縮緬友仙中柄

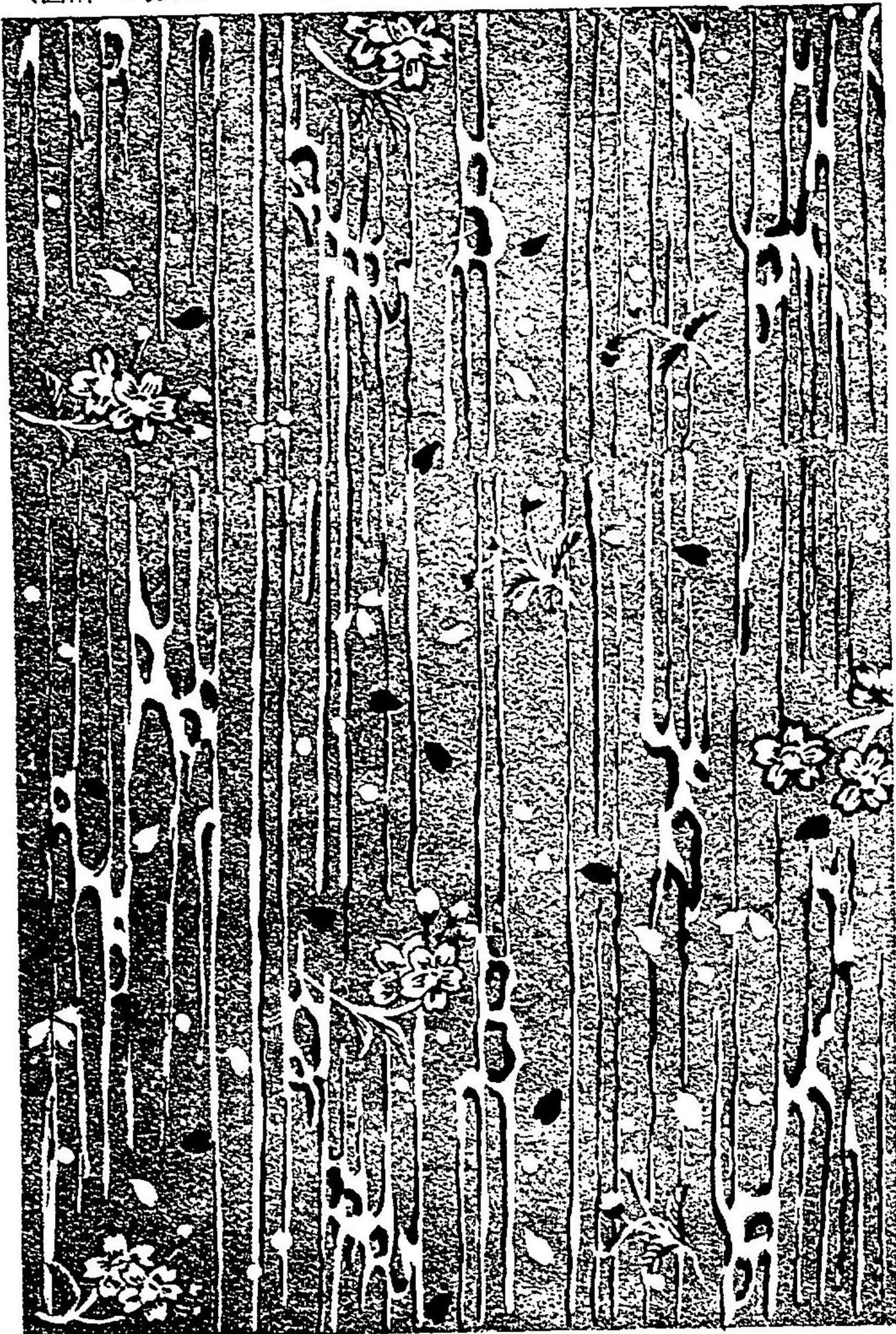


染物組友仙部出品

京都府

(圖縮一ノ分四)

仙友シリスモ

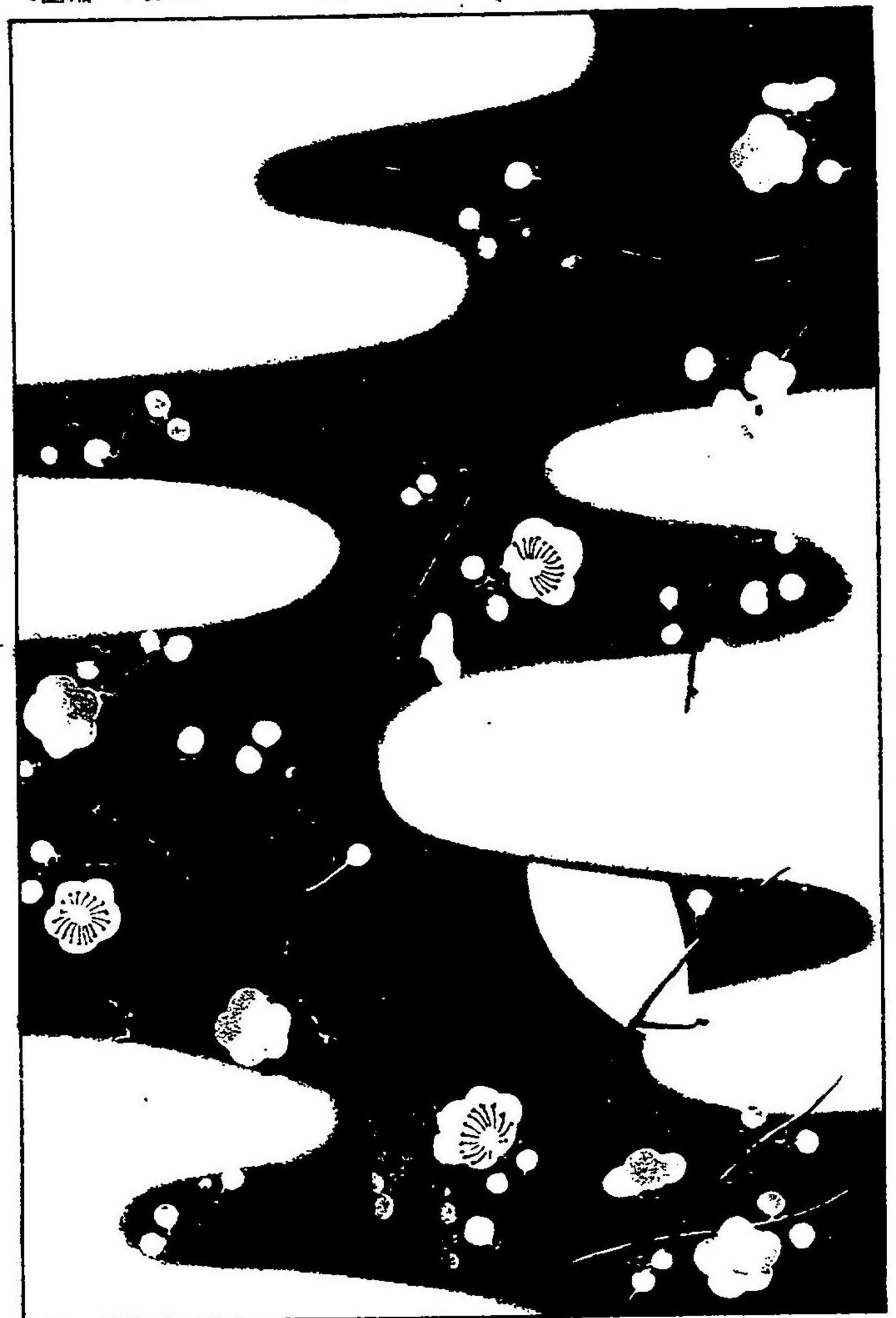


品出助榮井中

府都京

(圖縮一ノ分三)

仙友 緞縮

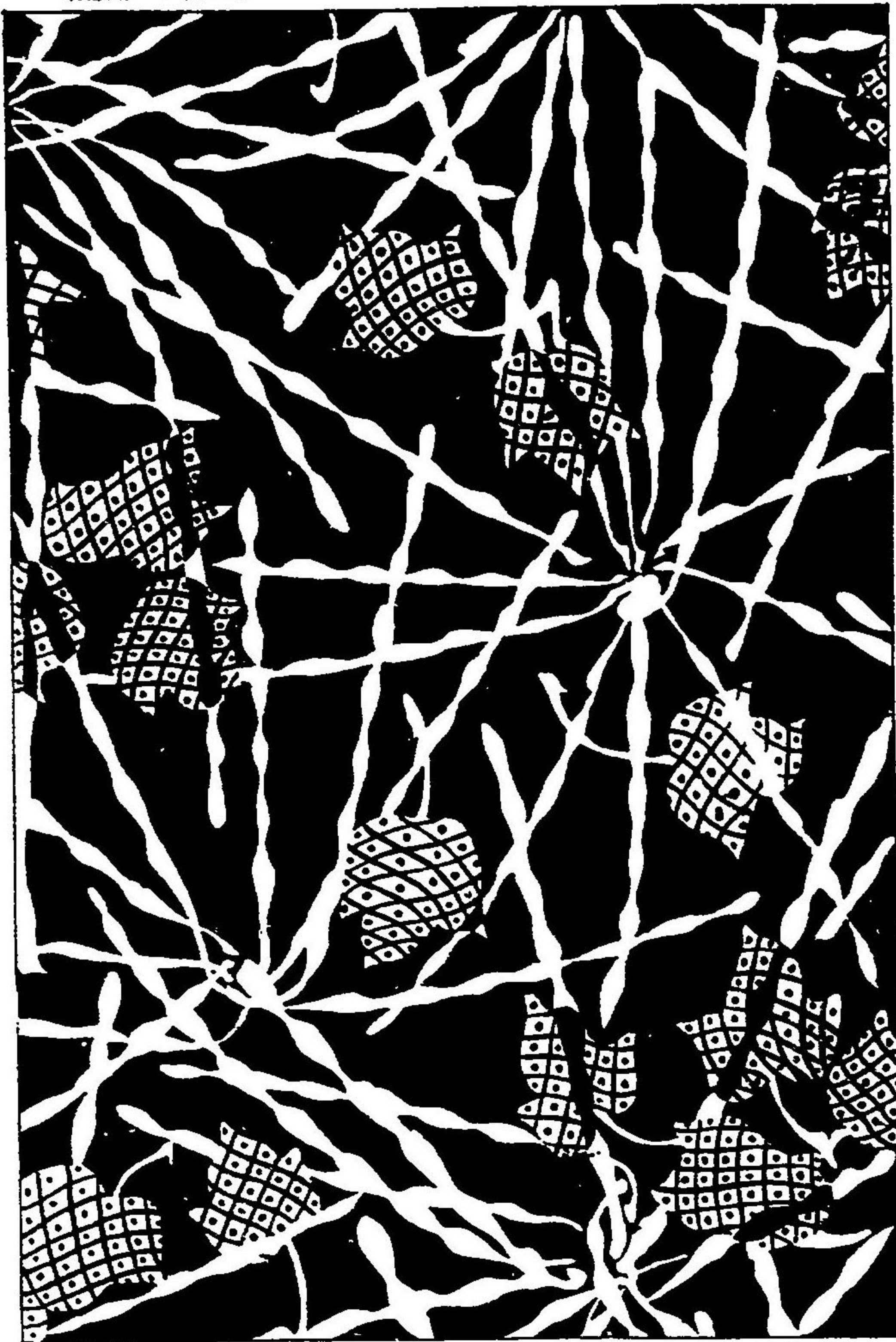


品出郎太正村下

府都京

(圖縮一ノ分三)

地衣浴形中新瓦



品出社會名合村中

府京東

染 拭 手



品出助要西稻

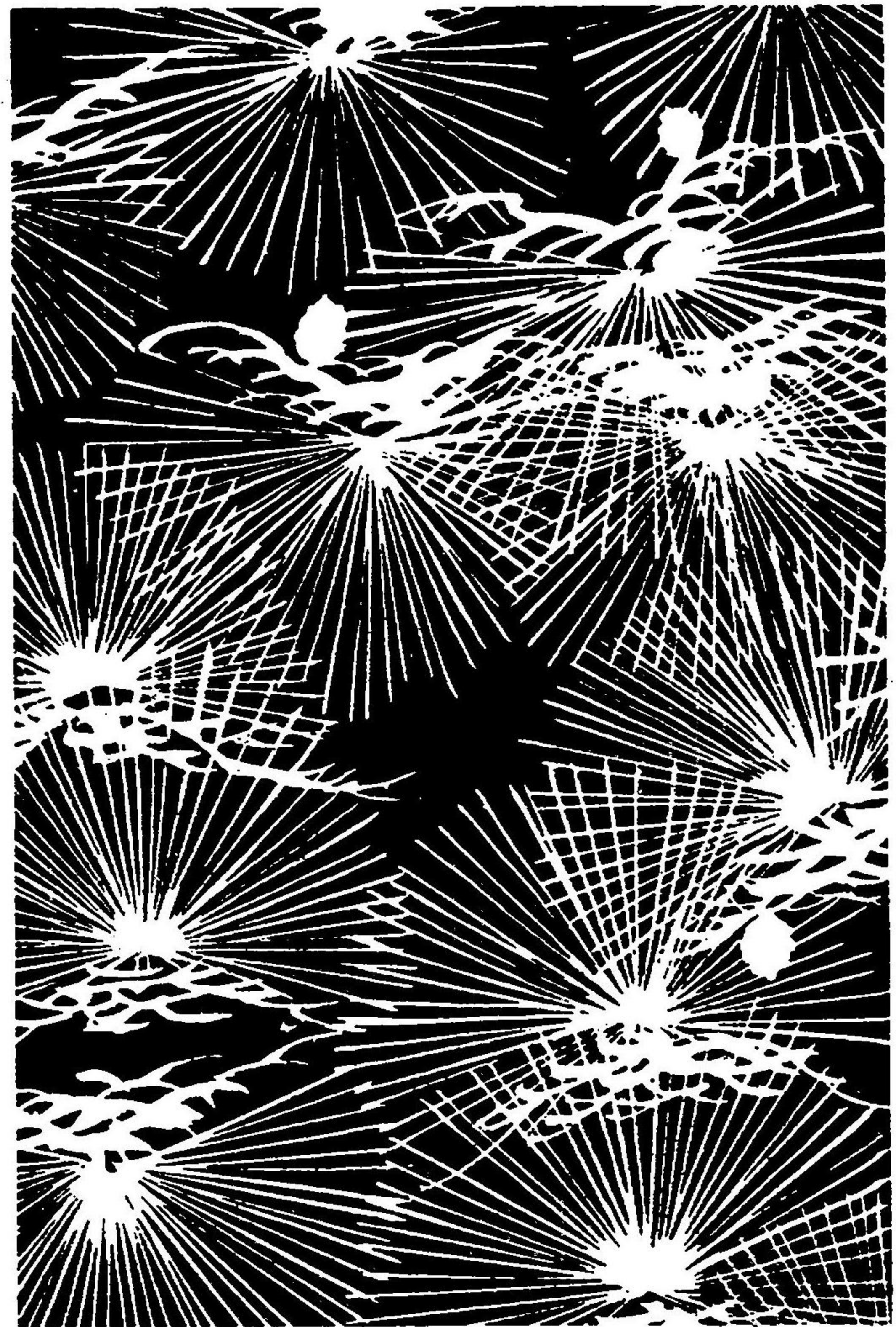
府阪大

地衣浴



品出七兼田前 京 東

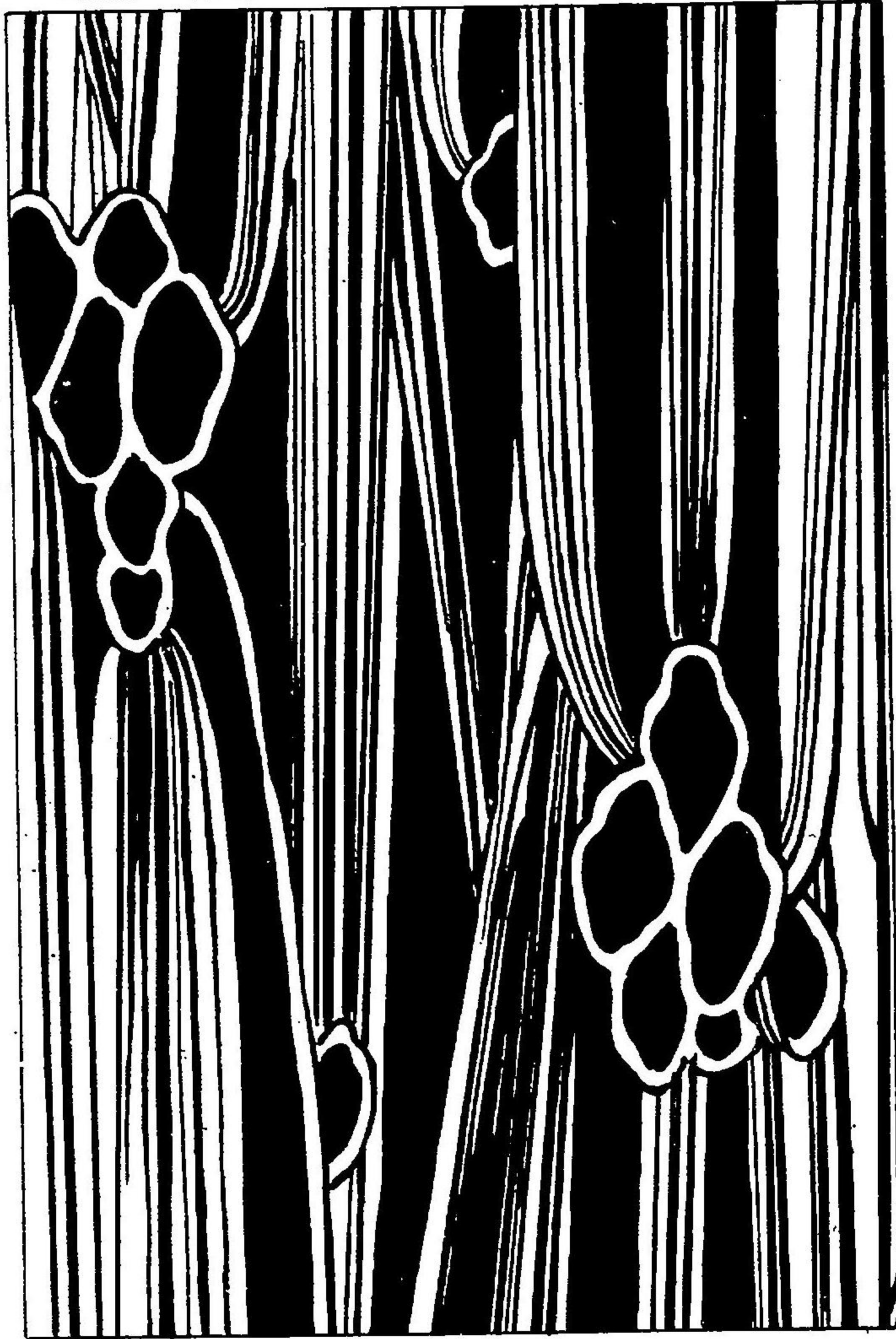
(圖縮一ノ分三) 形 中 縮



品出衛兵宗野坊 府 京 東

(圖幅一ノ分三)

地衣浴

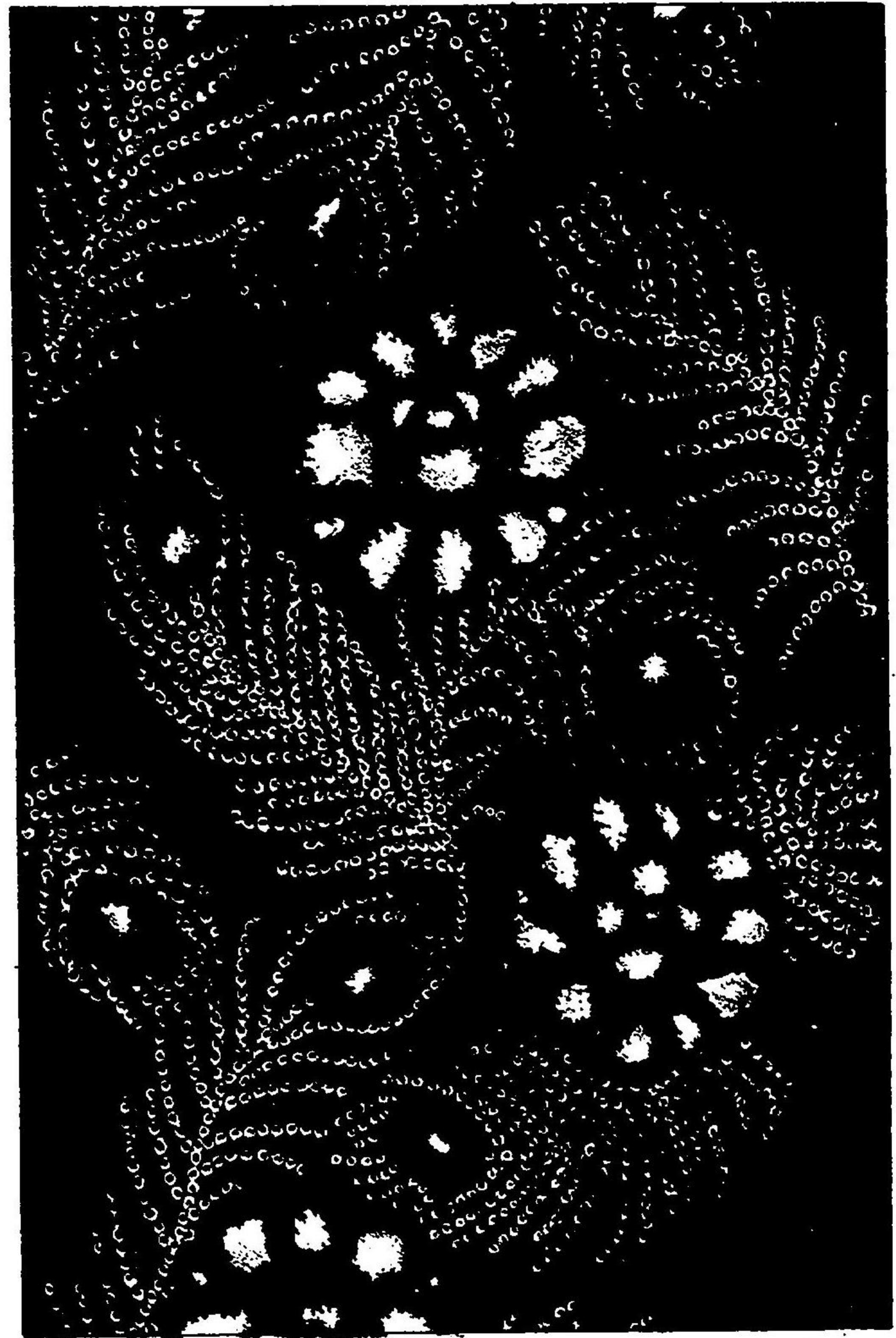


品出郎次正田岡

京東

(圖幅一ノ分四)

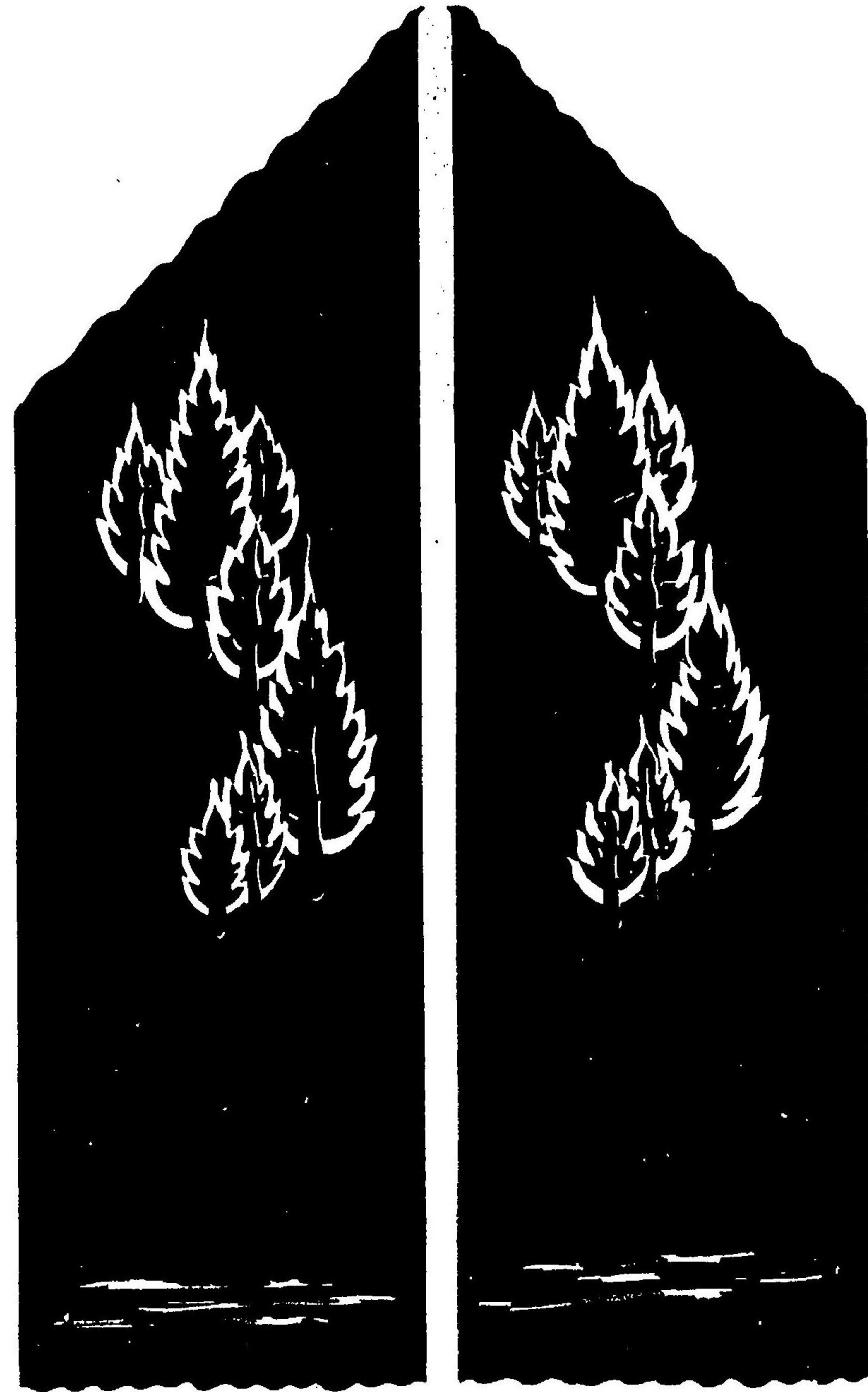
絞花紺總



品出門衛左伊田久

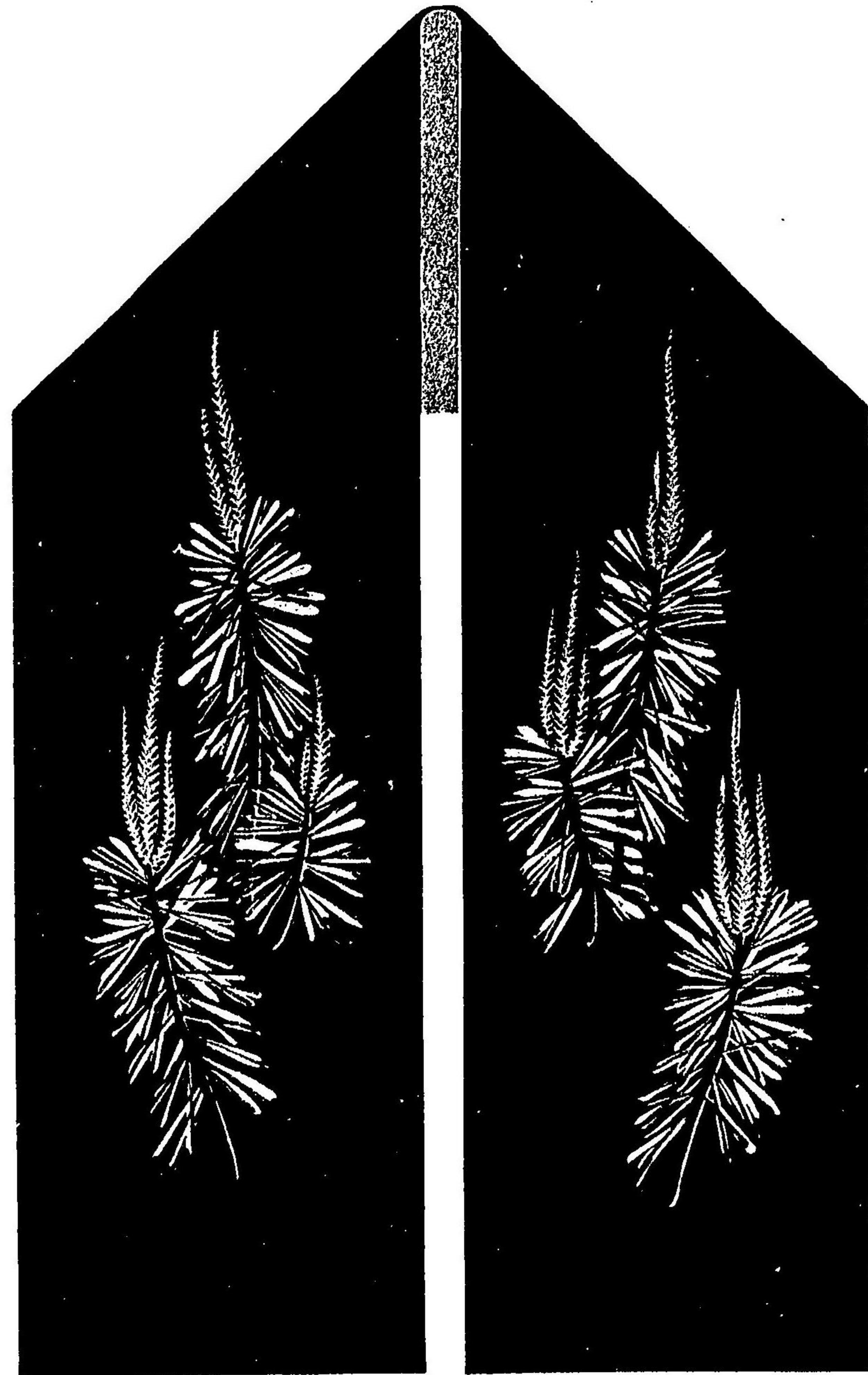
縣知愛

襷 半 緋 刺 緋 縮 老 養



品 出 助 儀 本 宮 府 都 京

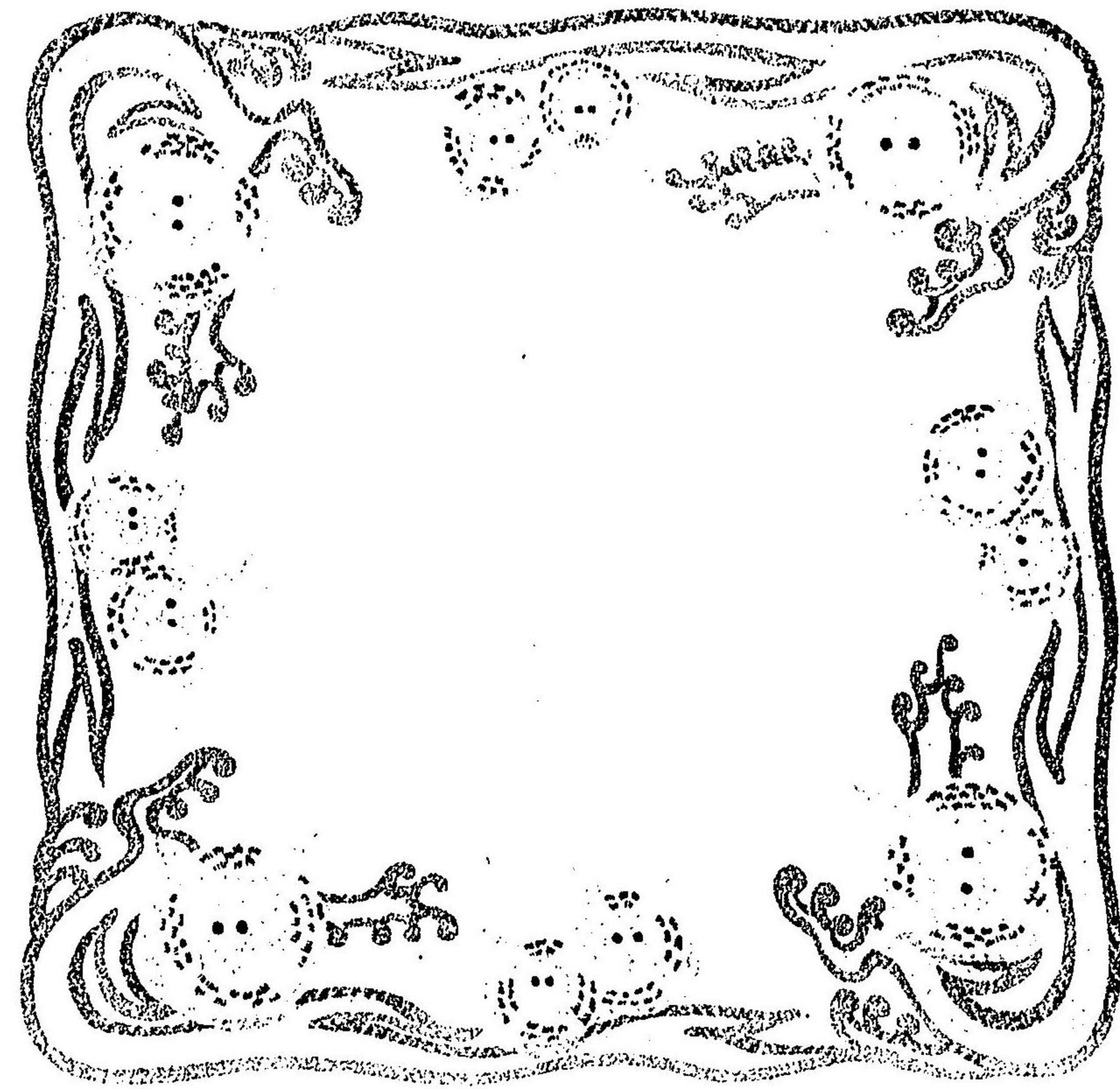
縮緬刺繡半襟



小川嘉兵衛出品

大阪府

(圖縮一ノ分三) フーチカンハ繡刺



品出衛兵儀西中 府京東

地 崇半繡刺



品出郎次正部岡都京

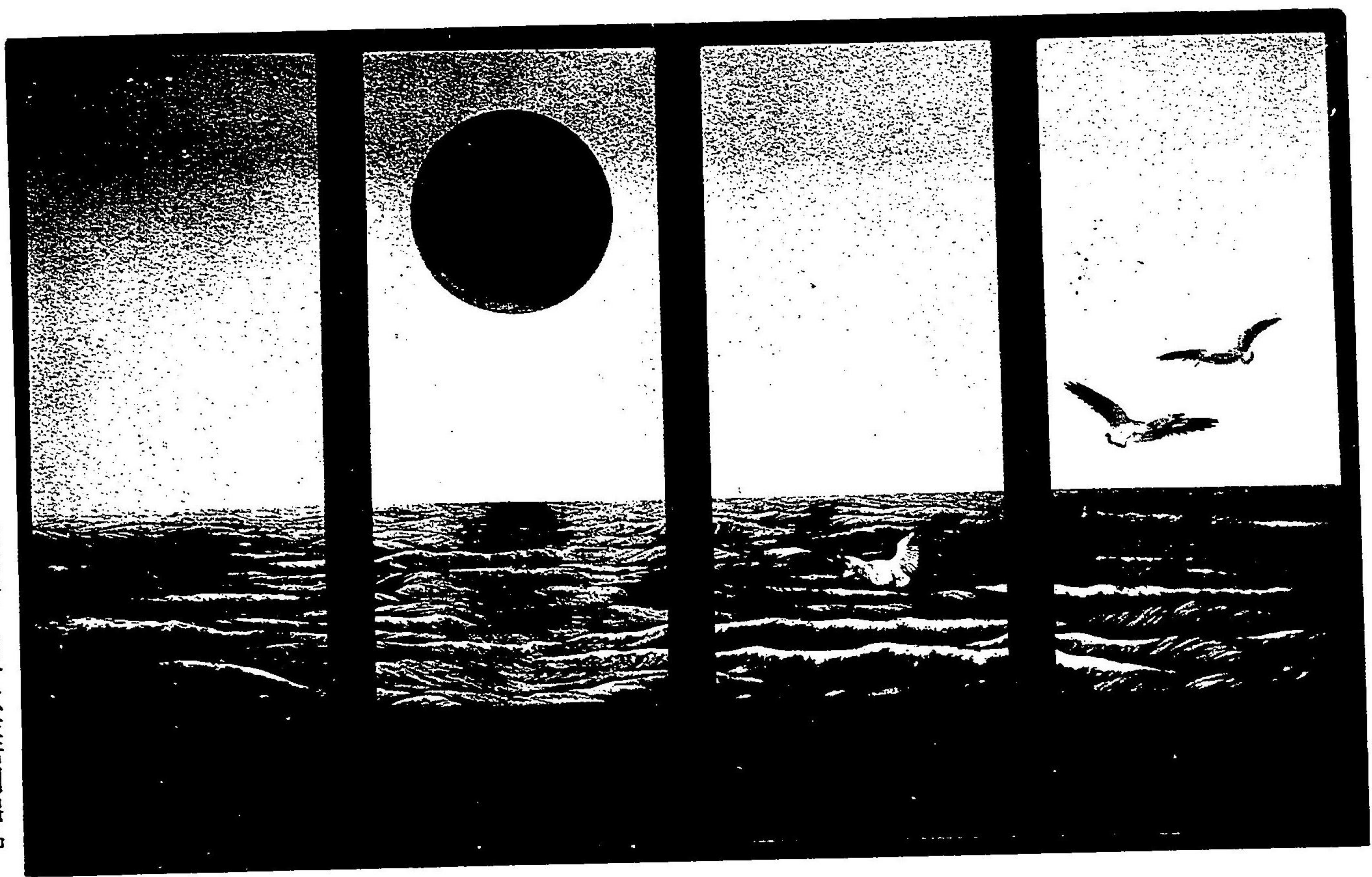
(→同右左様模)

襟半繡刺



品出衛兵半田和

府阪大

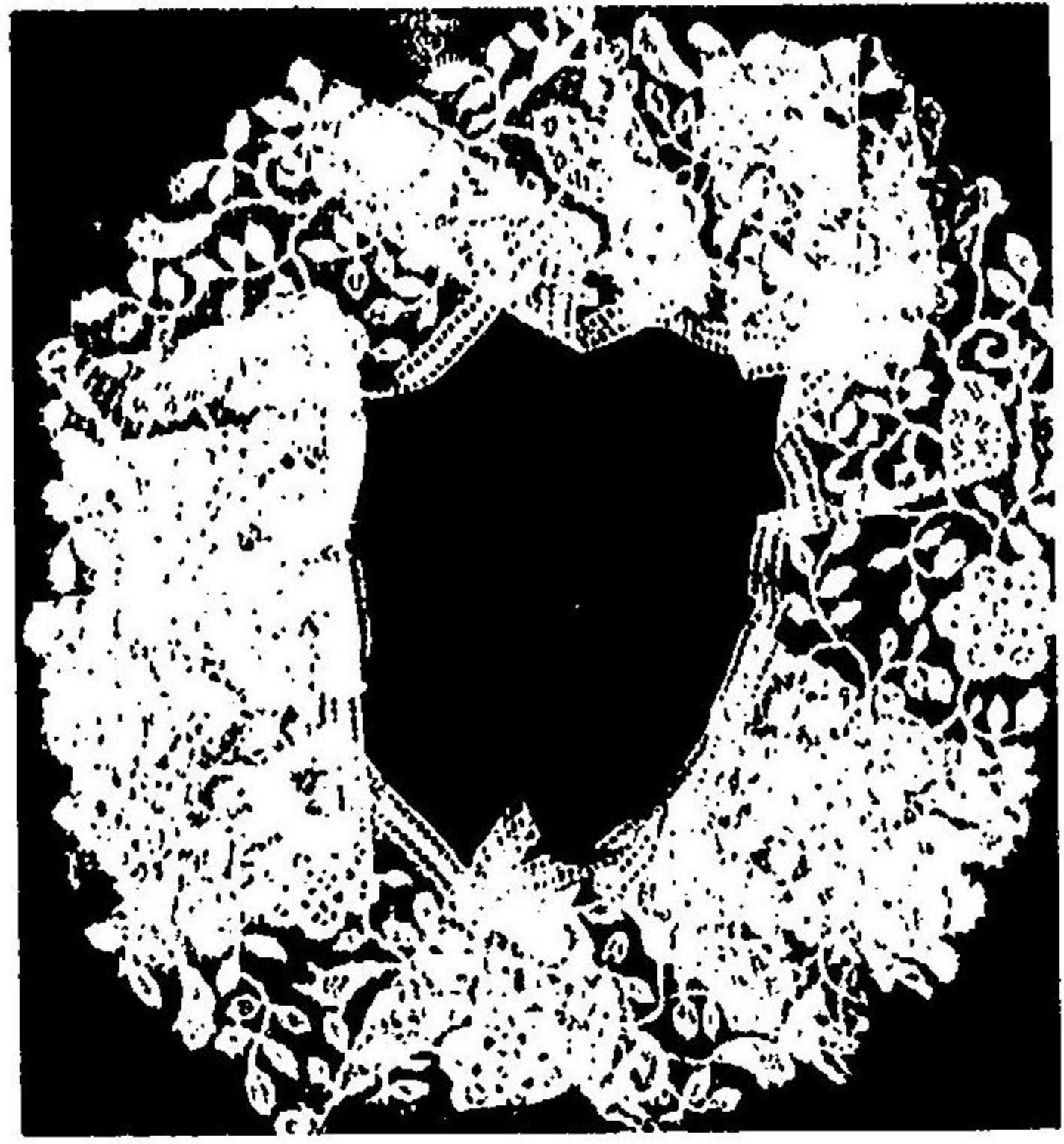


京都府 西村總左衛門出品

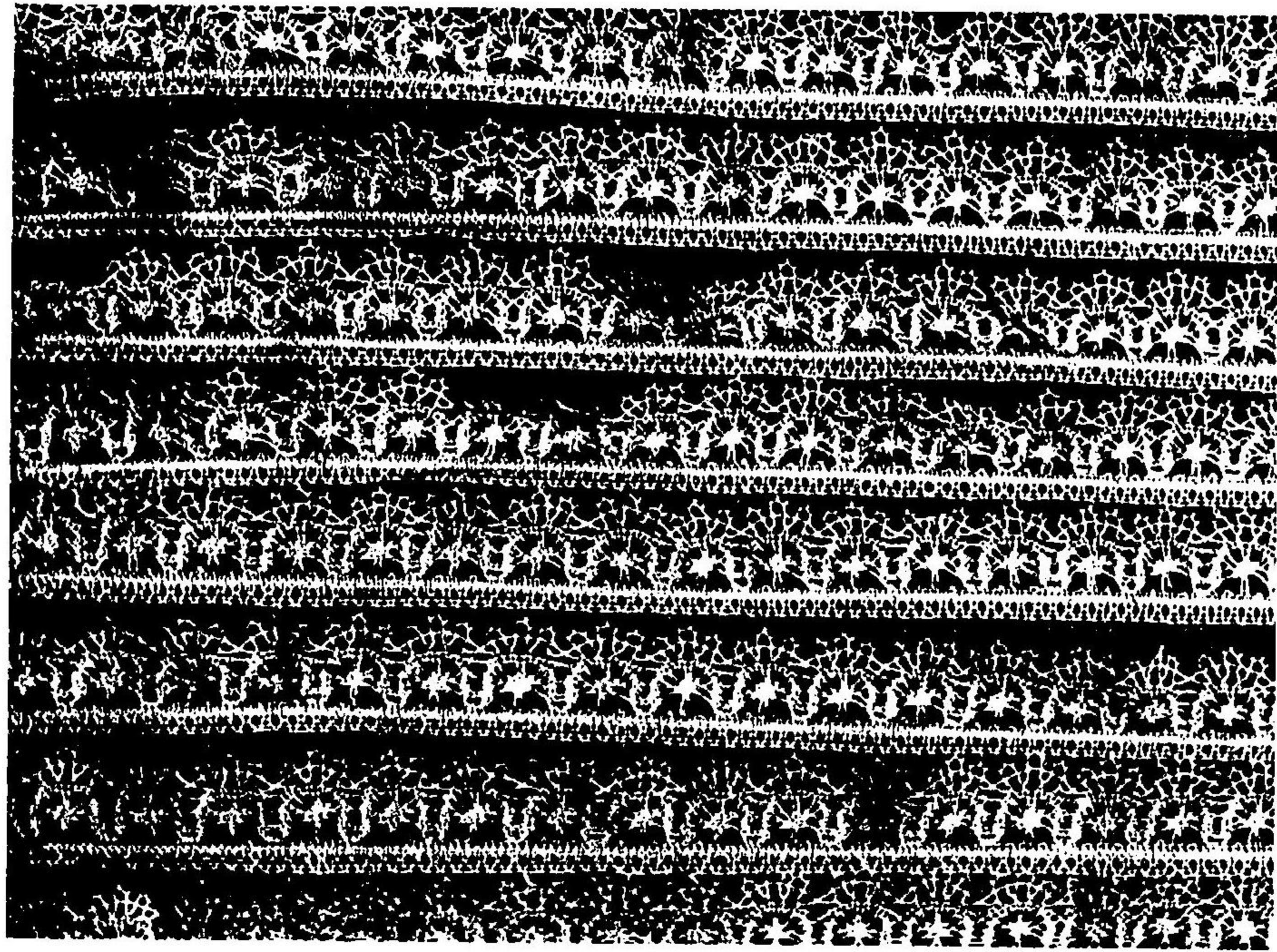
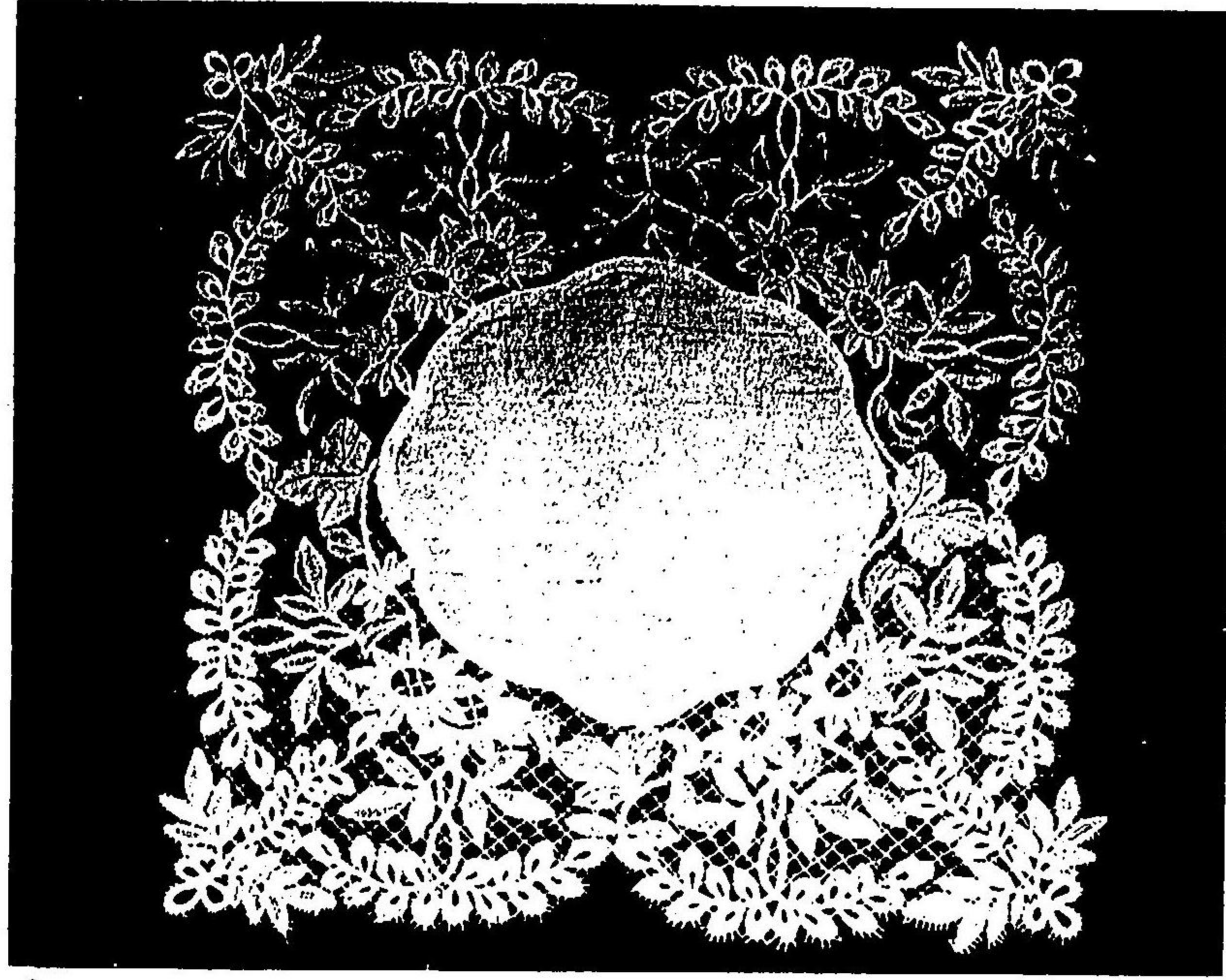
刺 繡 屏 風



京都府 岡本ウノ出品

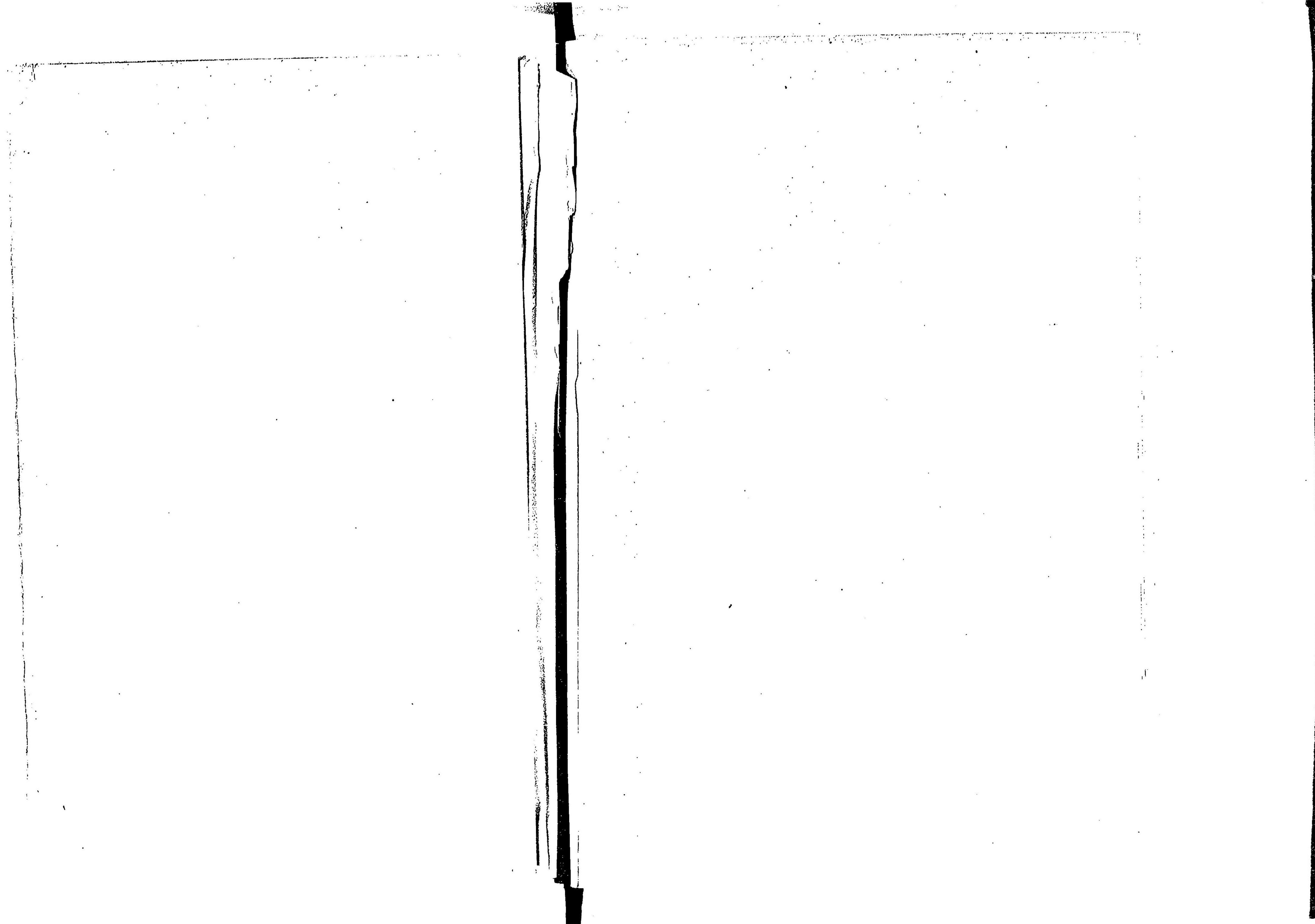


京都府 小暮毛ト出品









官廳出品

器

磁

陶

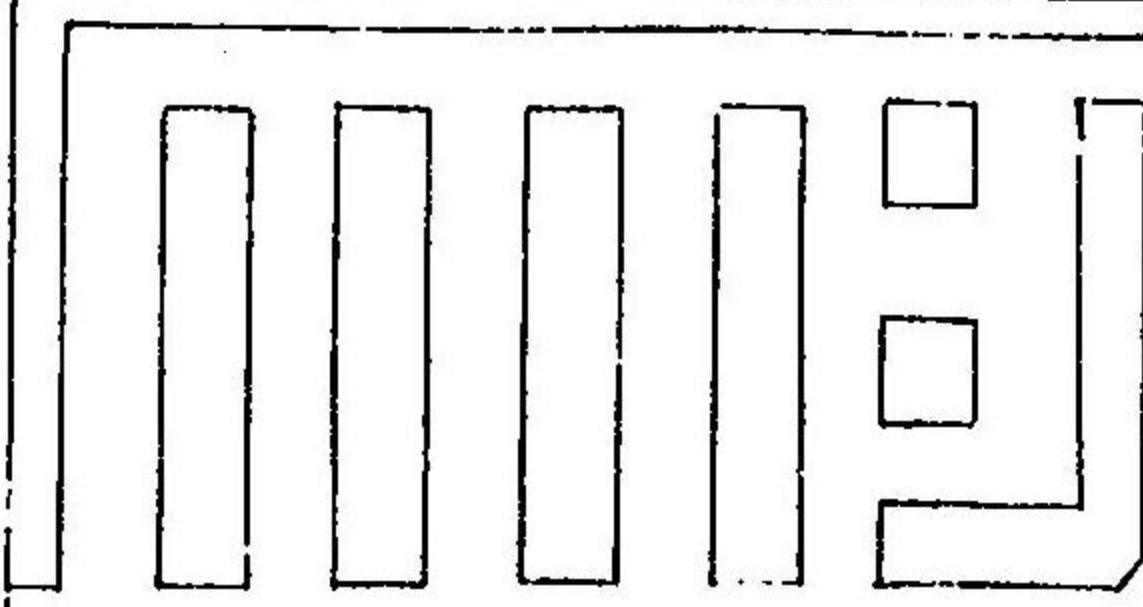
塗

物

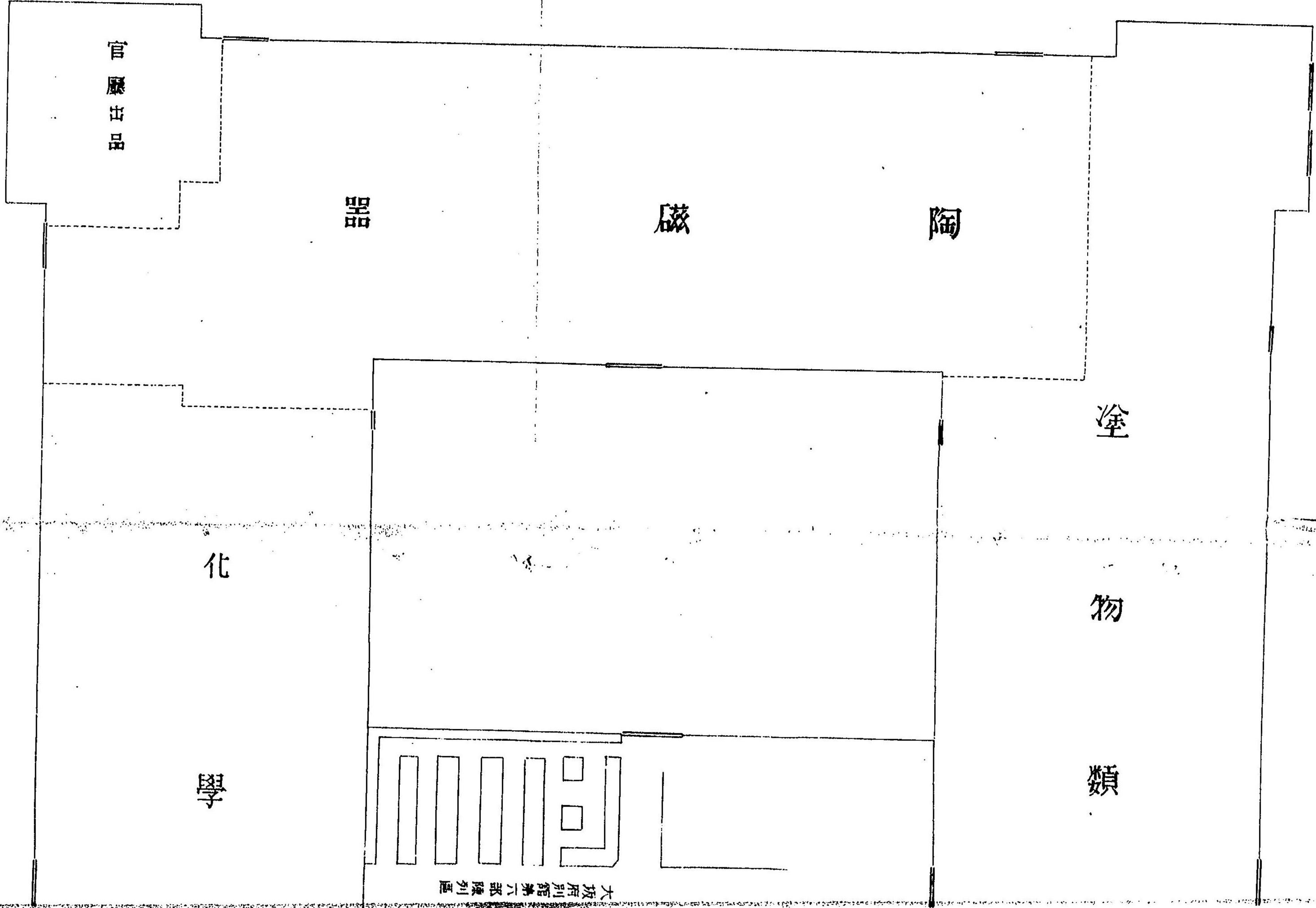
類

化

學



大坂府別館第六部陳列室



物

類

作

製

化

學

工

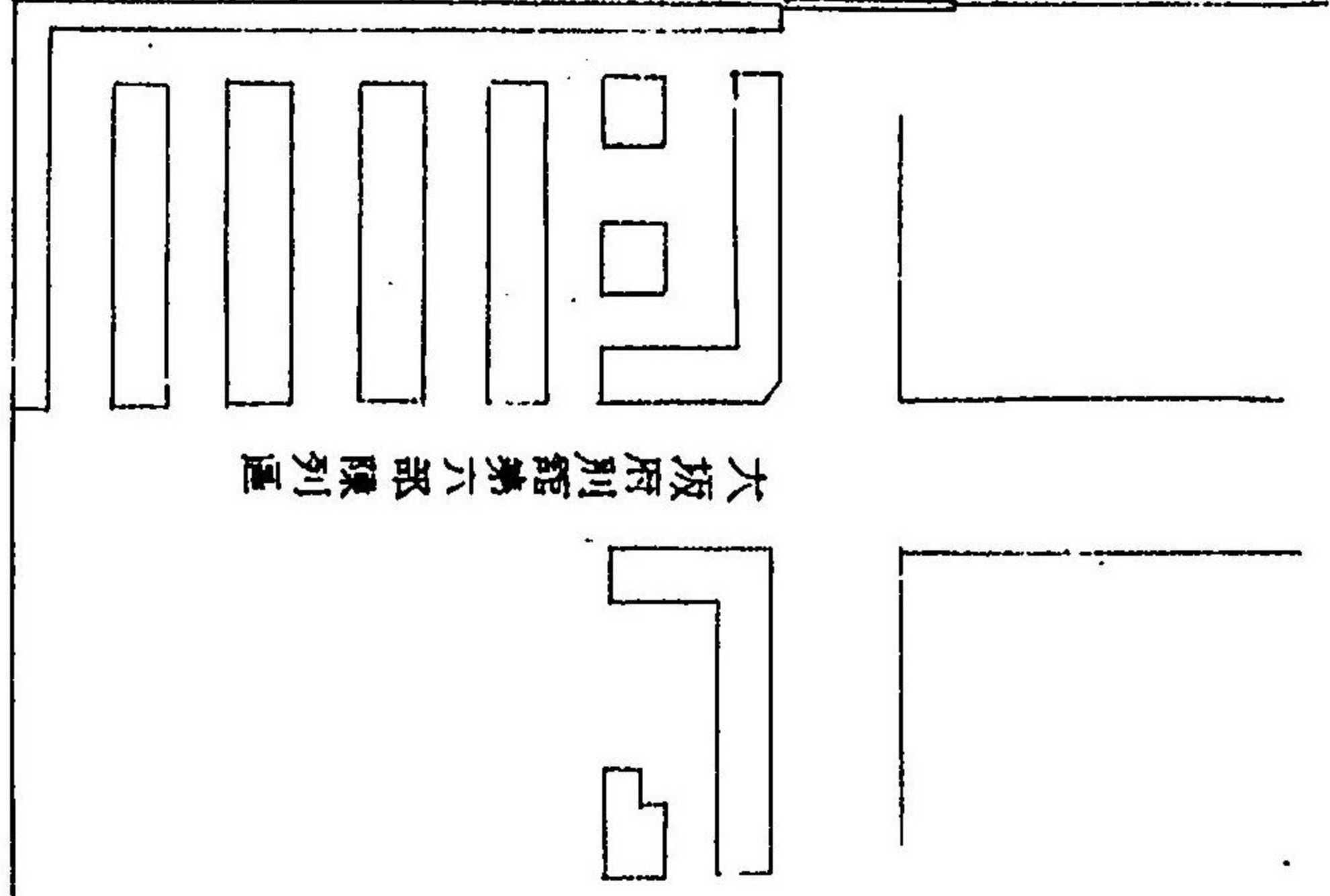
業

採

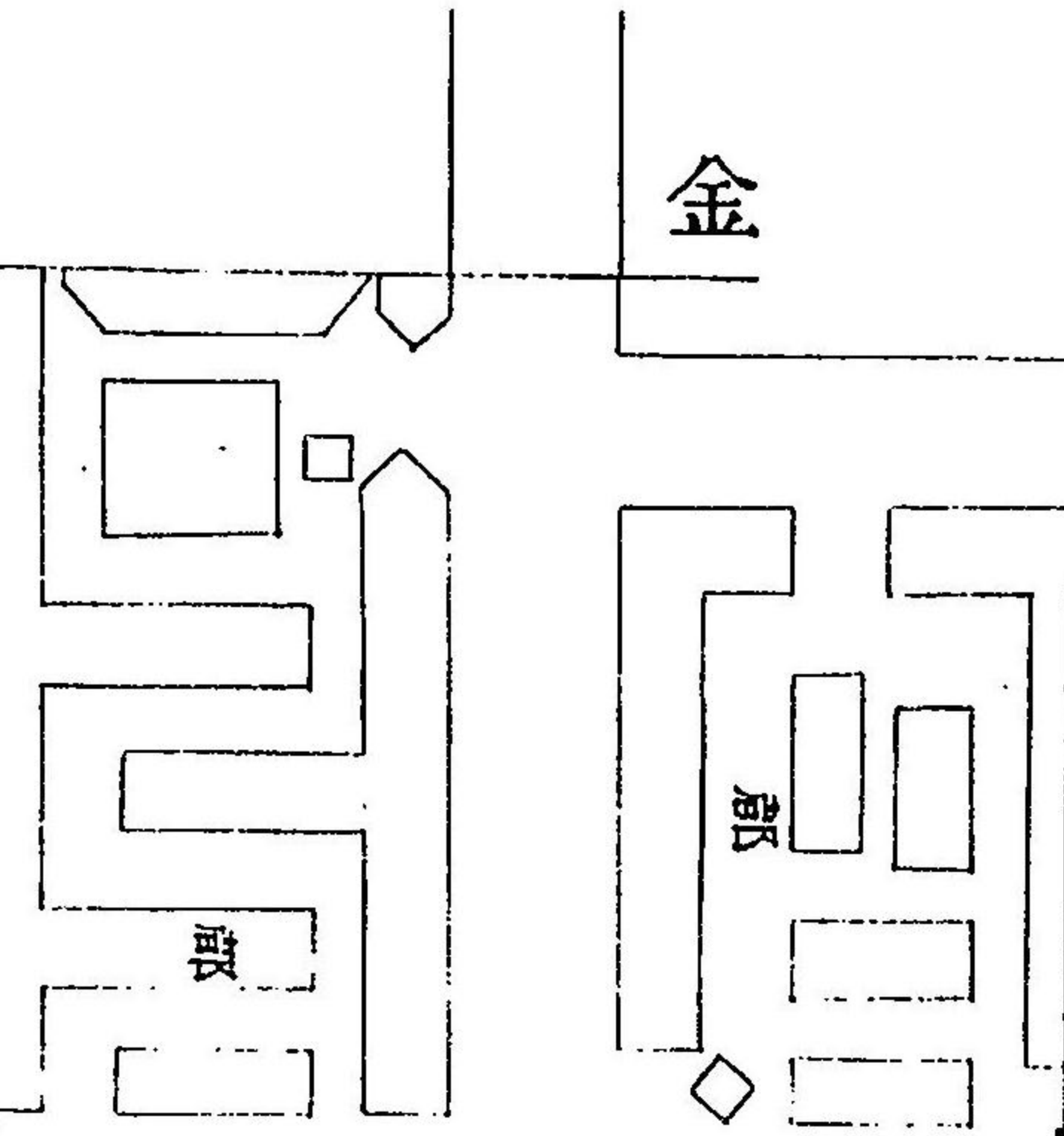
鑛

冶

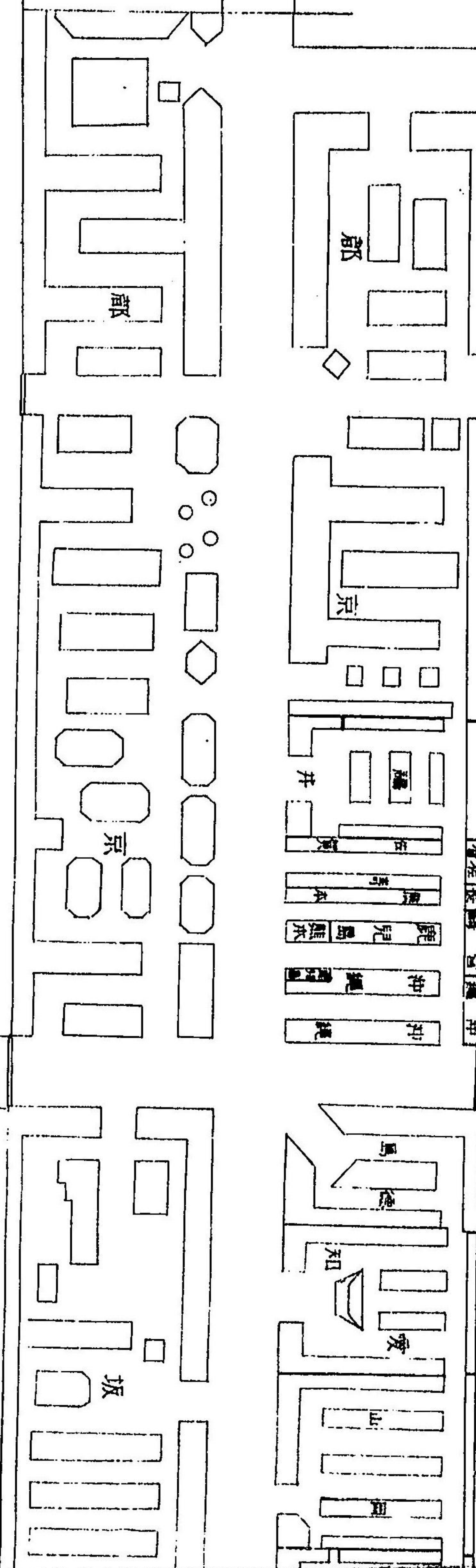
金



五



東京工業別館



林
鑛
冶
金

部

部

京

井

通

在

行

院

中

中

安

知

安

山

山

中區橋本町

業

製

工

業

館

发
知
縣

別
館
奈
良
縣

製

工

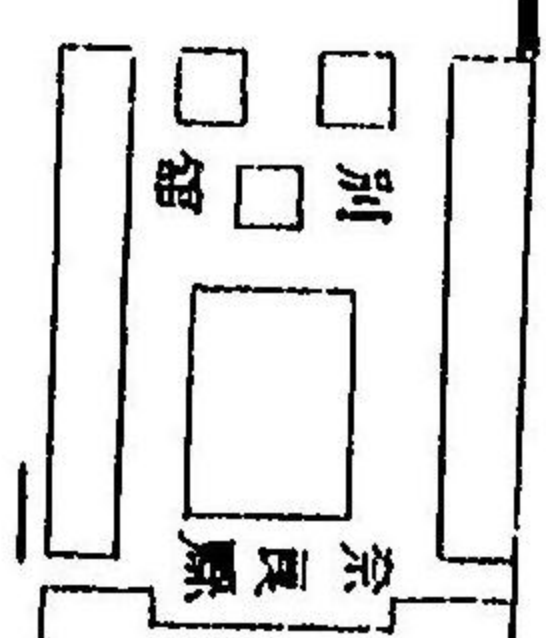
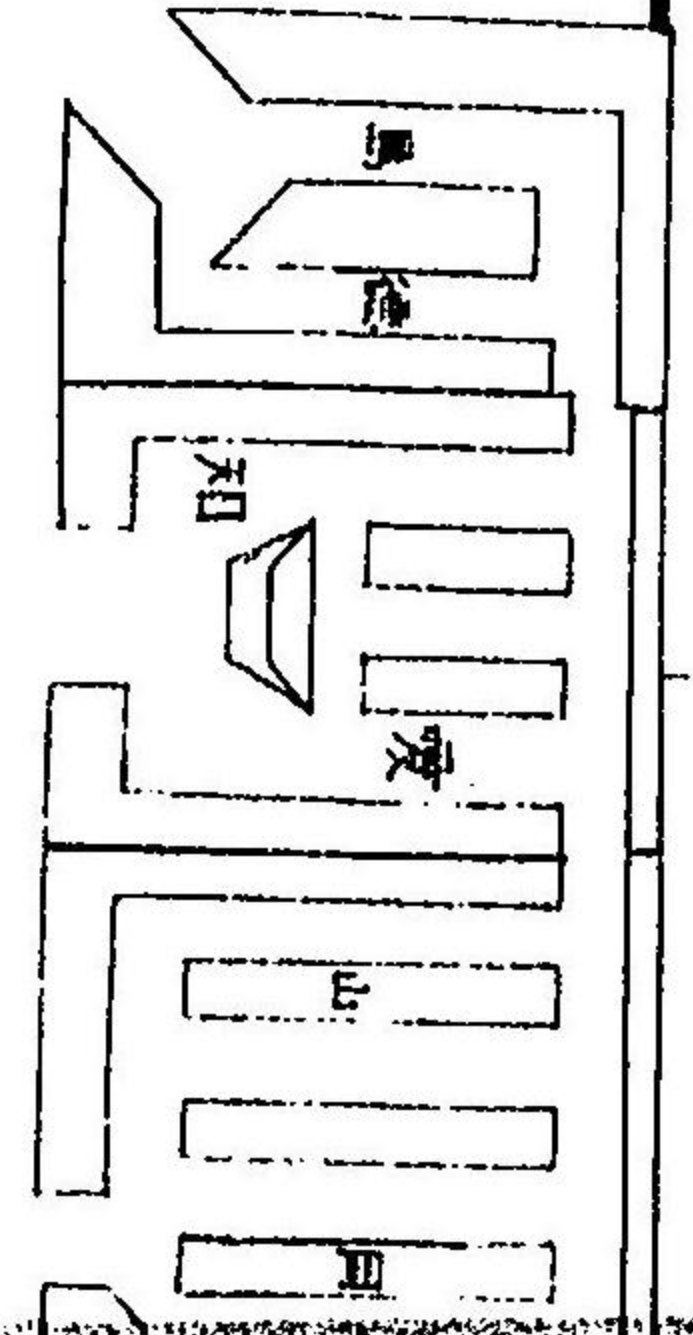
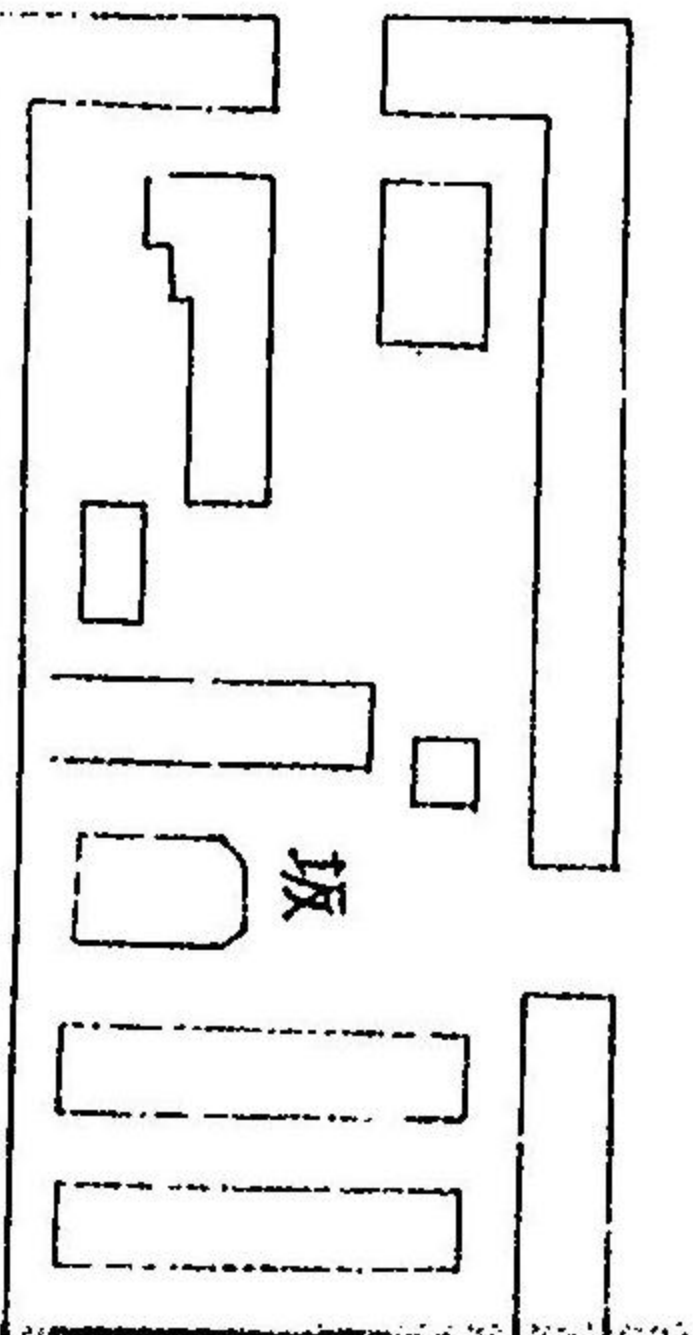
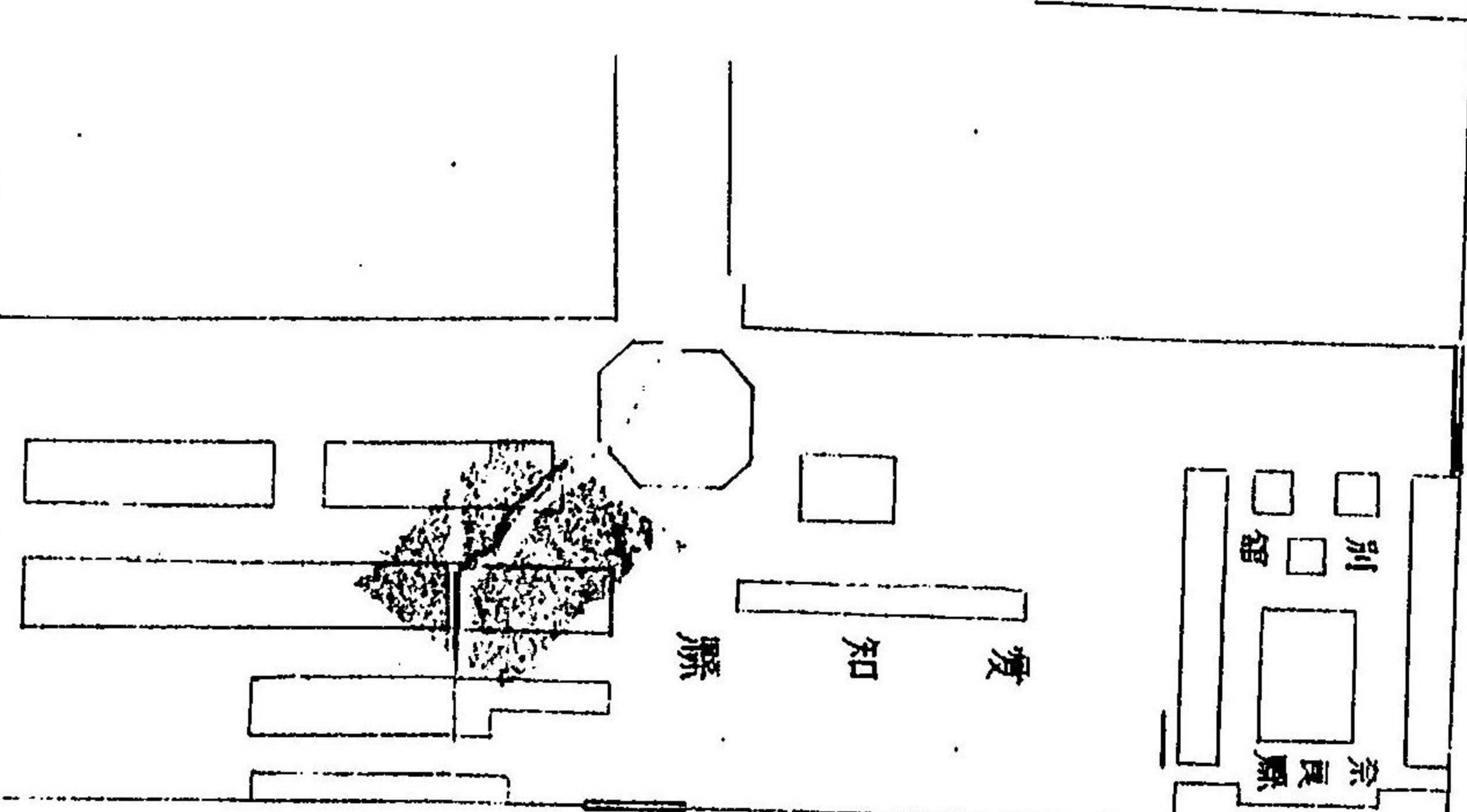
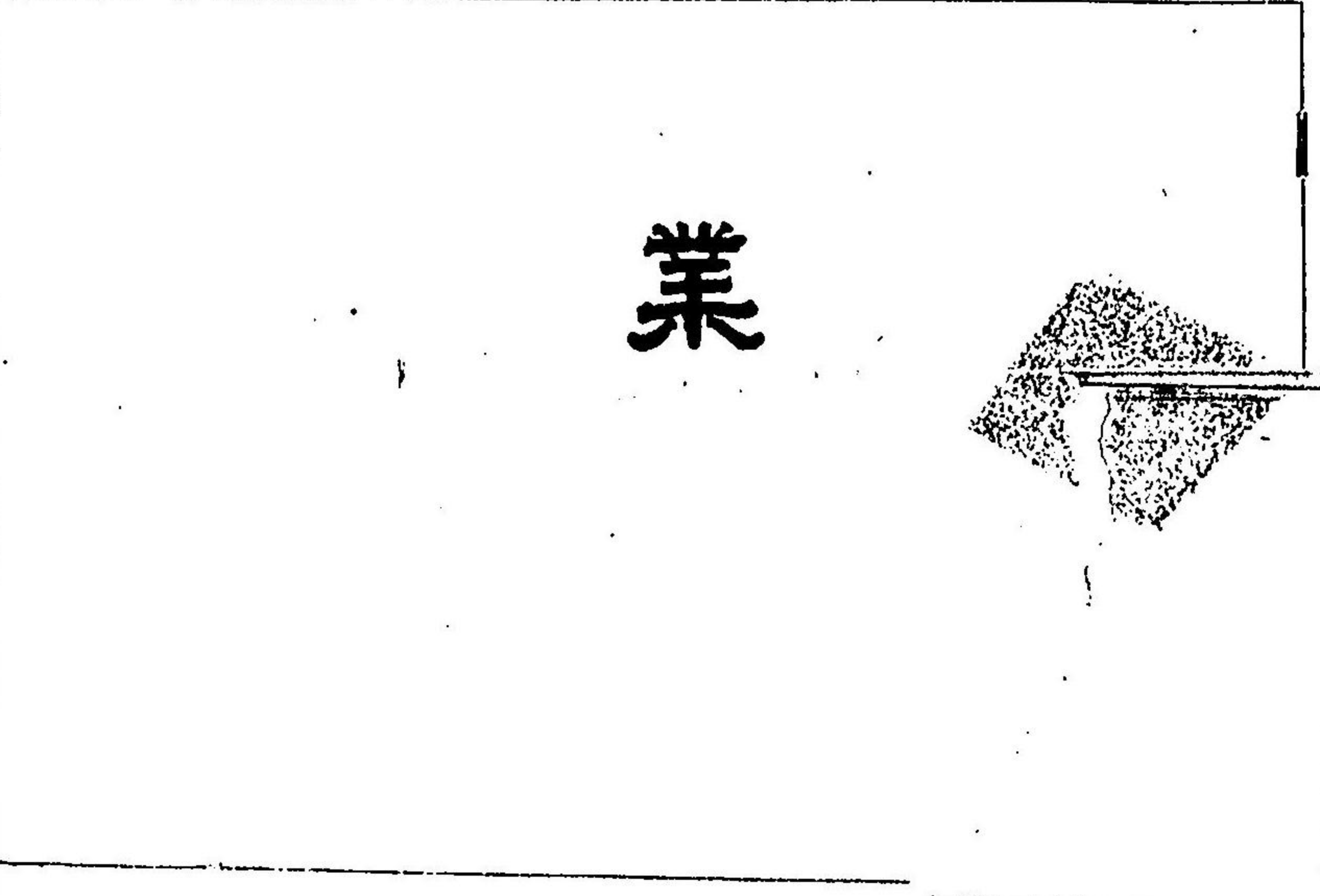
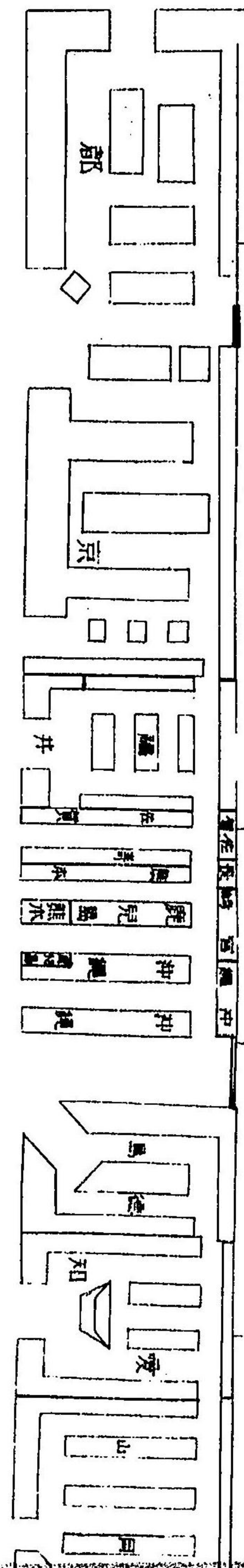
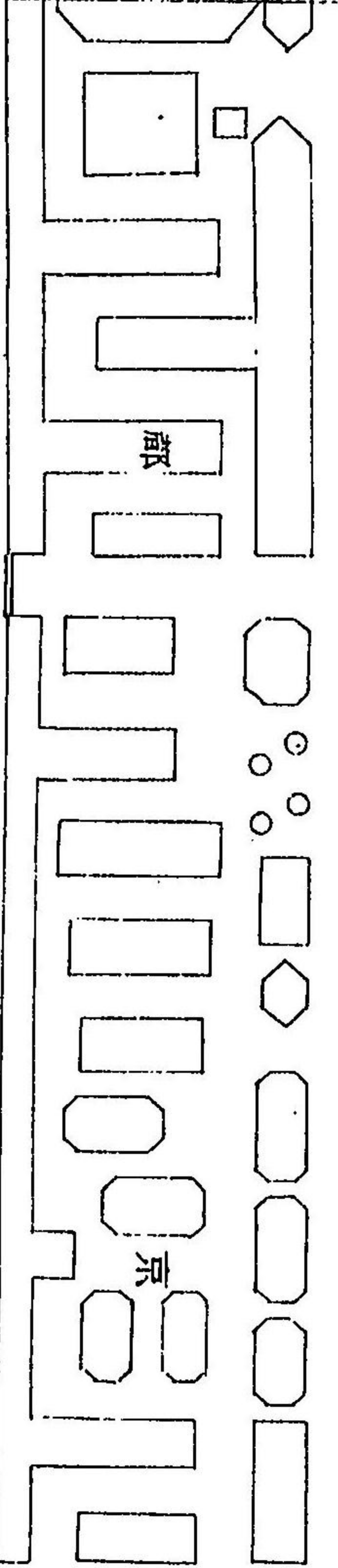
業

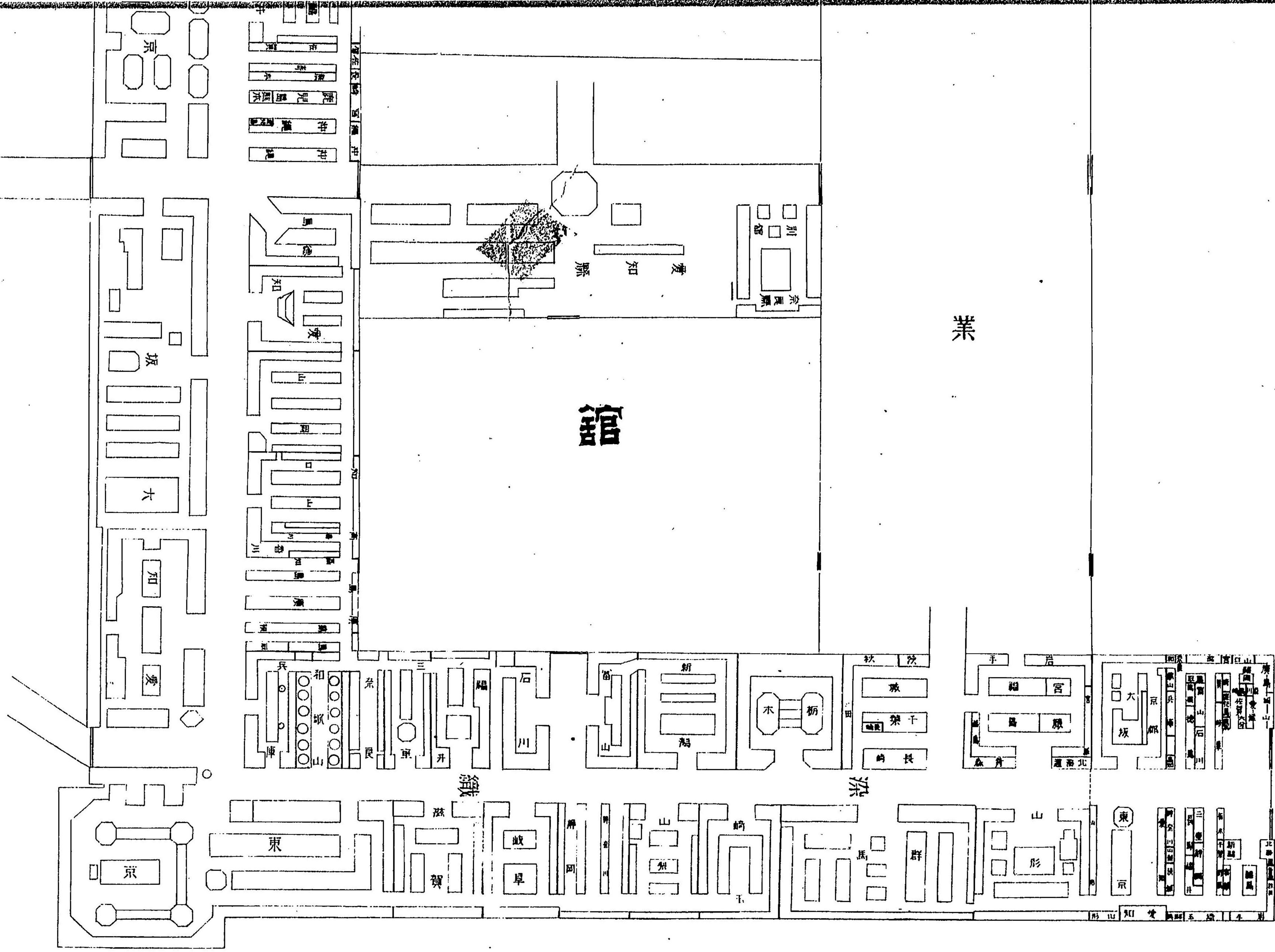
業

業

採
鑛
冶
金

東
京
工
業
別
館

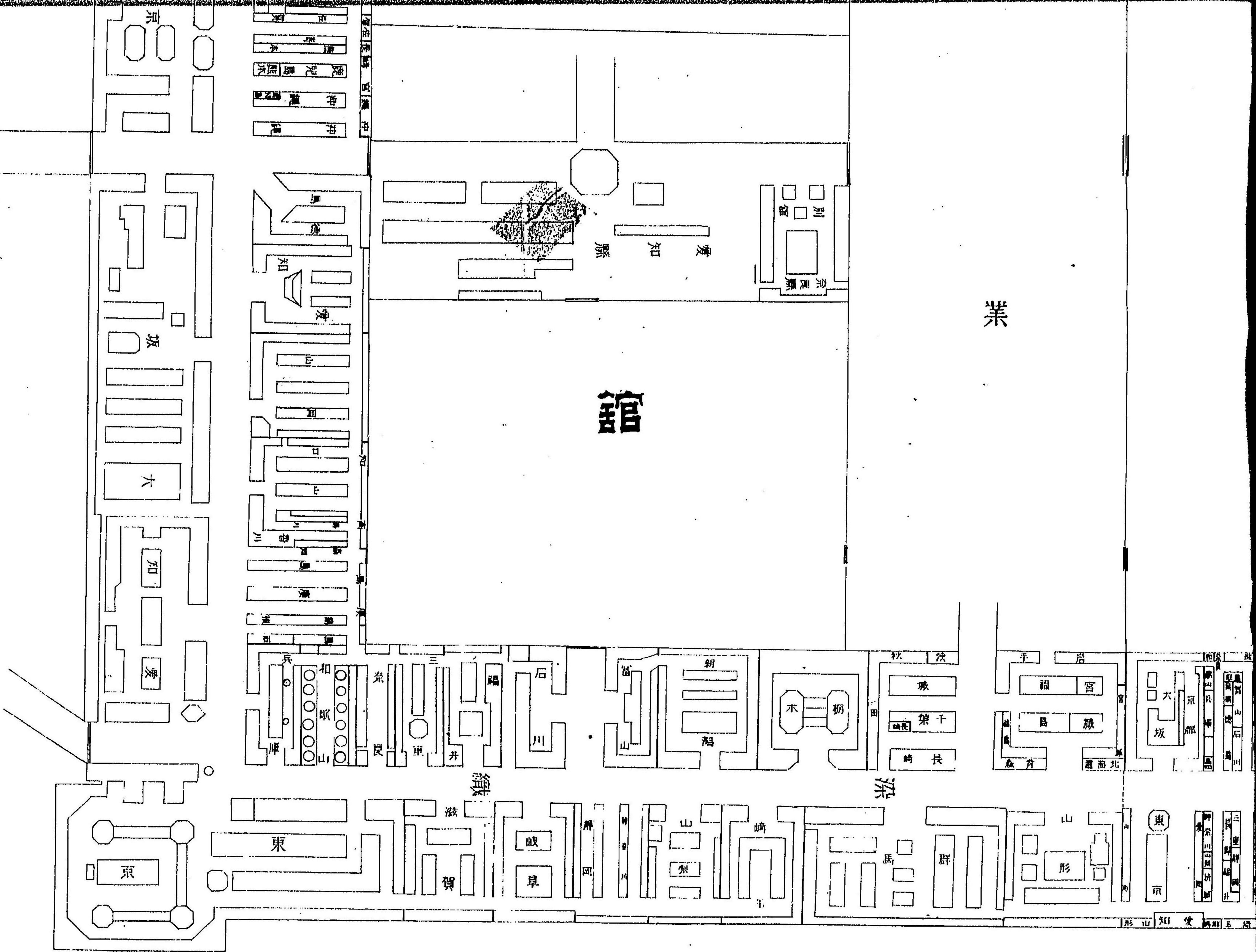
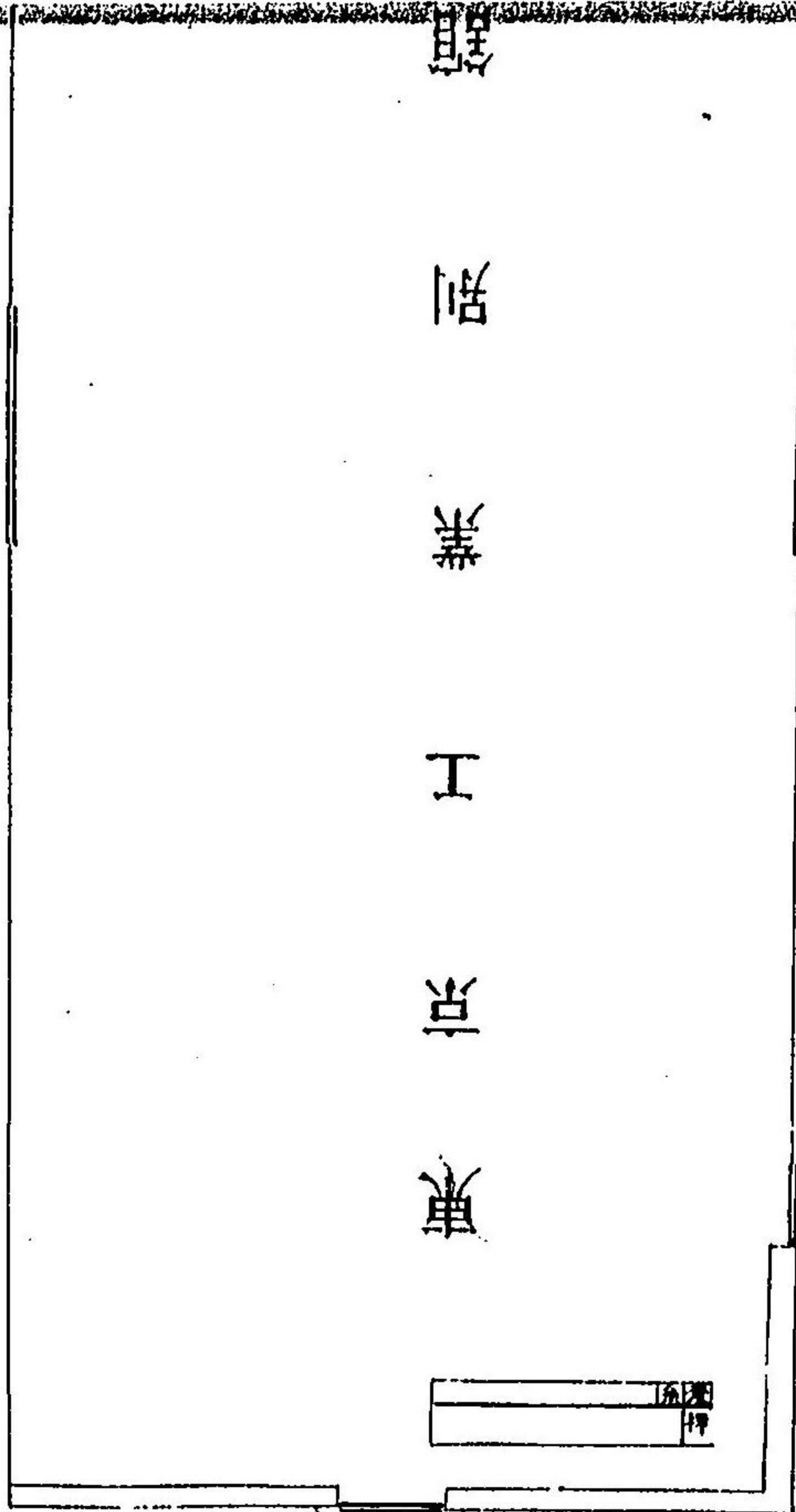




業

館

東京工業別館



明治三十七年四月廿七日印刷
明治三十七年五月十日發行

第五回内國勸業博覽會事務局編纂

定價全一部金貳拾五圓
本卷定價金壹圓六拾錢

發行者 長谷川 正直
東京市日本橋區兜町二番地

印刷者 齋藤 章 達
東京市日本橋區兜町二番地

印刷所 東京印刷株式會社
東京市日本橋區兜町二番地